

れいわ ねんどだい かいよこはまししょうがいしゃし さくすいしんきょうぎ かい  
令和4年度第1回横浜市障害者施策推進協議会

にちじ れいわ ねん がつ にち すいようび  
日時 令和4年6月29日（水曜日）

ごご じ ごご じ  
午後2時～午後4時

ばしょ よこはましちようしゃ かい  
場所 横浜市庁舎18階 みなと1・2・3

し  
《次 第》

1 かいかい  
開会

2 けんこうふくしきょくちょう  
健康福祉局長あいさつ

3 ぎだい  
議題

うらふねふくごうふくししせつ うんえいじぎょうしゃせんてい  
(1) 浦舟複合福祉施設における運営事業者選定について

4 ほうこくじこう  
報告事項

れいわ ねんどだい きよこはまししょうがいしゃ しみんせつめいかい  
(1) 令和4年度第4期横浜市障害者プラン市民説明会について

ふくしがたしょうがいじにゆうしょせつにゆうしょじどう ちいきいこうすいしん  
(2) 福祉型障害児入所施設入所児童の地域移行推進について

よこはましふくしじゅざんじょ みんえいかかりょう  
(3) 横浜市福祉授産所の民営化完了について

よこはまししょうがいふくし  
(4) 「横浜市障害福祉のあんないアプリ」のリリースについて

5 た  
その他

# 令和4年度第1回横浜市障害者施策推進協議会座席表

令和4年6月29日（水曜日）午後2時～午後4時  
横浜市庁舎みなと1・2・3

栗屋 健康福祉局企画課長	企画調整課長	田口 こども青少年局	柿沼 地域支援課長	岩崎 政策課担当課長	石津 住宅政策課担当課長	柳下 交通局総務課長			
○	○	○	○	○	○	○			
長 健康安全全部健康推進担当部	嘉代 特別支援教育課長	高木 マネジャー	佐藤 学校教育企画部インプ	江塚 センター担当課長	新井 福祉保健課長	中村 精神保健福祉課長	坂下 計画推進担当係長	内山 就労支援係長	廣沢 担当係長
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長 五十嵐 総務部医務担当部	及川 障害児福祉保健課長	浦崎 当部長	白川 ター長	佐藤 健康福祉局長	西野 障害福祉保健部長	佐渡 障害施策推進課長	今井 障害自立支援課長	高橋 障害施設サービス課	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	

記録席

傍聴席  
事務局

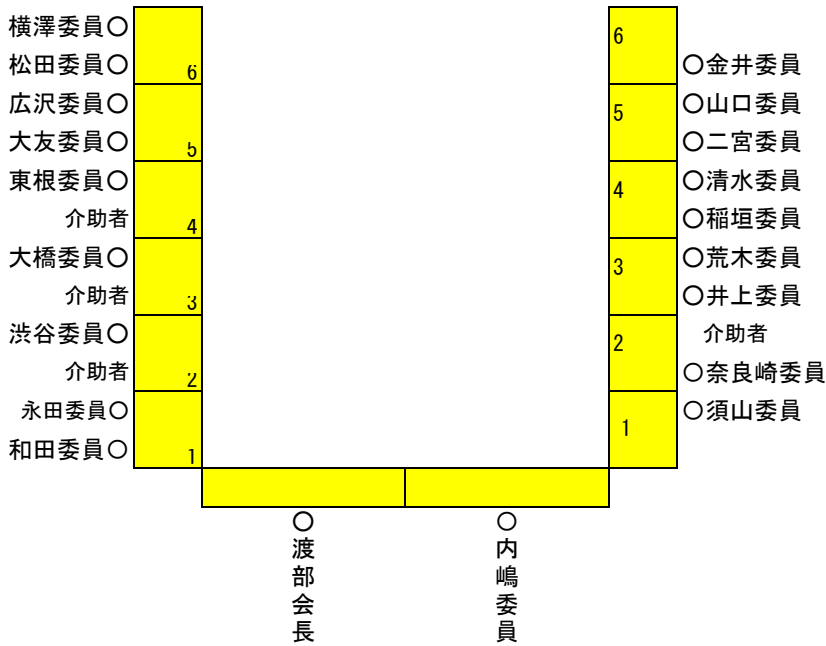
出入口

マイク

出入口

マイク

通訳者



よこはまししょうがいしゃしやくすいしんきょうぎかい  
**横浜市障害者施策推進協議会 委員** (令和4年6月30日まで)

(50音順)

	しめい 氏名	しよぞく 所属
1	あかほね しげき 赤羽 重樹	いっぱんしゃだんほうじんよこはまししがい じょうにんりじ 一般社団法人横浜市医師会 常任理事
2	あらかき まさや 荒木 雅也	くいびーえすよこはまびあす たつ ふきょうかい きょうかいいん Y P S 横浜ピアスタッフ協会 協会員
3	いいやま ふみこ 飯山 文子	しゃかいふくしほうじんしらねがくえん がくえんちやう 社会福祉法人白根学園 学園長
4	いながき ういちろう 稲垣 宇一郎	とくていひえいりかつどうほうじんよこはましせいしんしょうがいしゃがぞくれんごうかい りじ 特定非営利活動法人横浜市精神障害者家族連合会 理事
5	いのうえ あきら 井上 彰	よこはまししたいしょうがいしゃふくしきょうかい かいちやう 横浜市肢体障害者福祉協会 会長
6	うちじま じゅんいち 内嶋 順一	よこはまししゃかいふくしきょうぎかいしょうがいしゃしえん たんどうりじ 横浜市社会福祉協議会障害者支援センター 担当理事
7	おおとも まさる 大友 勝	とくていひえいりかつどうほうじんよこはましせいしんしょうがいしゃちいきせいかつしえんれんごうかい だいひやう 特定非営利活動法人横浜市精神障害者地域生活支援連合会 代表
8	おおはし よしまさ 大橋 由昌	とくていひえいりかつどうほうじんよこはまししかくしょうがいしゃふくしきょうかい ふくかいちやう 特定非営利活動法人横浜市視覚障害者福祉協会 副会長
9	かがや まもる 加賀谷 護	にほんろうどうくみあいそうれんごうかいよこはまちいきれんごう じむきよくちやう 日本労働組合総連合会横浜地域連合 事務局 長
10	かない みどり 金井 緑	いっぱんしゃだんほうじんかながわけんせいしんほけんふくしきょうかい ふくかいちやう 一般社団法人神奈川県精神保健福祉士協会 副会長
11	しばや はるみ 渋谷 治巳	よこはまししょうがいしゃちいきさぎやうしよれんらくかい ふくかいちやう 横浜市障害者地域作業所連絡会 副会長
12	しみず たつお 清水 龍男	よこはまししんしんしょうがいじしゃ まも かいれんめい だいひやうかんじ 横浜市心身障害児者を守る会連盟 代表幹事
13	すやま まさえ 須山 優江	よこはましちゆうとしつちやう なんちやうしゃきょうかい かいちやう 横浜市中途失聴・難聴者協会 会長
14	たかはし まさひこ 高橋 昌彦	よこはまししんたいしょうがいしゃだんたいれんごうかい りじちやう 横浜市身体障害者団体連合会 理事長
15	なかせ あきのり 中瀬 明德	しゃかいふくしほうじん ひがしとつかちいきかつどう しせつちやう 社会福祉法人ひかり 東戸塚地域活動ホームひかり 施設長
16	ながた たか 永田 孝	よこはまし れんらくかい にゆうきよしやがかいにゆうきよしやいいん 横浜市グループホーム連絡会 入居者部会入居者委員
17	ならぎき まゆみ 奈良崎 真弓	ほんにん かい 本人の会 サンフラワー
18	にのみや たけし 二宮 威重	いっぱんしゃだんほうじんよこはましし かいしがい じょうにんりじ 一般社団法人横浜市歯科医師会 常任理事
19	ひがしね じゅんこ 東根 淳子	よこはましこうなんくせいしんしょうがいしゃせいかつしえん しせつちやう 横浜市港南区精神障害者生活支援センター 施設長
20	ひろさわ かつのり 広沢 克紀	よこはましほくぶしゆうろうしえん しょちやう 横浜市北部就労支援センター 所長
21	まつだ せいじ 松田 誠二	よこはまこうきょうしよくぎょうあんていじよ しょちやう 横浜公共職業安定所 所長
22	やまくち てつあき 山口 哲頭	いっぱんしゃだんほうじんかながわけんせいしんかびやういんきょうかい りじ 一般社団法人神奈川県精神科病院協会 理事
23	よこざわ たかやす 横澤 孝泰	かながわけんりつ しえんがっこうちやう 神奈川県立あおば支援学校 長
24	わだ ちずこ 和田 千珠子	じじよ せいしんしょうがいしゃとうじしゃふうふ かいま ほつきにん 自助グループ精神障害者当事者夫婦の会負けてたまるか！ 発起人
25	わたなべ まさたか 渡部 匡隆	よこはまこくりつだいがく きょうじゆ だいがくいんきょうういくがくけんきゆうかこう ときょうしよくじつせんせんこう 横浜国立大学 教授 大学院教育学研究科高度教職実践専攻

令和4年度 横浜市障害者施策推進協議会事務局名簿

区分	局名	補職名	氏名		
じむきょく 事務局	けんこうふくしきょく 健康福祉局	けんこうふくしきょくちよう 健康福祉局長	さとう ひろたか 佐藤 広毅		
		けんこうふくしきょくたんととりじ(けんこうふくしきょくけんしよちよう) 健康福祉局担当理事(健康福祉局保健所長)	たばた かずお 田畑 和夫		
		そうむびいむたんとうがちよう(ほけんいりりよういむかん) 総務部医務担当部長(保健医療医務監)	いがらし よしみつ 五十嵐 吉光		
		しょうがいふくしほけんがちよう 障害福祉保健部長	にしの ひとし 西野 均		
		けんこうふくしきょくたんととりじ(けんこうそうだんちよう) 健康福祉局担当理事(こころの健康相談センター長)	しらかわ のりひと 白川 のりひと		
		けんこうあんぜんぶたんとうがちよう 健康安全部担当部長	さとう まり代 佐藤 真理代		
		けんこうあんぜんぶけんこうすいしんたんとうがちよう 健康安全部健康推進担当部長	かしろ さちこ 嘉代 佐知子		
		しょうがいしきょくすいしんがちよう 障害施策推進課長	さとう 美佐子 佐渡 美佐子		
		せいしんほけんふくしがちよう 精神保健福祉課長	なかもと ひでお 中村 秀夫		
		しょうがいじりつしえんがちよう 障害自立支援課長	いまい とまこ 今井 智子		
		しょうがいしせつがちよう 障害施設サービス課長	たかはし まさひろ 高橋 昌広		
		きかくがちよう 企画課長	あやわ しらべ 粟屋 しらべ		
		ふくしほけんがちよう 福祉保健課長	あらい たかのり 新井 隆哲		
		ふくしほけんがちよう 福祉保健課福祉保健センター担当課長	えづか なおや 江塚 直也		
		まちしえんがちよう 地域支援課長	かきぬま ちひろ 柿沼 千尋		
		せいしよねんきょく 子ども青少年局	せいしよねんきょく 子ども青少年局	せいしよねんきょくちよう 子ども青少年局長	よしかわ なおとも 吉川 直友
				ふくしほけんがちよう 子ども福祉保健部担当部長	うらさき まさひと 浦崎 真人
				しょうがいふくしほけんがちよう 障害児福祉保健課長	おいかわ おさむ 及川 修
				きかくちようせいがちよう 企画調整課長	たぐち かなぢ 田口 香苗
がっこうきょういくきかくが 学校教育企画部インクルーシブ教育エグゼクティブマネジャー	さとう ゆうこ 佐藤 祐子				
とくべつしえんがちよう 特別支援教育課長	たかぎ みき 高木 美岐				
かんけいきょく 関係局	せいさくきょく 政策局			せいさくかたんととうがちよう 政策課担当課長	いわさき ゆうすけ 岩崎 雄介
		けんちくきょく 建築局	いしず けいすけ 石津 啓介		
		こうつうきょく 交通局	やぎした ともひこ 柳下 豊彦		
けんこうふくしきょく 健康福祉局	けんこうふくしきょく 健康福祉局	しょうがいしきょくすいしんが しょうちようせいかりちよう 障害施策推進課施策調整係長	たなべ こうじ 田辺 興司		
		しょうがいしきょくすいしんがけいかりちよう 障害施策推進課計画推進担当係長	さかした しんご 坂下 新悟		
		しょうがいしきょくすいしんが してい たんととうかりちよう 障害施策推進課指定・システム担当係長	はきわら まさこ 秋原 昌子		
		しょうがいしきょくすいしんが たんととうかりちよう 障害施策推進課担当係長	さきよき よしゆき 佐々木 善行		
		しょうがいしきょくすいしんがきょくせいしんかいとうすいしんたんととうかりちよう 障害施策推進課共生社会等推進担当係長	しんかい たかお 新海 隆生		
		しょうがいしきょくすいしんがそうだんしえんすいしんかりちよう 障害施策推進課相談支援推進係長	わたなべ ひろみ 渡辺 弥美		
		しょうがいしきょくすいしんが たんととうかりちよう 障害施策推進課担当係長	かわかみ しゅんすけ 川上 俊輔		
		しょうがいしきょくすいしんが ぶんいていかりちよう 障害施策推進課区分認定係長	よねつ かつや 米津 克哉		
		せいしんほけんふくしがせいしんほけんふくしかりちよう 精神保健福祉課精神保健福祉係長	おかだ ゆきこ 岡田 由起子		
		せいしんほけんふくし たんととうかりちよう 精神保健福祉課担当係長	かみや しょうご 神谷 昌吾		
		せいしんほけんふくしききゅうきゅういりようかりちよう 精神保健福祉課救急医療係長	やまうち わたる 山内 わたる		
		しょうがいじりつしえんがふくしききゅうふかりちよう 障害自立支援課福祉給付係長	えき しゅうと 桑本 修人		
		しょうがいじりつしえんがきょく たんととうかりちよう 障害自立支援課居宅サービス担当係長	なかにし はやと 中西 勇人		
		しょうがいじりつしえんがけいかりちよう 障害自立支援課移動支援係長	ひがしひろこ 東 宏子		
		しょうがいじりつしえんがしゃいさんかすいしんかりちよう 障害自立支援課社会参加推進係長	くどう たけし 工藤 岳		
		しょうがいじりつしえんがしゅうりょうしえんかりちよう 障害自立支援課就労支援係長	うちやま ひると 内山 博人		
		しょうがいしせつ 障害施設サービス課施設管理係長	しなだ かずのり 品田 和紀		
		しょうがいしせつ 障害施設サービス課整備推進担当係長	あかいけ よういち 赤池 よういち		
		しょうがいしせつ 障害施設サービス課担当係長	ひろさわ だいすけ 廣沢 大輔		

		しょうがいしせつ かちいきしせつしえんかかりちよう 障害施設サービス課地域施設支援係長	さかい りょうすけ 坂井 良輔
		しょうがいしせつ かしせつどうんえいしえんかかりちよう 障害施設サービス課施設等運営支援係長	みずはら のぶひろ 水原 伸浩
		しょうがいしせつ かきょうどうせいかつえんじょたんどうかりちよう 障害施設サービス課共同生活援助担当係長	さとう ひろかず 佐藤 央一
		けんこうそうだん そうだんえんじょかりちよう こころの健康相談センター相談援助係長	さかた みずえ 坂田 瑞恵
		けんこうそうだん いぜんしょうどうたいさくたんどうかりちよう こころの健康相談センター依存症等対策担当係長	さき きゆうこ 佐々木 祐子
		けんこうそうだん たんどうかりちよう こころの健康相談センター担当係長	わたなべ 雅哉 渡邊 雅哉
		きかく かきかくかりちよう 企画課企画係長	いしい まさのり 石井 正則
	こども青少年局	しょうがいじふくしほけんかたんどうかりちよう 障害児福祉保健課担当係長	しまだ けいいち 嶋田 慶一
		しょうがいじふくしほけんかたんどうかりちよう 障害児福祉保健課担当係長	たみおか たけし 富岡 剛志
		しょうがいじふくしほけんかたんどうかりちよう 障害児福祉保健課担当係長	はたした ようすけ 畑下 陽介
		しょうがいじふくしほけんかたんどうかりちよう 障害児福祉保健課担当係長	すがわら まさのり 菅原 政則
		しょうがいじふくしほけんかせいびたんどうかりちよう 障害児福祉保健課整備担当係長	びらう なおこ 比呂 直子
		きかくちようせいかなんどうかりちよう 企画調整課担当係長	いくの もとやす 生野 元康
		きょういくいんかいじむきよく 教育委員会事務局	とくべつしえんきょういくなんどうかりちよう 特別支援教育課担当係長
		とくべつしえんきょういぬ たんどうかりちよう 特別支援教育課担当係長	いとう あき 伊藤 亜希
かんけい局	せいさくきよく 政策局	せいさくかたんどうかりちよう 政策課担当係長	くろこめ けんいち 黒米 建一
	けんちくきよく 建築局	じゆうたく せいさくかりちよう 住宅 政策係長	おおはし あけみ 大橋 朱美
	こうつうきよく 交通局	そうむかしよむかりちよう 総務課庶務係長	ついつい たけひろ 筒井 武裕

浦舟複合福祉施設における運営事業者選定について

1 趣旨

障害者就労啓発事業における公共施設活用事業では、平成18年度より南区浦舟町にある浦舟複合福祉施設の一部（公有財産）を民間事業者の有償で貸し付け、障害のある方の雇用の場を創出するとともに、企業等に対する障害者雇用促進のための啓発を行っています。

この度、本事業において公有財産を貸し付けている現事業者との契約が令和5年3月31日に満了することに伴い、公募による新規事業者の選定を行います。

事業者選定においては、専門的かつ詳細な調査又は討議を行う必要があるため、「本協議会に選定委員会(下部組織としての部会)を設置すること」及び「選定委員会の審議による事業者候補の決定を本協議会の審議結果として、市に報告いただくこと」について、横浜市障害者施策推進協議会に付議し、お諮りいたします。

2 本協議会へ付議する理由

本事業については、障害者雇用の創出及び普及啓発により、本市障害者施策の推進に寄与することから、障害者基本法第36条第1項第2号に定める「障害者に関する施策の総合的かつ計画的な推進について必要な事項」であるため、同法第36条第3項に基づき条例で設置された本協議会に付議します。

3 選定委員会について

(1) 審議内容

募集要領及び選定方法の決定

事業者の評価、事業者候補の決定

(2) 開催回数

令和4年度中に2回開催予定

(3) 委員構成

学識経験者（社会福祉）、学識経験者（経済）、地域福祉関係者、労働行政関係者、弁護士、公認会計士

4 スケジュール(予定)

令和4年6月29日	4年度第1回横浜市障害者施策推進協議会（本日）
7月	第1回 運営事業者選定委員会（募集要領及び選定方法の決定）
8～9月	事業者公募
10月	第2回 運営事業者選定委員会（事業者の評価、事業者候補の決定）
11月	4年度第2回横浜市障害者施策推進協議会（事業者選定報告）

5 たてものおよ、たいしょう 建物及び対象スペースの概要

たてものめい 建物名	うらふねふくごうふくししせつ 浦舟複合福祉施設	しょざいち 所在地	みなみくうらふねちよう ちようめ ばんち 南区浦舟町3丁目46番地
もよりえき 最寄駅	しえいちかてつ ばんどうばし 市営地下鉄「阪東橋」 えきげしや ふん 駅下車5分	しきちめんせき 敷地面積	2,865.54 m <sup>2</sup> <small>へいほうめーとる</small>
		のべゆかめんせき 延床面積	22,880.45 m <sup>2</sup> <small>へいほうめーとる</small>
こうぞう ちくねんすう 構造・築年数	てつきん とうぞう ちじよう かい ち か かい しょうわ ねん がつちく 鉄筋コンクリート構造/地上12階・地下2階/昭和42年11月築		
たいしょう 対象スペース	かい 階	かい いちぶ 9階（一部）	
	ゆかめんせき 床面積	732.65 m <sup>2</sup> <small>へいほうめーとる</small> （延床面積911.08 m <sup>2</sup> <small>へいほうめーとる</small> ）	
	げんきぎよう 現況	みんかんじぎようしや やく めい しょうがいしや こよう 民間事業者が約80名の障害者を雇用	
	げん じぎようしや 現事業者	かぶしきがいしや パーソルサンクス株式会社（パーソルホールディングスの特例 こがいしや 子会社）	

6 これまでの経過

へいせい ねんど  
平成17年度 ounえいじぎようしや こうぼおよ せんてい  
運営事業者の公募及び選定

ねんど  
18年度 ounえいかいし けいやくきかん ねん  
運営開始（契約期間：3年）

ねんど  
21年度 けいやくこうしん かいめ  
契約更新（1回目）

ねんど  
24年度 けいやくこうしん かいめ  
契約更新（2回目）

ねんど  
27年度 けいやくこうしん かいめ  
契約更新（3回目）

ねんど  
29年度 ounえいじぎようしや こうぼおよ せんてい  
運営事業者の公募及び選定

ねんど  
30年度 ounえいかいし けいやくきかん ねん  
運営開始（契約期間：5年）

れいわ ねんどまつ  
令和4年度末 けいやくまんりよう  
契約満了

7 さんこう しょうがいしやきほんほう しょうわ ねん がつ にちほうりつだい ごう ばっすい  
参考 障害者基本法（昭和45年5月21日法律第84号）抜粋

とうどうふけんとう （都道府県等における合議制の機関）
だい じよう とうどうふけん ちほうじちほう しょうわ ねんほうりつだい ごう だい じよう だい こう していと し 第36条 都道府県（地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の19第1項の指定都市 （以下「指定都市」という。）を含む。以下同じ。）に、次に掲げる事務を処理するため、審 ぎかい た ごうぎせい きかん お 議会その他の合議制の機関を置く。
(1) (略)
(2) どうがいとうどうふけん しょうがいしや かん しさく そうごうてき けいかくてき すいしん 当該都道府県における障害者に関する施策の総合的かつ計画的な推進について ひつよう じこう ちようさしんぎ およ しさく じっしじようきよう かんし 必要な事項を調査審議し、及びその施策の実施状況を監視すること。
(3) (略)
2 (略)
3 ぜんこう さだ だい こう ごうぎせい きかん そしきおよ ounえい かん ひつよう じこう 前項に定めるもののほか、第1項の合議制の機関の組織及び運営に関し必要な事項は、 じようれい さだ 条例で定める。
4、5 (略)

# 令和4年度第4期横浜市障害者プラン市民説明会の開催について

## 1 趣旨

第4期横浜市障害者プランの取組状況を説明するため、市民説明会を開催いたします。

## 2 開催日時・場所

(1) 令和4年7月23日(土)

10時30分から12時30分まで

オンライン開催 (YouTube Live配信)

※定員なし、事前申込み不要

(2) 令和4年7月27日(水)

11時00分から13時00分まで

横浜ラポール ラポールシアター

※定員100名、事前申込み不要

## 3 プログラム内容

(1) 第4期横浜市障害者プランについて

(2) 第4期横浜市障害者プランの取組状況について

(3) 質疑応答

## 4 説明資料

資料のとおり

## 5 その他

第1回・第2回ともに、情報保障として手話通訳・要約筆記等を御用意します。また、オンライン開催では、視聴者の意見はメールで募集します。



れいわ ねんどだい きよこはまししょうがいしゃ  
令和4年度第4期横浜市障害者プラン  
しみんせつめいかい かいさい  
市民説明会を開催します！



しょうがい ひと ひと じぶん く  
障害のある人もない人も自分らしく暮らすため、  
よこはまし しょうがいしゃ けいかく つく  
横浜市では「障害者プラン」という計画を作っています。  
けいかく れいわ ねんど よこはまし  
この計画にそって令和3年度に横浜市がしたことと、  
れいわ ねんど よこはまし せつめい  
令和4年度に横浜市がしようとしていることについて説明します。  
ぜひ皆さんご参加ください！



だい かい  
第1回 7月23日（土曜日）10:30 から 12:30

かいさい ゆーちゅーぶ  
オンライン開催（YouTubeライブ）

ていいん  
定員：なし



だい かい  
第2回 7月27日（水曜日）11:00 から 13:00

かいじょうじ かん  
ラポールシアター（開場時間10:30）

ていいん せんちゃく めい  
定員：先着100名



ことし かいじょう  
今年は会場で  
あ  
お会いできます！

かい さんか むりょう もう こ ひつよう  
★2回とも参加は無料です。申し込みも必要ありません。

ただし、オンライン開催のデータ通信料は自己負担となります。

かい しゅわ ひっきつうやく  
★2回とも手話・筆記通訳があります。

ないよう かい おな ないよう  
■ プログラム内容（2回とも同じ内容です）

- だい きよこはまししょうがいしゃ  
① 第4期横浜市障害者プランについて
- れいわ ねんど ぶ かえ れいわ ねんど とりくみよてい  
② 令和3年度の振り返り・令和4年度の取組予定
- みなさま いけんこうかん  
③ 皆様との意見交換

せつめいかい ろくおん ろくが どう しりょう に じりよう えすえぬえすと う どうこう えんりょ  
※説明会の録音・録画・スクリーンショット等や資料の二次利用、SNS等への投稿はご遠慮ください。

かいさい はいしんないよう ごじつよこはまし けいさい  
オンライン開催の配信内容は後日横浜市ホームページに掲載します。

と あ さき  
お問い合わせ先

よこはまし けんこうふくしきよく しょうがいしさをすいしんか  
横浜市 健康福祉局 障害施策推進課

でんわ ふあつくす  
電話：045-671-3604 F A X：045-671-3566

メール：kf-syoplan@city.yokohama.jp

だい かい がつ にち どようび  
第1回 7月23日 (土曜日) 10:30 から 12:30

かいさい ゆーちゅーぶ  
オンライン開催 (YouTubeライブ)



- よこはまし  
○ 横浜市ホームページの、「障害者プラン市民説明会」のページから  
み  
見ることができます。トップページで「障害者プラン 市民説明会」で  
けんさく  
検索してください。

障害者プラン 市民説明会



- く そうごう ふくし かいご しょうがいふくし よこはまし しょうがいしゃしやく  
○ トップページ>暮らし・総合>福祉・介護>障害福祉>横浜市の障害者施策について>  
しょうがいしゃ しょうがいしゃ しみんせつめいかい  
障害者プラン>障害者プラン市民説明会

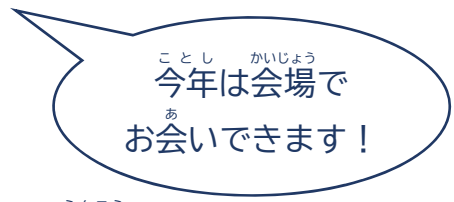
[https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/fukushi-kaigo/fukushi/plan/sho-plan/syo\\_setsumeikai.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/fukushi-kaigo/fukushi/plan/sho-plan/syo_setsumeikai.html)

- いけん しつもん せつめいかい はじ まえ おこな あいだ う つ せつめいかい じかんちゅう  
○ ご意見・ご質問は説明会が始まる前と行っている間にメールで受け付け、説明会の時間中に  
かいとう せつめいかい かいとう しつもん  
回答します。説明会で回答できなかったご質問などは、あとでホームページに回答を掲載しま  
す。詳しくはホームページをご覧ください。

だい かい がつ にち すいようび  
第2回 7月27日 (水曜日) 11:00 から 13:00

よこはま かいじょうじかん  
横浜ラポール ラポールシアター (開場時間10:30)

じゅうしょ よこはましこうほくくとりやまちょう ちゅうしゃじょう むりょう  
住所：横浜市港北区鳥山町1752 駐車場あり (無料)



- よこはま せいと せいと  
○ JR横浜線「新横浜駅」(北口) から徒歩約10分  
よこはましえい ちかてつ しんよこはまえき ばんでぐち とほやく ぶん  
○ 横浜市営地下鉄「新横浜駅」(8番出口) から徒歩約10分  
よこはましえい けいとう はまとりばし とほ ぶん  
○ 横浜市営バス (300系統)「浜鳥橋」から 徒歩2分  
しんよこはまえき きたぐち つ そうげい しょうがいしゃゆうせん うんこう  
※ 新横浜駅 (北口) からリフト付き送迎バス (障害者優先) を運行  
くわ よこはま らん  
※ 詳しくは、横浜ラポールのホームページをご覧ください。  
かいじょう き みなさま しつぎおうとう  
○ 会場にきた皆様との質疑応答もあります。



だい き よこはまししょうがいしゃ とりくみじょうきょう  
第4期横浜市障害者プランの取組状況について

ひょうか せつめい  
【評価の説明】

○：想定した目標を達成し、想定したとおりの効果が得られた。

△：一定程度の効果が得られた。

×：想定した目標は達成できず、効果も得られなかった。

はんれい  
【凡例】

あ：将来にわたるあんしん施策 福：障害福祉計画として定めるサービス等の「見込み」の量

児：障害児福祉計画として定めるサービス等の「見込み」の量

新：第4期障害者プランから初めて障害者プランに記載する事業

さまざまな生活の場面を支えるもの

I 普及啓発

(1) 互いの存在に気づき、身近に感じる仕組みづくり

事業名	事業内容	令和3年度取組予定	令和3年度実績	令和3年度 評価	令和4年度 取組予定	中間期 目標	目標
<p>「地域共生社会」の 実現に向けた取組 等の推進</p>	<p>地域のあらゆる方が、「支え手」と「受け手」に分かれるのではなく、地域、暮らし、生きがいをともに創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現に向けた「障害者週間」などの取組を実施・推進していきます。</p>	<p>障害者週間における市庁舎アトリウムでのイベント実施などを通じて、共生社会の実現に向けた取組を行います。</p>	<p>障害者週間において、市庁舎アトリウムでイベントを実施し、さまざまな機関と連携しながら、広く市民に対して障害理解の普及・啓発を行いました。</p>	○	<p>引き続き障害者週間における市庁舎アトリウムでのイベント実施などを行い、共生社会の実現に向けた取組を行います。</p>	すいしん 推進	すいしん 推進
<p>各区の普及・啓発活動の促進</p>	<p>各区の住民に対して、疾病や障害等に対する理解を深めるための研修や啓発活動の支援を行います。</p>	<p>障害者週間を中心に、各区で事業所や自主製品等を紹介するパンフレットの作成や、パラスポーツの写真展の開催等普及・啓発活動を促進します。</p>	<p>障害者週間を中心に、各区で障害理解を目的とした各種パンフレットやポスターを作成、フォーラムや作品展などを実施し、障害理解の普及・啓発を行いました。</p>	○	<p>引き続き障害者週間を中心に、啓発物品やパンフレット、動画の作成、フォーラムやイベント実施などを行い、普及・啓発活動を促進します。</p>	すいしん 推進	すいしん 推進

(2) 障害に対する理解促進

事業名	事業内容	令和3年度取組予定	令和3年度実績	令和3年度 評価	令和4年度 取組予定	中間期 目標	目標
<p>当事者や障害福祉関連施設、市民団体等による普及・啓発活動への支援</p>	<p>セイフティーネットプロジェクト横浜(S-net横浜)や障害福祉関連施設、市民団体等による障害理解のための研修や講演、地域活動を支援・協働するなど、様々な普及・啓発を推進します。</p>	<p>各事業の支援を行い、セイフティーネット(S-net横浜)プロジェクト横浜等の障害理解に係る普及・啓発活動を通じた障害理解の推進に取り組めます。</p>	<p>セイフティーネット(S-net横浜)プロジェクト横浜等の障害理解に係る普及・啓発活動(コミュニケーションボード等の普及啓発、研修会、地域防災拠点での当事者による講演等)を通じ、障害理解の推進に取り組みました。</p>	○	<p>引き続き各事業の支援を行い、セイフティーネット(S-net横浜)プロジェクト横浜等の障害理解に係る普及・啓発活動を通じた障害理解の推進に取り組めます。</p>	すいしん 推進	すいしん 推進
<p>障害者本人及び家族による普及・啓発活動の推進</p>	<p>社会参加推進センターが中心となり、障害者本人、家族及び各団体と連携・協働し、障害理解の促進に向けた普及・啓発活動を推進します。</p>	<p>社会参加推進センター等と協働して、リーフレットの配布や講座の実施など、普及・啓発の取組を継続していきます。</p>	<p>社会参加推進センター等と協働して、啓発動画の作成や講座の実施など、普及・啓発の取組を継続して実施しました。</p>	○	<p>社会参加推進センター等と協働して、リーフレットの配布や講座の実施など、普及・啓発の取組を継続していきます。</p>	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しっぺい 疾病や しょうがい かん 障害に関 する情報 の発信	ホームページなどの ばいたい かつよう しっぺい 媒体を活用して、疾病や しょうがい かん じょうほう 障害に関する情報や しえん かが かつどう しょう 支援に関わる活動を紹 かい しみん どうじしゃ 介し、市民や当事者・ かんけいしゃ りかいそくしん つと 関係者の理解促進に努 めます。	ホームページや「障 しょうがい 害福祉のあんない」などの ふくし ばいたい かつよう しっぺい 媒体を活用して、疾病や しょうがい かん じょうほう 障害に関する情報や しえん かが かつどう しょう 支援に関わる活動を紹 かい 介します。	ホームページの随時更新 ずいじこうしん や「障害福祉のあん しょうがいふくし ない」の活字版を42,000部 かつじばん ぶ はっこう さまざま ばいたい 発行するなど様々な媒体 しっぺい しょうがい かん で、疾病や障害に関す る情報や支援に関わ かつどう しょうがい る活動を紹介しました。	○	ホームページや しょうがいふくし 「障害福祉のあん ない」などの媒体を ばいたい かつよう しっぺい 活用して、疾病や しょうがい かん 障害に関する しょうほう しえん かが 情報や支援に関わ かつどう しょうがい る活動を紹介しま す。また、新たにア あら プリによる情報 しょうほう 発信を行います。 はっしん おこな	すいしん 推進	すいしん 推進

(3) 学齢期への重点的な普及・啓発

事業名	事業内容	令和3年度取組予定	令和3年度実績	令和3年度 評価	令和4年度 取組予定	中間期 目標	目標
<p>学齢期 児童及び 保護者へ の障害 理解啓発</p>	<p>学齢期児童と保護者が、障害児・者と交流したり、障害について理解を深めたりする機会の確保に努めます。</p>	<p>学齢期児童と保護者が、障害児・者と交流したり、障害について理解を深めたりする機会(講座の実施等)の確保に努めます。</p>	<p>・区自立支援協議会等で、学齢期の児童・生徒や教員に向けた、障害について理解を深めるための講座等を実施しました。また、18区の取組状況を共有する機会を設けることで、各区の取組の促進を図りました。 ・市内の障害当事者団体等と連携し、教育関係者等を対象とした、障害理解を深めるための講座を実施しました。またボランティアセンターと連携し、市内の小中学校にて、児童・生徒に向けた福祉教育の取組を実施しました。 ・障害(主に肢体不自由)への理解を促進し、障害のある児童・生徒の体育・保健</p>	○	<p>引き続き、学齢期児童と保護者が、障害児・者と交流したり、障害について理解を深めたりする機会(講座の実施等)の確保に努めます。</p>	<p>推進</p>	<p>推進</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
			<p>たいいくか じゅぎょう さんか 体育科の授業への参加を しえん きょういん む 支援するための、教員向け サポートブックを<sup>さくせい</sup>作成し、こ れを活用した<sup>かつよう</sup>研修<sup>けんしゅう</sup>を実施し ました。 ・<sup>しりつがっこう</sup>市立学校<sup>きょういん</sup>において、教員 を<sup>たいしょう</sup>対象に、<sup>がくしゅうじょう</sup>学習上・ <sup>せいかつじょう</sup>生活上の<sup>こんなん</sup>困難<sup>おう</sup>さに応じた <sup>しどう</sup>指導<sup>かん</sup>に関する<sup>こうないけんしゅう</sup>校内研修<sup>じっし</sup>を 実施<sup>じっし</sup>しました（<sup>ぜんこう</sup>全校で 実施<sup>じっし</sup>）。</p>				
<p>ふくがくせき 副学籍に よる<sup>こうりゅう</sup>交流 教育<sup>きょういく</sup>及び 共同<sup>きょうどう</sup>学習<sup>がくしゅう</sup></p>	<p>とくべつしえんがっこう ざいせき 特別支援学校に在籍 する<sup>じどうせいと</sup>児童生徒が、 居住地<sup>きょじゅうち</sup>の小・ 中学校<sup>ちゅうがっこう</sup>の<sup>じどうせいと</sup>児童生徒 と<sup>いっしょ</sup>一緒に<sup>まな</sup>学ぶ<sup>きかい</sup>機会<sup>きかい</sup>の 拡大<sup>かくだい</sup>を図る<sup>はか</sup>など、 共同<sup>きょうどう</sup>学習<sup>がくしゅう</sup>を<sup>すす</sup>進めま す。</p>	<p>とくべつしえんがっこう かよ 特別支援学校に通う <sup>じどうせいと</sup>児童生徒と、<sup>ちいき</sup>地域の 学校<sup>がっこう</sup>に通う<sup>こ</sup>子どもたち との<sup>こうりゅうおよ</sup>交流<sup>きょうどう</sup>及び共同 学習<sup>がくしゅう</sup>をより<sup>いっそうすいしん</sup>一層<sup>いっそうすいしん</sup>推進 します。</p>	<p>とくべつしえんがっこう ざいせき じどう 特別支援学校に在籍する児童 生徒<sup>せいと</sup>が居住地<sup>きょじゅうち</sup>の小・中・ 義務<sup>ぎ</sup>教育<sup>むきょう</sup>学校<sup>いくがっこう</sup>での<sup>じゅぎょう</sup>授業<sup>じゅぎょう</sup>や <sup>こうがい</sup>校外活動<sup>かつどう</sup>において<sup>いっしょ</sup>一緒に<sup>まな</sup>学ぶ<sup>まな</sup> 機会<sup>きかい</sup>を<sup>もう</sup>設け<sup>もう</sup>ました。 交流<sup>こうりゅう</sup>実績<sup>じっせき</sup>：166人<sup>にん</sup></p>	○	<p>とくべつしえんがっこう かよ 特別支援学校に通う <sup>じどうせいと</sup>児童生徒と、<sup>ちいき</sup>地域の 学校<sup>がっこう</sup>に通う<sup>こ</sup>子どもた ちとの<sup>こうりゅうおよ</sup>交流<sup>きょうどう</sup>及び 共同<sup>きょうどう</sup>学習<sup>がくしゅう</sup>をより 一層<sup>いっそうすいしん</sup>推進<sup>いっそうすいしん</sup>します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>



2 人材確保・育成

(1) 障害福祉従事者の確保と育成

事業名 障害福祉 人材の 確保 (あ)	事業内容 障害福祉の仕事の 魅力を発信し、 求人や雇用の支援 を行うことで社会 福祉人材の確保につ なげていきます。	令和3年度取組予定 魅力発信として、障害 福祉の仕事紹介動画を 公共交通機関や各種イベ ントで上映します。 また、関係団体と障害 福祉人材確保策の検討会 を実施し、今後の施策の 方向性を検討します。	令和3年度実績 障害福祉の仕事紹介 動画を公共交通機関や 障害者週間のイベント で放映しました。また、 人材確保策の検討会での 検討の結果、若者をター ゲットに絞り障害福祉の 仕事の魅力を発信するこ ととしました。	令和 3年度 評価 ○	令和4年度 取組予定 市内大学や共創フロン トを活用した専門学校 との連携により、若者 をターゲットに障害 福祉の魅力を発信しま す。 また、人材確保セミナ ーやおしごとフェア等 を実施し、求人・採用 支援を行います。	中間期 目標 推進	目標 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりにくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりにくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいとくせい 障害特性 おう に応じた しえん 支援のた め のけんしゅう 研修	はったつしょうがい こうどう 発達障害や行動 しょうがい ゆう かた 障害を有する方、 いりょうてき ひつよう 医療的ケアが必要な かたどう たい せんもんてき 方等に対し、専門的 しえん おこな な支援を行うこと のできる人材を育成 するのための研修を じっし 実施します。	しょうがいふくしじぎょうしょう 障害福祉事業所等の しよくいん たいしょう 職員を対象とした、 こうどうしょうがい かかわ しえんりよく 行動障害に係る支援力 こうじょう はか 向上を図るための研修 を、市内法人の協働によ り実施します。 また、ふくし いりょう きょういく 福祉・医療・教育 など多分野の職員の方を たいしょう がい いりょうてき 対象として、医療的ケア じ しゃどう しえん おこな 児・者等の支援を行う じょう ひつよう ないよう まな 上で必要な内容を学ぶ、 よこはまがたいりょうてき じ 「横浜型医療的ケア児・ しゃどうしえんしゃようせいけんしゅう 者等支援者養成研修」 を、よこはまし いしかい を、横浜市医師会への いたく じっし 委託により実施します。	しょうがいふくしじぎょうしょう 障害福祉事業所等の しよくいん たいしょう 職員を対象とした、 こうどうしょうがい かかわ しえんりよく 行動障害に係る支援力 こうじょう はか 向上を図るための研修 を、市内法人の協働によ り実施しました（基礎 けんしゅう かい にん 研修4回/150人 しゅうりょう） れいわ ねん がつ がつ 令和3年5月から12月 で「よこはまがたいりょうてき よこはまがたいりょうてき 横浜型医療的ケア じ しゃどうしえんしゃようせい 児・者等支援者養成 けんしゅう じっし にん 研修」を実施し、42人の しえんしゃ しょうせい 支援者を養成しました。	○	ひ つづ しょうがいふくし 引き続き、障害福祉 じぎょうしょう しょういん 事業所等の職員を たいしょう こうどう 対象とした、行動 しょうがい かかわ しえんりよく 障害に係る支援力 こうじょう はか 向上を図るための けんしゅう しなはいほうじん 研修を、市内法人の きょうどう じっし 協働により実施しま す。 ふくし いりょう きょういく 福祉・医療・教育な たぶんや しよくいん かた ど多分野の職員の方を たいしょう いりょうてき 対象として、医療的ケ ア児・者等の支援を行 うえ ひつよう ないよう まな 上で必要な内容を学 ぶ、よこはまがたいりょうてき よこはまがたいりょうてき 横浜型医療的ケア じ しゃどうしえんしゃようせい 児・者等支援者養成 けんしゅう およ よこはまがた 研修」及び「よこはまがた いりょうてき じ しゃどう 医療的ケア児・者等 しえんしゃ 支援者フォローアップ けんしゅう じっし 研修」を実施します。	すいしん 推進	すいしん 推進

事業名	事業内容	令和 3 年度取組予定	令和 3 年度実績	令和 3 年度 ひょうか 評価	令和 4 年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
そうだんしえん じゅうじしや 従事者の じんざいくせい 人材育成	しいき くいき じんざい 市域と区域での人材 いくせい かん とりくみ 育成に関する取組を せいり そうご れんどう 整理し、相互に連動 こうかてき させた効果的・ こうりつてき じんざいくせい 効率的な人材育成 たいけい せいび 体系を整備します。	けんしゅう じっしさいせい せいり 研修の実施体制を整理 そうだんしえんじゅうじしや し、相談支援従事者の じんざいくせい けんしゅうたいけい 人材育成と研修体系にお れんどうせい かくほ ける連動性を確保しま す。	しいき そうだんしえん 市域における相談支援 じゅうじしやむ けんしゅう じっし 従事者向け研修の実施 たいせい にな て いくせい 体制や担い手の育成を たいけいてき せいり 体系的に整理すること くいき じんざいくせい で、区域での人材育成と れんどうせい きょうか の連動性を強化しまし た。	○	くいき じりつしえんきょうぎかい 区域の自立支援協議会 とう かつよう そうだんしえん 等を活用し、相談支援 じゅうじしや じんざいくせい 従事者の人材育成と けんしゅうたいけい 研修体系における れんどうせい たか 連動性を高めました。	すいしん 推進	すいしん 推進
しょうがいふくし しょうがいふくし 施設職員 とう 等への しえん 支援 あ	しょうがいしゃ きゅーおーえる 障害者のQOLの こうじょう め ざ 向上を目指して、 しょうがいとくせい 障害特性やライフ おう ステージに応じた しょうがい じゅうどか 障害の重度化の かんわ せいかつしゅうかんびょう 緩和、生活習慣病 よぼうとう ふきゅうけいはつ の予防等の普及啓発 はか しょうがい を図るため、障害 ふくしせいせつ 福祉施設における えいせいかんり えいようかんり 衛生管理、栄養管理 かん けんしゅう に関する研修、 れんらくかいどう じっし 連絡会等を実施しま す。	しょうがいふくしせいせつ しょうがいん 障害福祉施設の職員を たいしょう えいせいかんり 対象とした衛生管理、 えいようかんり かんれん 栄養管理に関連する けんしゅう れんらくかいどう じっし 研修、連絡会等を実施し ます。	しょうがいふくしせいせつ しょうがいん 障害福祉施設の職員を たいしょう しょくひんえいせい 対象とした食品衛生 こうしゅうかい いー 講習会（eラーニング） せつしょくえんげけんしゅう どうが や摂食嚥下研修（動画 はいしん じっし 配信）を実施しました。	○	しょうがいふくしせいせつ しょうがいん 障害福祉施設の職員 たいしょう えいせい を対象とした衛生 かんり えいようかんり かんれん 管理、栄養管理に関連 けんしゅう れんらくかいどう する研修、連絡会等を じっし 実施します。	すいしん 推進	すいしん 推進

事業名	事業内容	令和3年度取組予定	令和3年度実績	令和3年度評価	令和4年度取組予定	中間期目標	もくひょう目標
障害福祉施設等で働く看護師の支援 (あ)	障害福祉施設等で働く看護師の定着に向けた支援を行うとともに、人材確保の方策について検討します。	障害福祉施設等で働く看護師の技能向上及び就労定着を目的に、医師等が各施設に訪問して行う個別の助言や研修、各施設の看護師を対象とした合同研修等を実施します。	障害福祉施設等で働く看護師向けに、医師による口腔機能管理についての講義を動画で配信し、技術的な指導を行いました。	△	障害福祉施設等で働く看護師の技能向上及び就労定着を目的に、医師等が各施設に訪問等して行う個別の助言や研修、各施設の看護師を対象とした合同研修等を実施します。	すいしん 推進	すいしん 推進
就労支援センター職員の人材育成	多様なニーズに対応できるよう、就労支援スキルを向上させるため、研修の実施など、人材育成を進めます。	各センター間で支援員の人事交流を行い、支援手法等の共有を行います。また、センター共通で使用している人材育成シートを作成し、多様化・高度化するニーズへ対応するため、支援の質を高めます。	多様化・高度化するニーズへの対応及びセンターが提供するサービスの標準化を目指し、センター共通で使用している人材育成シートを作成しました。なお、例年実施している、センター間の人事交流については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み中止しました。	○	各センター間で支援員の人事交流を行い、支援手法等を共有します。また、令和3年度に作成した人材育成シートの活用及び、センター職員を対象とした研修への支援により、人材育成を進めます。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しゅうろうそくしん 就労促進 もくてき を目的と した じぎょうしょ 事業所 しょくいんむ 職員向け けんしゅう 研修	しょうがいしゃこよう おこな 障害者雇用を行っ てい ている企業での 「就業体験」の けんしゅう つう 研修を通じて、 じぎょうしょしょくいん しゅうろう 事業所職員の就労 しえん 支援スキルの こうじょう しゅうろう む 向上、就労に向け いしきづ た意識付けにつなげ ます。	しな いしゅうろうしえんじぎょうしょ 市内就労支援事業所 しょくいん たいしょう きぎょうとう 職員を対象に、企業等 での実習や見学を通じ て、企業で障害のある しゃいん たんとう しごと 社員が担当する仕事 ないよう もと しょくぎょう 内容、求められる職業 のうりよくおよ きぎょう いくせいほうほう 能力及び企業の育成方法 とう まな きかい もう 等を学ぶ機会を設けま す。	しな いしゅうろうしえんじぎょうしょ 市内就労支援事業所 しょくいん きぎょう たいしょう 職員や企業を対象に、 しょうがいしゃこようきぎょうおよ ふくし 障害者雇用企業及び福祉 サービス事業所の見学会 を実施し、企業で障害の ある社員が担当する仕事 ないよう もと しょくぎょう 内容、求められる職業 のうりよくおよ きぎょう いくせいほうほう 能力及び企業の育成方法 とう まな けんしゅう じっし 等を学ぶ研修を実施しま した。	○	しな いしゅうろうしえんじぎょうしょ 市内就労支援事業所 しょくいん きぎょう じぎょうしょ 職員や企業、事業所 りようしゃとう たいしょう 利用者等を対象に、 きぎょうとう じっしゅう けんがく 企業等での実習や見学 を通じて、企業で障害 のある社員が担当する しごとないよう もと 仕事内容、求められる しょくぎょうのうりよくおよ きぎょう 職業能力及び企業の いくせいほうほうとう まな きかい 育成方法等を学ぶ機会 を設けます。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
いりょうじゅうじ 医療従事 しゃけんしゅう 者研修 じぎょう 事業  (あ)	びょうき しょうがい 病気や障害のある しょうにおよ じゅうしょうしんしん 小児及び重症心身 しょうがいじ しゃ しえん 障害児・者の支援に ひつよう ちしき ぎじゆつ 必要な知識・技術の こうじょう ほか しょうがい 向上を図り、障害 とくせい りかい いりょう 特性を理解した医療 じゅうじしゃ いくせい 従事者を育成するた め けんしゅう じっし めの研修を実施し ます。	しょうがいとくせいとう りかい 障害特性等を理解した いりょうじゅうじしゃ いくせい 医療従事者を育成するた め につづ しょうに めに、引き続き「小児 ほうもんかんご じゅうしょうしんしん 訪問看護・重症心身 しょうがいじしゃけんしゅう じっし 障害児者研修※」を実施 します。 れいわ ねん がつまつ ※令和4年2月末まで に、30名 いりょうじゅうじしゃ の けんしゅう じっし 現場実習を含む11 にちかん けんしゅう 日間の研修カリキュラム を じゆこう 受講していただきま す。	れいわ ねんど がつ がつ 令和3年度8月から10月 にかけて、いりょうきかん 医療機関や ふくしせつとう きんむ 福祉施設等に勤務する かんごし たいしょう しょうに 看護師を対象に「小児 ほうもんかんご じゅうしょうしんしん 訪問看護・重症心身 しょうがいじしゃけんしゅう じっし 障害児者研修」を実施し ました。 しな いけんしゅうしゅうりょうしゃすう <市内研修修了者数> れいわ ねんど じん 令和3年度：29人	○	しょうがいとくせいとう りかい 障害特性等を理解した いりょうじゅうじしゃ いくせい 医療従事者を育成する た め につづ ために、引き続き しょうにほうもんかんご 「小児訪問看護・ じゅうしょうしんしんしょうがいじしゃ 重症心身障害児者 けんしゅう じっし 研修」を実施します。	すいしん 推進	すいしん 推進

事業名	事業内容	令和3年度取組予定	令和3年度実績	令和3年度 ひょうか 評価	令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
ガイドヘルパー等 研修 受講料 助成 (あ)	ガイドヘルパー等の 資格取得のための 研修受講料の一部 を助成し、人材確保 を図ります。	令和3年度から、災害や 感染症拡大による影響 により申請が困難だった 人について、条件つきで 助成申請期間の延長を 可能としています。その 周知を今後も図ること で、助成人数の増加と 人材確保を推進してい きます。	5月、7月、11月に各区 役所、各区社会福祉協 議会、地域子育て支援 拠点など（全103か所）に チラシを配布して事業の 周知を行いました。  助成人数：123人 総助成額：2,421,000円	○	引き続き受講料助成 事業の周知を今後も図 ることで、助成人数の 増加と人材確保を推進 していきます。	すいしん 推進	すいしん 推進
ガイドヘルパース キルアップ研修 (あ)	より質の高いサービ スが提供できるよ う、移動支援事業の 従業者を対象に 研修を実施しま す。	サービス提供者及び 従業者の質を更に高め るため、研修テーマを 選定し、受講者の増加を 目指します。	令和3年度は新型コロナ ウイルス感染症拡大防止 の観点から集合研修は 中止としました。	○	令和2年度から新型コロナ ウイルス感染症 拡大防止の観点から 中止をしていた集合 形式での研修を再開 し、サービス提供 責任者及び従業者の スキルアップを図って いきます。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しゃかいさんか 社会参加 すいしん 推進セン ターによ だんたい る団体 かつどうしえん 活動支援 きのう 機能の じゅうじつ 充実	しょうがいしゃほんにん かつどう 障害者本人の活動 ささ じんざい いくせい を支える人材の育成 すす を進めるとともに、 おな しょうがい ひと 同じ障害がある人 こうりゅう たちの交流やコミ ユニケーションの きかい かくじゅう 機会を拡充し、 かくだんたいかつどう そくしん 各団体活動を促進す とりくみ すいしん る取組を推進しま す。	ひ つづ しょうがいしゃ じりつ 引き続き、障害者の自立 しゃかいさんかどう そくしん や社会参加等を促進する とうじしゃ じぎょう ための当事者による事業 じっし を実施していきます。	しょうがいしゃ じりつ しゃかいさんか 障害者の自立や社会参加 どう そくしん 等を促進するための とうじしゃ じぎょう じっし 当事者による事業を実施 しました。	○	ひ つづ しょうがいしゃ 引き続き、障害者の じりつ しゃかいさんかどう 自立や社会参加等を そくしん とうじしゃ 促進するための当事者 じぎょう じっし による事業を実施して いきます。	すいしん 推進	すいしん 推進



(2) 業務効率化に向けたロボット・AI・ICT等の導入の検討

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	令和3年度取組予定 <small>れいわ ねんどとりくみよてい</small>	令和3年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small>	令和3年度 評価 <small>れいわ ねんど 3年度 ひょうか</small>	令和4年度 取組予定 <small>れいわ ねんど 4年度 とりくみよてい</small>	中間期 目標 <small>ちゅうかんき もくひょう</small>	目標 <small>もくひょう</small>
業務効率化に向けたロボット・AI・ICT等の導入の検討 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">新</span> <small>ぎょうむ こうりつ か む けんとう どうにゆう</small>	煩雑な事務作業などの業務効率化や介護業務の負担軽減などを進めるため、ロボット・AI・ICTなどの導入の検討を進めます。 <small>はんざつ じ む さぎょう ぎょうむ こうりつ か かい ごぎょうむ ふたん けいげん すす るため、ロボット・ AI・ICTなどの どうにゆう けんとう すす</small>	関係団体と意見交換を行い、今後の施策の方向性を検討します。 <small>かんけいだんたい いけんこうかん おこな こんご しさく ほうこうせい けんとう</small>	関係機関と意見交換を行い、現状の課題について整理や今後の施策の方向性の検討を行いました。 また、ロボット・AI・ICTに関する研修の情報を関係団体へ紹介しました。 <small>かんけいきかん いけんこうかん おこな げんじょう かだい せいり こんご しさく ほうこうせい けんとう おこな</small>	○	関係団体と意見交換を行い、引き続き今後の施策の方向性を検討します。 <small>かんけいだんたい いけん こうかん おこな ひ つづ こんご しさく ほうこうせい けんとう</small>	検討 ・ 実施 <small>けんとう じっし</small>	推進 <small>すいしん</small>

3 権利擁護

(1) 虐待防止の取組の浸透

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定</p>	<p>れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績</p>	<p>れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価</p>	<p>れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>しょうがいしゃ 障害者 ぎゃくたいぼうし 虐待防止 じぎょう 事業 ふきゅう (普及・ けいはつ 啓発)</p>	<p>しみんむ 市民向けのリーフレッ ト作成等により広報を 行います。また、 虐待や不適切支援をな くしていくため、障害 福祉サービスの事業者 等を対象とした研修 を実施します。</p>	<p>しみんむ 市民向けにホームページ やリーフレット等を活用 した広報を行うととも に、障害福祉サービス の管理者及びサービス 管理責任者等を対象と した研修を年2回、そ れぞれ2回コースで実施 します。</p>	<p>しみんむ 市民向けには、ホームペ ージ等での広報を行 いました。障害福祉施設 サービスの管理者および サービス管理責任者を 対象とした研修を、年 2回実施しました。</p>	<p>○</p>	<p>しみんむ 市民向けには、ホ ームページ等での 広報を行うととも に、施設従事者に も、出前講座など の方法で啓発を行 います。引き続 き、施設の管理者 向けの研修を行 います。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

(2) 成年後見制度の利用促進

事業名	事業内容	令和3年度取組予定	令和3年度実績	令和3年度 評価	令和4年度 取組予定	中間期 目標	목표
<p>横浜市 市民 後見人 養成・ 活動支援 事業</p>	<p>地域における権利擁護 を市民参画で進めるた め、よこはま成年後見 推進センターが全区で 市民後見人の養成を 実施し、区役所、市・ 区社会福祉協議会、 専門職団体等が連携し た活動支援の体制を 構築します。</p>	<p>第5期横浜市市民後見人 養成講座について、 基礎編（6～7月）、 実務編（9月～2月）を 実施します。また、活動 支援として市民後見人バ ンク登録者向けの研修 を実施します。</p>	<p>第5期市民後見人養成 講座を実施し、新たに31 名の市民後見人がバンク 登録しました。また、 活動支援として市民 後見人バンク登録者向け の研修を行いました。</p>	<p>○</p>	<p>第6期市民後見人養成 講座を実施します。ま た、活動支援として 市民後見人バンク登録 者向けの研修を実施し ます。</p>	<p>推進</p>	<p>推進</p>
<p>法人後見 支援事業</p>	<p>よこはま成年後見推進 センターが、これまで の法人後見受任実績を 踏まえて、市内の社会 福祉法人等への法人 後見実施に向けた支援 を行います。</p>	<p>障害者施設等の職員や 管理者を対象とした 関係者向け研修、施設 等の依頼による職員や 家族向けの出前講座を 行います。また、 今年度も法人後見連絡会 を開催し、実施団体の 連携強化や情報共有を 図ります。</p>	<p>障害者施設等の管理者 や職員を対象に、法人 後見の活用も含めた成年 後見制度利用促進研修 の動画配信、依頼に応じ た出前講座を実施しまし た。また、法人後見 連絡会を実施し、団体の 情報共有等行いまし た。</p>	<p>○</p>	<p>障害者施設等の職員 や管理者を対象とした 関係者向け研修、家族 向けの出前講座等、 実施します。また、 連携強化や情報共有 を目的とした法人後見 連絡会の実施や法人 後見の立ち上げ時の 支援等を行います。</p>	<p>推進</p>	<p>推進</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
せいねんこうけん 成年後見 せいで 制度の ふきゅうけいはつ 普及啓発	せいねんこうけんせいで 成年後見制度がより りよう 利用しやすいものとな るよう、かんけいきかん 関係機関と ちようせい どうじしやおよ 調整して当事者及び かぞく しえんだんたいどう 家族、支援団体等への せつめいかい じっし 説明会などを実施しま す。	かんけいきかん ちようせい うえ 関係機関と調整の上、 どうじしや かぞくどう む 当事者・家族等に向けて せいねんこうけんせいで わ 成年後見制度を分かりや しゆうち こうぎ すく周知するための講座 かいさい ふきゅう を開催するなど、普及 けいはつ とく 啓発に取り組みます。	かくく きかんそうだんしえん 各区の基幹相談支援セン こうけんてきしえんしつどう ターや後見的支援室等の かんけいきかん とお 関係機関を通し、 どうじしや かぞくどう む 当事者・家族等に向けた せいねんこうけんせいで せつめいかいどう 成年後見制度の説明会等 じっし を実施しました。また、 く とりくみじょうきょう きょう 18区の取組状況を共 ゆう きかい もう 有する機会を設けること かくく とりくみ そくしん で、各区の取組を促進し ました。	○	かくく きかんそうだんしえん 各区の基幹相談支援セ こうけんてきしえんしつ ンターや後見的支援室 どう かんけいきかん とお 等の関係機関を通し、 どうじしや かぞくどう む 当事者・家族等に向け せいねんこうけんせいで た成年後見制度の せつめいかいどう じっし 説明会等を実施すると ともに、かんけいきかん 関係機関を たいしょう れんらくかいどう 対象とした連絡会等に くいき とりくみ において、区域の取組 じょうきょうどう きょうゆう 状況等について共有 し、じく とりくみ い 自区の取組に生か すためのいけんこうかんと きかい もう 機会を設けます。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
けんりようご 権利擁護 じぎょう 事業	けんり まも そうだん 権利を守るための相談 けいやく もと きんせん や契約に基づく金銭 かんり 管理サービスなどの にちじょうせいかつ しえん く 日常生活の支援を、区 あんしんセンターが、 けいやく もと じっし 契約に基づいて実施し ます。	しみん しえんしゃ せいど 市民や支援者に制度の しゅうち けいはつどう おこな 周知・啓発等を行い、 ひつよう ひと そうき けんり 必要な人が早期に権利 ようごじぎょう りよう 擁護事業を利用できるよ うに体制を整え、取組 たいせい とどの とりくみ を進めます。 また、必要な人には、ス ムーズに法定後見に移行 ほうていこうけん いこう できるよう、関係機関と かんけいきかん 連携しながら支援を行 れんけい しえん おこな います。	しみん しえんしゃ せいど 市民や支援者に制度の しゅうち けいはつ 周知・啓発のため、 こうしゅうかいどう じっし 講習会等を実施しまし た。また、相談支援機関 そうだんしえんきかん の窓口で活用する成年 まどぐち かつよう せいねん 後見制度パンフレットを こうけんせいど リニューアルしました。 ひつよう ひと ほうていこうけん 必要な人には、法定後見 いこう かんけい への移行についても、関係 きかん れんけい しえん 機関と連携しながら支援 おこな を行いました。	○	ひ つづ しみん 引き続き、市民や しえんしゃ せいど しゅうち 支援者に制度の周知・ けいはつどう おこな ひつよう 啓発等を行い、必要な ひと そうき けんりようご 人が早期に権利擁護 じぎょう りよう 事業を利用できるよう たいせい きょうか に体制を強化します。 また、必要な人が、ス むず ほうていこうけん ムーズに法定後見への いこう きょうか かんけい 移行を強化し、関係 きかん れんけい 機関と連携しながら しえん おこな 支援を行います。	すいしん 推進	すいしん 推進

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
せいねんこうけんせいどくちょうもうした けんすう 成年後見制度区長申立て件数	けん 30件 じっせき けん 実績29件	けん 30件	けん 30件
せいねんこうけんにとんどうほうしゅうじよせいけんすう 成年後見人等報酬助成件数	けん 210件 じっせき けん 実績237件	けん 240件	けん 270件

(3) 障害者差別解消法に基づく取組

事業名 じぎょうめい 事業名	事業内容 じぎょうないよう 事業内容	令和3年度取組予定 れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	令和3年度実績 れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	令和3年度 れいわ ねんど 3年度 ひょうか 評価	令和4年度 れいわ ねんど 4年度 とりくみよてい 取組予定	中間期 ちゅうかんき 目標 もくひょう 目標	目標 もくひょう 目標
市民等へ しみんとう 市民等へ の普及・ ふきゆう の普及・ 啓発 けいはつ 啓発	障害を理由とする差別 しょうがい りゆう さべつ 障害を理由とする差別 かいしょう あ の解消に当たっては、 しみんとう かたがた かんしん 市民等の方々に関心と りかい ふか 理解を深めていただく ことが何よりも大切で あることから、市民等 に向けた広報及び啓発 かつどう こうかてき じっし 活動を効果的に実施し ます。	広報よこはまの人権 こうほう じんけん 広報よこはまの人権 とくしゅうごう き じ けいさい 特集号への記事掲載に よる周知・啓発を行う とともに、平成28年に ぼしゅう しょうがいしゃさべつ 募集した障害者差別に 関する事例を誰でも かんたん しら 簡単に調べることがで きる検索サイトをホー ムページで運用しま す。	平成28年に募集した へいせい ねん ぼしゅう 平成28年に募集した しょうがいしゃさべつ かん 障害者差別に関する 事例を誰でも簡単に調 べることができる検索 サイトをホームページ で運用開始しました。 また、差別解消のため けいはつどうが こうつうき の啓発動画を交通機 構や市のホームペー ジで掲載しました。	○	広報よこはまに人権 こうほう じんけん 広報よこはまに人権 とくしゅうごう き じ けいさい 特集号への記事掲載に よる周知・啓発を行う とともに、市のホームペ ージや交通広告を利用し た啓発動画の掲載を行 います。	推進 すいしん 推進	推進 すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
そうだんたいせい 相談体制 とう しゅうち 等の周知	しょうがいしゃさべつ かん 障害者差別に関する そうだん ふんそう ぼうしとう 相談、紛争の防止等の たいせい しゅうち ための体制を周知しま す。また、そうだんおよ び ふんそう ぼうしとう ちいき 紛争の防止等を地域に おいてすすむための すいしん ちいききょうぎかい かいさい 地域協議会を開催しま す。	さべつ そうだん 差別の相談があった ばあい とうじしゃ きも 場合に当事者の気持ち よ そ たいおうまどぐち に寄り添い、対応窓口 ちようせいいいんかいとう や調整委員会等 しょうかい しゅうち けいはつとう 紹介、周知・啓発等を おこな とうじしゃ 行う当事者サポート じぎょう よこはましんたい 事業を横浜市身体 しょうがいしゃだんたいれんごうかい 障害者団体連合会に いたく じっし 委託して実施していま す。また、ちいきしえんきよう ぎかい とうだんじれい 議会にて相談事例の きょうゆう はか 共有を図るとともに、 そうだんたいおう かん けんとう 相談対応に関する検討 とう おこな 等を行います。	とうじしゃ じぎょう 当事者サポート事業を よこはましんたいしょうがいしゃだんたい 横浜市身体障害者団体 れんごうかい いたく じっし 連合会に委託して実施 しました。今後、より こうかてき じぎょう てんかい 効果的に事業を展開し ていきます。地域 しえんきょうぎかい かいさい 支援協議会を開催し、 そうだんじれい きょうゆう はか 相談事例の共有を図る とともに、しょうがいしゃさべつ の解消について意見 こうかん おこな 交換を行いました。	○	そうだん なか さべつ ピア相談の中で差別の そうだん ばあい 相談があった場合に とうじしゃ きも よ そ 当事者の気持ちに寄り添 い、たいおうまどぐち ちようせい い、対応窓口や調整 いいんかいとうしょうかい しゅうち 委員会等紹介、周知・ けいはつとう おこな とうじしゃ 啓発等を行う当事者サ ポート事業を横浜市身体 じぎょう よこはましんたい 障害者団体連合会に いたく じっし 委託して実施していま す。また、ちいきしえんきよう ぎかい とうだんじれい 議会にて相談事例の きょうゆう はか 共有を図るとともに、 そうだんたいおう かん けんとう 相談対応に関する検討等 おこな を行います。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんととりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
ししよくいん 市職員 たいおう 対応 ようりよう 要領の しゅうち 周知	ほんししよくいん てきせつ たいおう 本市職員が適切な対応 おこな を行っていくための ししん さくてい し 指針として策定した市 ししよくいんたいおうようりよう しゅうち 職員対応要領を周知 さべつてきとりあつか し、差別的取扱いとな う じれい ごうりてき り得る事例や、合理的な はいりよ こうじれいとう しんとう 配慮の好事例等の浸透 はか を図ります。	ぜんしよくいん たいしやう 全職員を対象とした いー けんしゅう eラーニング研修や、 かくくきよく じっし けんしゅう 各区局が実施する研修 とう てまえこうざ じっし 等への出前講座を実施 するほか、全区局の だいひやう あつ かいぎ 代表が集まる会議にて とりくみじょうきやうとう しゅうち 取組状況等を周知し ます。	ぜんしよくいん たいしやう 全職員を対象とした いー じっし eラーニングを実施し ました。全区局の代表 ぜんくきよく だいひやう が集まる会議にて、 あつ かいぎ 等への出前講座を実施す とりくみじょうきやうとう しゅうち 取組状況等を周知す るとともに課題を検討 かだい けんとう しました。	○	ぜんしよくいん たいしやう いー 全職員を対象としたe けんしゅう ラーニング研修や、 かくくきよく じっし けんしゅう 各区局が実施する研修 とう てまえこうざ じっし 等への出前講座を実施す るほか、全区局の代表 ぜんくきよく だいひやう が集まる会議にて取組 あつ かいぎ とりくみ じょうきやうとう しゅうち 状況等を周知します。	すいしん 推進	すいしん 推進



(4) 情報保障の取組

事業名	事業内容	令和3年度取組予定	令和3年度実績	令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	令和 ねんど 4年度 とりくみ よてい 取組予定	ちゅうかん 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
<p>じょうほうはっしん 情報発信 時の ごうりてき 合理的 はいりよ 配慮の ていきょう 提供</p>	<p>ぎょうせい じょうほう はっしん じ 行政情報発信時 の しかくしょうがいしゃ 視覚障害者、 ちようかくしょうがいしやおよ 聴覚障害者及び ちてきしょうがいしやとう たい 知的障害者等に対 して、ひとり ひとり の しょうがいとくせい おう 障害特性に応じた ごうりてきはいいりよ おこな 合理的配慮を 行い ます。</p>	<p>しかくしょうがい ひと 視覚障害のある人への じょうほうほしやう とりくみ 情報保障の取組として、 きぼう ひと たい ほんし 希望する人に対して本市 から ほうしゆつ つうち 発出する通知の つうちめい といあわ さき 「通知名」、「問合せ先」 など つてんじか 等について、点字化した つうち ほうそう しく 通知を送る仕組みを うんよう ちようかく 運用します。また、聴覚 しょうがい ひと じょうほう 障害のある人への情報 ほしやう とりくみ 保障の取組として、タブ レット たんまつ かつよう 端末を活用した しゅわつうやく じょうほう 手話通訳サービスの情報 ていきょう たら おんせい 提供や、新たに音声通訳 どうにゆう うんよう アプリを導入し運用しま す。さらに、知的障害の ひと ある人へのわかりやすい しりやう さくせい 資料を作成します。</p>	<p>しかくしょうがい ひと 視覚障害のある人への じょうほうほしやう とりくみ 情報保障の取組として、 きぼう ひと たい ほんし 希望する人に対して本市 から ほうしゆつ つうち 発出する通知を、 てんじか ほうそう しく 点字化して発送する仕組 み ounyō みを運用しました。(登録 めい 120名) また、聴覚障害 のある人への じょうほうほしやう 情報保障の とりくみ 取組として、タブレット たんまつ かつよう しゅわつうやく 端末を活用した手話通訳 サービス じょうほうていきやう の 情報提供 や、新たに たら おんせい 音声通訳アプリを とうにゆう うんよう 導入し運用しまし た。音声アプリについて おんせい は、今後の けんしやう ひつやう 検証が必要で す。さらに、行政が ぎやうせい ほうこう 発行 する こうほうぶつ 広報物について、 ちてきしょうがい ひと 知的障害のある人にもわ かりやすい ばん さくせい 版を作成しま した (5件) けん</p>	<p>○</p>	<p>しかくしょうがい ひと きぼう 視覚障害のある人で希望 する かに たい ほんし 方に対して、本市か ら ほうこう つうち つうちめい 発行する 通知の 通知名 どう てんじか つうち 等を点字化した通知を ほうそう しく うんよう 発送する 仕組みを 運用し ます。また、ちようかくしょうがい 聴覚障害のある ひと 人への じょうほうほしやう 情報保障と して、タブレット たんまつ 端末を かつよう しゅわつうやく 活用した 手話通訳サービ ス じょうほうていきやう の 情報提供 します。 おんせい 音声通訳アプリを しよう 使用し た じょうほうほしやう 情報保障について、 たら けんしやう 新たなアプリ等の 検証を おこな ぎやうせい ほうこう 行 います。行政が 発行 する こうほうぶつ 広報物について、 ちてきしょうがい ひと 知的障害のある人にもわ かりやすい ばん さくせい 版を作成する とともに、 ざくせい 作成のための きほんてき けんしやう おこな 基本的な 研修を 行いま す。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
だいひつ 代筆・ だいどく 代読サー ビス ⑧	しかくとう しょうがい 視覚等に障害のあ ひと にちじょうせいかつ る人が日常生活の なか だいひつ 中で代筆または だいどく ひつよう 代読が必要なとき しえんしゃ に支援者によるサ ービス提供を行 います。	サービスの実施に向け て、関係団体へのヒアリ ングを基に適切な提供 ほうほうとう けんとう すず 方法等について検討を進 めていきます。	きよたくない だいどく だいひつ 居宅内での代読・代筆 しえん かんけいだんたい れいわ ねん 支援について、令和3年 がつ か じえんじよ 10月から家事援助におい だいどく だいひつ て代読・代筆のみでのサ ービス提供を可能としま した。	○	うんよう てきせつ おこな サービス運用を適切に行 うとともに、将来的な しょうらいてき 代読・代筆サービスの ていきょうほうほうとう ひ つづ 提供方法等を引き続き けんとう 検討していきます。	けんとう 検討 ・ じっし 実施	すいしん 推進

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
しゅわつうやくしゃ はけん 手話通訳者の派遣 はけん にんずう ⑧ (派遣人数)	11,000人 じっせき にん 実績9,630人	11,000人	11,000人
ようやくひっししゃ はけん 要約筆記者の派遣 はけん にんずう ⑧ (派遣人数)	1,900人 じっせき にん 実績934人	1,900人	1,900人
しゅわほうしんようせいけんしゅうじぎょう 手話奉仕員養成研修事業 ようせいにんずう ⑧ (養成人数)	172人 じっせき にん 実績102人	172人	172人
しゅわつうやくしゃ ひっししゃようせいけんしゅうじぎょう 手話通訳者・筆記者養成研修事業 ようせいにんずう ⑧ (養成人数)	90人 じっせき にん 実績46人	90人	90人
もう しゃむ つうやく かいじょいんようせいけんしゅう 盲ろう者向け通訳・介助員養成研修 じぎょう ようせいにんずう ⑧ 事業 (養成人数)	30人 じっせき にん 実績17人	30人	30人

4 そうだんしえん  
相談支援

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいしゃ 障害者 そうだんしえん 相談支援 じぎょう 事業の しゅうちおよ 周知及び ふきゅうけいはつ 普及啓発	くふくしほけん 区福祉保健センター、 きかんそうだんしえん 基幹相談支援センター、 せいしんしょうがいしゃせいかつしえん 精神障害者生活支援セ ンターの3機関を中心 に地域生活支援拠点の 機能の充足させなが ら、相談支援事業の 周知、啓発を図ります。	ちいき かんけいきかんとく れんけい 地域の関係機関等の連携 を促進する取組の中で、 ほんし そうだんしえんたいせい かん 本市の相談支援体制に関 する周知・啓発を進めま す。	くふくしほけん 区福祉保健センター、 きかんそうだんしえん 基幹相談支援センター、 せいしんしょうがいしゃせいかつしえん 精神障害者生活支援セ ンターの3機関を中心 に、地域住民に向けた 講座の開催や地域ケアプ ラザとの連携強化等を取 り組み、本市の相談支援 体制に関する周知・啓発 を進めました。	○	ひ つづ ちいき かんけい 引き続き地域の関係 機関等の連携を促進す る取組の中で、本市の 相談支援体制に関する 周知・啓発を進めま す。	すいしん 推進	すいしん 推進
そうだんしえん 相談支援 じゅうじしゃ 従事者の じんざいいくせい 人材育成 【再掲】	しいき くいき じんざい 市域と区域での人材 育成に関する取組を 整理し、相互に連動させ た効果的・効率的な人材 育成体系を整備します。	けんしゅう じっしだいせい せいり 研修の実施体制を整理 し、相談支援従事者の 人材育成と研修体系に おける連動性を確保しま す。	しいき そうだんしえん 市域における相談支援 従事者向け研修の実施 体制や担い手の育成を 体系的に整理すること で、区域での人材育成と の連動性を強化しまし た。	○	くいき じりつしえんきょうぎかい 区域の自立支援協議会 等を活用し、相談支援 従事者の人材育成と 研修体系における 連動性を高めます。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しじりつ 市自立 しえんきょうぎ 支援協議 かい 区 会と区 じりつしえん 自立支援 きょうぎかい 協議会の れんけい 連携・ れんどう 連動	しじりつしえんきょうぎかい 市自立支援協議会、ブ ック連絡会、区自立 しえんきょうぎかい 区 支援協議会を連携・連動 させ、地域づくりに こうかてき と く 効果的に取り組める たいせい せいび 体制を整備します。	ちいき すいしん む 地域づくりの推進に向 け、市自立支援協議会、 ブック連絡会、区自立 しえんきょうぎかい 区 支援協議会を効果的に れんどう うんよう 連動させ、運用します。	ちいき すいしん む 地域づくりの推進に向 け、市自立支援協議会、 くじりつしえんきょうぎかい 区自立支援協議会が こうかてき れんどう 効果的に連動するよう、 じょうほうきょうゆう し く とう 情報共有の仕組み等の みなお おこな 見直しを行いました。	○	ひ つづ ちいき 引き続き地域づくりの すいしん む しじりつ 推進に向け、市自立 しえんきょうぎかい 支援協議会、ブロック れんらくかい くじりつしえんきょう 連絡会、区自立支援協 ぎかい こうかてき れんどう 議会を効果的に連動さ せ、運用します。	すいしん 推進	すいしん 推進
どうじしゃ 当事者に よる相談 じゅうじつ の充実	しゃかいさんかすいしん 社会参加推進センター に設置するピア相談セ ンターでの当事者相談 しゅうち はか どうじしゃ の周知を図り、当事者に よる相談支援を推進し ます。	ひ つづ そうだん 引き続き、ピア相談セン ターの取組の周知を強化 し、当事者相談の活用 につなげていきます。ま た、ピア相談員研修を じっし そうだんいん 実施し、ピア相談員のス キルアップを図ります。	そうだん とりくみ ピア相談センターの取組 の周知を強化し、当事者 相談の活用につなげまし た。また、ピア相談員 けんしゅう じっし 研修を実施し、ピア 相談員のスキルアップを はか 図りました。	○	ひ つづ そうだん 引き続き、ピア相談セ ンターの取組の周知を きょうか どうじしゃ 強化し、当事者相談の 活用につなげていきま す。また、ピア相談員 けんしゅう じっし 研修を実施し、ピア 相談員のスキルアップ を はか 図ります。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
きそん 既存の そうだんまどぐち 相談窓口 (ちいき 地域ケア プラザ等) による れんけい 連携	ひごろ かか なか 日頃の関わりの中で、 なにげ かいわ ふく 何気ない会話に含まれ ている相談を身近な そうだんしゃ 相談者としてとらえ、 ひつよう おう いちじおよ 必要に応じて、一次及び にじそうだんしえんきかん 二次相談支援機関につ なげます。	みぢか そうだんしゃ 身近な相談者として、 ひごろ かか なか 日頃の関わりの中で、 なにげ かいわ ふく 何気ない会話に含まれて いる相談に気づき、必要 そうだん き ひつよう に応じて適した相談支援 おう てき そうだんしえん 機関につなげます。	ちいき どう 地域ケアプラザ等におい て、日頃の関わりの中で はあく そうだん みぢか 把握した相談を身近な そうだんしゃ う と 相談者として受け止め、 ひつよう おう てき そうだん 必要に応じて適した相談 きかん 機関へつなげました。	○	みぢか そうだんしゃ 身近な相談者として、 ひごろ かか なか 日頃の関わりの中で、 なにげ かいわ ふく 何気ない会話に含まれ ている相談に気づき、 そうだん き 必要に応じて適した ひつよう おう てき 相談支援機関につなげ ます。	すいしん 推進	すいしん 推進
なんびょうかんじゃ 難病患者 とう ひつ 等への必 よう じょうほう 要な情報 ていきょう 提供	なんびょうかんじゃとう たい 難病患者等に対して ひつよう じょうほうていきょう おこな 必要な情報提供を行 うこと等により、難病 かんじゃなど しょうがいふくし 患者等の障害福祉サー ビス等の活用が促され けんとう るよう検討します。	く こうえんかい こうりゅうかい 各区での講演会・交流会 かいさい つき かい の開催や、月2回のメー ルマガジンのはいしん 配信、ホーム ページへの掲載等を通 じてじょうほうていきょう おこな 情報提供を行います。	かかく こうえんかい 各区での講演会・ こうりゅうかい かいさい つき 交流会の開催や、月2 回のメールマガジンの はいしん よこはまし 配信、横浜市ホームペー ジへの掲載等を通じて なんびょうかんじゃとう じょうほう 難病患者等への情報 ていきょう おこな 提供を行いました。	○	く こうえんかい こうりゅうかい 各区での講演会・交流会 かいさい つき かい の開催や、月2回のメ ールマガジンのはいしん 配信、 ホームページへの掲載 とう つう じょうほうていきょう 等を通じて情報提供 おこな を行います。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
はったつしょうがい 発達障害 者支援セ ンター運 営事業	はったつしょうがいしゃしえん 発達障害者支援セン ターと、地域の支援機 関との連携の仕組 みを整理し、相談支 援体制の強化を図 ります。	はったつしょうがいちいきれんけい 「発達障害地域連 携プログラム」の 実施等により、発 達障害者支援セ ンターと地域の支 援機関との連携を 促進します。	はったつしょうがいちいきれんけい 「発達障害地域連 携プログラム」を 実施し、発達障 害者支援セン ターと地域の支 援機関との連 携を促進しまし た。また、「発達 障害者相談研 修」を実施し、 相談援助技術 の向上を図り ました。	○	ひ つづ はったつしょうがい 引き続き、「発達障 害地域連携プロ グラム」を実施 し、発達障害者 支援センターと 地域の支援機 関との連携を 促進します。ま た、「発達障害者 相談研修」を 実施し、相談 援助技術の向 上を図ります。	すいしん 推進	すいしん 推進
こうじのう 高次脳 機能障 害に関 わる 関係機 関の 連携 促進	こうじのうき 高次脳機能障 害者支援セ ンターと地域の 関係機関との 連携を促進し、 身近な地域に おける高次脳 機能障害に対 する支援体制 を強化しま す。	こうじのうき 高次脳機能障 害者支援セ ンターと連 携した取組 により、高次 脳機能障害 に関わる地 域の関係機 関を支援し、 当事者や家 族の支援ニ ーズに対応 する相談の 質の向上と 相談支援 体制の強化 を図ります。	こうじのうき 高次脳機能障 害者支援セ ンターと18 区中途障 害者地域活 動センター での専門 相談を 実施すると ともに、支 援者向け オンライン 研修や 意見交換 会、家族 支援とし て家族交 流会を市 域南北の 会場で 実施しま した。	○	ひ つづ こうじのうき 引き続き、高次 脳機能障害 者支援セン ターと連 携した取組 により、高 次脳機能障 害に関わ る地域の 関係機 関を支援 し、当事 者や家 族の支 援ニ ーズに 対応 する 相談 の質 の向 上と 相談 支 援 体 制 の 強 化 を 図 り ま す。	すいしん 推進	すいしん 推進

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
ちいき そろだんしえんたいせい きょうか 地域の相談支援体制の強化 ・専門的な指導・助言(福)(新)	けん 400件 じっせき けん 実績401件	けん 440件	けん 480件
ちいき そろだんしえんじぎょうしゃ じんざいいくせい ・地域の相談支援事業者の人材育成の 実施(福)(新)	かい 72回 じっせき けん 実績73件	かい 72回	かい 72回
ちいき そろだんきかん れんけいきょうか とりくみ ・地域の相談機関との連携強化の取組 (福)(新)	かい 36回 じっせき けん 実績103件	かい 36回	かい 36回
しょうがい しゅべつ かくしゅ たいおう 障害の種別や各種のニーズに対応で きる総合的・専門的な相談支援(福)(新)	けん 48,000件 じっせき けん 実績59,109件	けん 49,000件	けん 50,000件
けいかくそろだんしえんりようしゃすう ねんかん 計画相談支援利用者数(年間)(福)	にん 16,322人 じっせき にん 実績14,235人	にん 18,805人	にん 21,453人
はったつしょうがいがいしゃしえん ちいききょうぎかい 発達障害者支援地域協議会の 開催件数(福)	けん 3件 じっせき けん 実績1件	けん 3件	けん 3件
はったつしょうがいがいしゃしえん そろだん 発達障害者支援センターによる相談 件数(学齢後期障害児支援事業分を除 く)(福)	けん 3,500件 じっせき けん 実績1,528件	けん 3,500件	けん 3,500件
はったつしょうがいがいしゃしえん およ はったつ 発達障害者支援センター及び発達 障害者地域支援マネージャーの外部 機関や地域住民への研修・啓発(学 齢後期障害児支援事業分を除く)(福)	けん 55件 じっせき けん 実績41件	けん 55件	けん 55件
いりょうてき じ しゃどう たい かんれんぶんや 医療的ケア児・者等に対する関連分野 の支援を調整するコーディネーター の配置(児)	にん 6人 じっせき にん 実績6人	にん 6人	にん 6人

1-1 住まい

(1) 障害状況に合わせた住まいの選択肢の充実

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりにくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりにくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
みんかんじゅうたく 民間住宅 にゆうきよ 入居の そくしん 促進	しょうがいしゃ みんかんちんたいじゅうたく 障害者が民間賃貸住宅 への入居をしやすくす る仕組みとして「住宅 セーフティネット制度」 を活用していきます。 また、しょうがいしゃとう じゅうたく 障害者等の住宅 確保要配慮者の居住 支援を充実させるた め、よこはましきょじゅうしえんきょう 横浜市居住支援協 議会と不動産事業者や ふくししえんだんたい くきょく 福祉支援団体、区局の れんけい きょうか せいど 連携を強化する制度の けんとう すず 検討を進めます。	じゅうたく 「住宅セーフティネ ット制度」の活用や、 よこはましきょじゅうしえんきょう 横浜市居住支援協 議会と関係機関との れんけいたいせい けんとう 連携体制について検討 します。	よこはましきょじゅうしえんきょうぎかい 横浜市居住支援協議会 の総会を開催し、令和4 年度は精神障害に対す る理解を深める勉強会 等を実施する事業計画を 策定しました。障害 福祉に関する支援機関に 向けて「住宅セーフテ ィネット制度」や横浜市 居住支援協議会の制度 説明を行い、連携を 強化する検討を進めまし た。	○	きょじゅうしえんきょうぎかい かつよう 居住支援協議会を活用 し、不動産事業者への しょうがいりかい すいしん ふくし 障害理解の推進と福祉 しえんしゃ かんけい 支援者との関係づくりに つと 努めます。	すいしん 推進	すいしん 推進



じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりにくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりにくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
サポート ホーム ㊦	はったつしょうがい にゆうきよしゃ 発達障害のある入居者 たい ちいきせいかつ む に対し、地域生活に向け じゅんび せいかつめん た準備のため、生活面の しえん アセスメントと支援を じっし 実施する「サポートホー こうか けんしょう ム」の効果を検証する しえん ほうほう とともに、支援方法を ちいき じぎょうしょとう かくだい 地域の事業所等へ拡大さ せていきます。	じぎょう サポートホーム事業の すいしん はったつ 推進により、発達 しょうがい ひと せいかつ 障害のある人の生活 しえん を支援するとともに、 こうか けんしょう その効果を検証しま す。また、支援方法を ちいき じぎょうしょとう かくだい 地域の事業所等へ拡大 けんしゅうとう させるための研修等 きかい そうしゅつ けんとう の機会創出を検討し ます。	じぎょう サポートホーム事業の すいしん はったつしょうがい 推進により、発達障害 ひと せいかつ しえん のある人の生活を支援す こうか るとともに、その効果を けんしょう 検証しました。また、 しえん ほうほう ちいき じぎょうしょ 支援方法を地域の事業所 とう かくだい 等へ拡大させるための ほうほう けんとう 方法について検討しまし た。	○	ひ つづ 引き続き、サポートホー じぎょう すいしん ム事業の推進により、 はったつしょうがい ひと 発達障害のある人の せいかつ しえん 生活を支援するととも こうか けんしょう に、その効果を検証し ます。また、支援方法を ちいき じぎょうしょとう かくだい 地域の事業所等へ拡大さ せるための研修等の きかい そうしゅつ けんとう 機会創出を検討しま す。	すいしん 推進	すいしん 推進
しょうがい じ 障害児 しせつ 施設の さいせいび 再整備 ㊦	ろうきゆうか すず 老朽化が進んでいる しょうがいじにゆうしよしせつ 障害児入所施設の さいせいび すず 再整備を進めます。	しせつ うんえいほうじん 施設の運営法人と ちようせい すず 調整を進めます。	さいせいび けんとう 再整備について検討 ちようせいとう おこな 調整等を行いました。	△	しせつ うんえいほうじん ちようせい 施設の運営法人と調整 すず を進めます。	けんとう 検討	けんとう 検討

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうふうがくえん 松風学園 さいせいび 再整備 じぎょう 事業	にゅうきよしゃ きよじゅうかんきよう 入居者の居住環境 かいぜん こしつ かどう 改善のため、個室化等を すす すすめます。また、どうえん 進めます。また、同園 しきち いちぶ かつよう 敷地の一部を活用して みんせつしんにゆうしよしせつ せいび 民設新入所施設を整備 します。 ちゅうかんき こしつ かどう ・中間期：個室化等の きよじゅうかんきよう せつび 居住環境や設備の かいぜんおよ みんせつしんにゆうしよ 改善及び民設新入所 しせつ こうじじっし 施設の工事实施 けいかく きかんちゅう こしつ か ・計画期間中：個室化 どう きよじゅうかんきよう せつび 等の居住環境や設備 かいぜんおよ みんせつ の改善及び民設 しんにゆうしよしせつ こうじ 新入所施設の工事 じっしかんりよう 実施完了	しんきよじゅうどう ぜんしつ 新居住棟（全室 こしつ こうじ ちゃくしゅ 個室）の工事に着手 します。 みんせつしんにゆうしよしせつ 民設新入所施設につ いては、こうじ かんりよう 工事を完了 します。	しんきよじゅうどう ぜんしつこしつ 新居住棟（全室個室） こうじ ちゃくしゅ の工事に着手したほ か、じっせつけい どうかいたい 実施設計（B棟解体 こうじなど おこな 工事等）を行いました た。 みんせつしんにゆうしよしせつ 民設新入所施設につい ては、もくざいこうどう 木材高騰などの えいきょう こうき おく 影響で工期が遅れまし たが、ねんどない こうじ かん 年度内に工事を完 りよう 了しました。	○	しんきよじゅうどう ぜんしつこしつ 新居住棟（全室個室） こうじ かんりよう の工事を完了します。 どうかいたいこうじ ちゃくしゅ B棟解体工事に着手しま す。 みんせつしんにゆうしよしせつ 民設新入所施設につい ては、うんえい かいし 運営を開始しま す。	こうじ 工事 じっし 実施 実施	こうじ 工事 じっし 実施 完了

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりにくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりにくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
<p>さいけい 【再掲】 しょうがい ふくし 障害福祉 しせつとう 施設等で はたら かんご 働く看護 し しえん 師の支援 あ</p>	<p>しょうがいふくししせつとう はたら 障害福祉施設等で働く かんごし ていちゃく む 看護師の定着に向けた しえん おこな 支援を行うとともに、 じんざいかくほ ほうさく 人材確保の方策について けんとう 検討します。</p>	<p>しょうがいふくししせつとう はたら 障害福祉施設等で働く かんごし ギのうこうじょう 看護師の技能向上 およ しゅうろうていちゃく もくてき 及び就労定着を目的 い しどう かくしせつ に、医師等が各施設に ほうもん おこな こべつ 訪問して行う個別の じよげん けんしゅう かくしせつ 助言や研修、各施設 かんごし たいしやう の看護師を対象とし ごうどうけんしゅうとう じっし た合同研修等を実施 します。</p>	<p>しょうがいふくししせつとう はたら 障害福祉施設等で働く かんごし む いし 看護師向けに、医師によ こうくきのうかんり る口腔機能管理について こうぎ どうが はいしん の講義を動画で配信し、 ぎじゅつてき しどう おこな 技術的な指導を行いま した。</p>	<p>△</p>	<p>しょうがいふくししせつとう はたら 障害福祉施設等で働く かんごし ギのうこうじょう 看護師の技能向上及び しゅうろうていちゃく もくてき 就労定着を目的に、 い しどう かくしせつ ほうもんとう 医師等が各施設に訪問等 おこな こべつ じよげん して行う個別の助言や けんしゅう かくしせつ かんごし 研修、各施設の看護師 たいしやう ごうどうけんしゅう を対象とした合同研修 とう じっし 等を実施します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
きょうどうせいかつえんじよ 共同生活援助（グループホーム） りようしゃすう しんせつていんすう ねん 利用者数（新設定員数/年） 福	にん 200人 じっせき 実績221人	にん 200人	にん 200人
きょうどうせいかつえんじよ 共同生活援助（グループホーム） りようしゃすう りようにんずう ねん 利用者数（利用人数/年） 福	にん 5,000人 じっせき 実績5164人	にん 5,200人	にん 5,400人
しせつにゆうしよしえん 施設入所支援 りようにんずう つき （利用人数/月） 福	にん 1,426人 じっせき 実績1,385人	にん 1,420人	にん 1,414人
ふくしがたしやうがい じにゆうしよしえん 福祉型障害児入所支援 りよう じどうすう つき （利用児童数/月） 児	にん 190人 じっせき 実績160人	にん 190人	にん 190人
いりやうがたしやうがい じにゆうしよしえん 医療型障害児入所支援 りよう じどうすう つき （利用児童数/月） 児	にん 90人 じっせき 実績77人	にん 90人	にん 90人
しやうがい じにゆうしよしせつ 障害児入所施設における18歳以上 にゆうしよしやすう の入所者数 児	にん 0人 じっせき 実績13人	にん 0人	にん 0人
しゆくはくがたじりつくんれん りようにんずう つき 宿泊型自立訓練（利用人数/月） 福	にんぶん 87人分 じっせき 実績65人	にんぶん 87人分	にんぶん 87人分
	にんにち 2,364人日 じっせき 実績1,709人	にんにち 2,364人日	にんにち 2,364人日
りようようかいご りようにんずう つき 療養介護（利用人数/月） 福	にん 279人 じっせき 実績283人	にん 279人	にん 284人

(2) 高齢化・重度化を踏まえた住まいの構築

事業名	事業内容	令和3年度取組予定	令和3年度実績	令和3年度 評価	令和4年度 取組予定	中間期 目標	目標
<p>身体障害者・高齢者の住宅改造及び模様替え</p>	<p>市営住宅に入居している障害者等の要望に対し、トイレや浴室への手すりの取付けなどの住宅改造を実施します。</p>	<p>現行の仕組みでの対応を維持していきます。</p>	<p>令和3年度はトイレや浴室への手すりの取付けなどの住宅改造を実施しました。                      &lt;令和3年度実績&gt;                      住宅改造14件                      (障害者対応5件・高齢者対応9件)                      模様替承認80件</p>	○	<p>現行の仕組みでの対応を維持していきます。</p>	<p>推進</p>	<p>推進</p>
<p>高齢化・重度化対応のグループホームの検討・拡充</p>	<p>現在、実施している高齢化・重度化対応グループホーム事業を踏まえ、持続的に実現可能な制度の検討を行います。今後も進んでいくことが見込まれる障害者の高齢化・重度化に対応していくため、高齢化・重度化対応グループホームを拡充していきます。</p>	<p>引き続き、日中サービス支援型の活用を踏まえた制度、施策の検討を行っていきます。</p>	<p>日中サービス支援型の活用を念頭に、関係団体等とのヒアリングを重ね、対象者や必要な設備などのご意見をいただきました。</p>	○	<p>引き続き、日中サービス支援型の活用を踏まえた制度、施策の検討を行います。</p>	<p>推進</p>	<p>推進</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
こうれいか 高齢化・ じゅうどか 重度化 たいおう 対応バリ アフリー かいしゅうじぎょう 改修事業	りよう グループホームを利用す しょうがいしゃ こうれい る障害者が高齢になり、 ともな しんたいきのう それに伴う身体機能の ていかとう じゅうらい 低下等により、従来のホ ームの設備で生活するこ とが困難となる場合で も、居住しているホーム で安心して生活し続ける ことができるよう、バリ アフリー等改修に係る けいひ ほじよ 経費を補助します。	こうれいか じゅうどか 高齢化・重度化にと もな しんたいきのう ていかとう なう身体機能の低下等 があっても、きょじゅう 居住して いるホームであんしん 生活し続けることがで きるよう、バリアフリ ー等改修に係る費用 (5か所分)を補助し ます。	こんねんど 今年度については、ホ ームからのしんせい 申請はあり ませんでした。ひきつづ き、すいしん 推進していきま す。	×	こうれいか じゅうどか 高齢化・重度化にと もな しんたいきのう なう身体機能の ていかとう 低下等があっても、 きょじゅう 居住しているホーム であんしん せいかつ つづ で安心して生活し続 けることができるよ う、バリアフリー等 かいしゅう かかわ ひよう 改修に係る費用 (5か所分)を補助 します。	じっし 実施	じっし 実施

1-2 暮らし

(1) 地域での生活を支える仕組みの充実

事業名	事業内容	令和3年度取組予定	令和3年度実績	令和3年度 評価	令和4年度 取組予定	中間期 目標	目標
<p>しょうがいしゃ 障害者 ちいきかつどう 地域活動 ホーム じぎょう 事業</p>	<p>ざいたく しょうがいじ しゃ 在宅の障害児・者とその かぞく ちいきせいかつ しえん 家族の地域生活を支援 する拠点施設として、 よこはまし づくじ せっち 横浜市が独自に設置し ているものです。主なサ ービスとして、せいかつかいご 生活介護 やちいきかつどうしえん 地域活動支援センタ ー事業デイサービス型 どう にっちゅうかつどう 等の日中活動のほか、 しょーとステイやいちじ ショートステイや一時 ケア等の生活支援事業 を実施しています。施設 きぼどう しゃかいふくし 規模等により、社会福祉 ほうじんがたちかつ 法人型地活ホームと きのうきょうかがたちかつ 機能強化型地活ホーム の2種類に分類されて います。</p>	<p>しゃかいふくしほうじんがたちかつ 社会福祉法人型地活ホー ムおよび機能強化型地活ホ ームの両方について、 ちいき きよてんてきしせつ 地域における拠点施設 として、よりつか 使いやすい しゃかいしげん 社会資源となるよう、 うんえいほうじん かんけいぶしょどう 運営法人や関係部署等と かだい きょうゆう やくわり 課題を共有し、役割や いちづ めいかくか きのう 位置付けの明確化・機能 の充実化に向けて、引き つづ けんどう おこな 続き検討を行います。</p>	<p>かつどう れんらくかいどう ば 活動ホーム連絡会等の場 において、現場の課題を きょうゆう やくわり いちづ 共有し、役割や位置付 けの明確化・機能の じゅうじつか む しせつ 充実化に向けて、施設と うんえい かんた しての運営のあり方につ いていけんこうかん おこな 意見交換を行いました。 あわ 併せて、コロナ禍におけ るきんきゅうたいおうどう 緊急対応等について じょうほうきょうゆう けんどう も、情報共有・検討を おこな 行いました。</p>	<p>○</p>	<p>しゃかいふくしほうじんがたちかつ 社会福祉法人型地活ホー ムおよび機能強化型地活ホ ームの両方について、 ちいき きよてんてきしせつ 地域における拠点施設 として、よりつか 使いやすい しゃかいしげん 社会資源となるよう、 うんえいほうじん かんけいぶしょどう 運営法人や関係部署等と かだい きょうゆう やくわり 課題を共有し、役割や いちづ めいかくか きのう 位置付けの明確化・機能 の充実化に向けて、引き つづ けんどう おこな 続き検討を行います。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

<p>せいしんしょうがい 精神障害者生活 支援センター事業</p>	<p>とうごうしつちやうしやう 統合失調症をはじめ とした精神障害者の しゃかいふつき じりつおよ しゃかい 社会復帰、自立及び社会 さんか しえん 参加を支援するため かくく しよせっち 各区に1か所設置して いる精神障害者の地域 せいかつしえん ほんし 生活支援における本市 きよてんしせつ の拠点施設です。 せいしんほけんふくしし はいち 精神保健福祉士を配置 にちじやうせいかつ かん し、日常生活に関する そうだん じよげん じやうほうていききやう 相談や助言、情報提供 のほか、せんもんい 専門医による そうだん せいかついじ 相談や生活維持のため のサービス（しょくじ 食事、 にゅうよく せんたくとう どう てい 入浴、洗濯等）等を提 きやう く 供しています。区や きかん そうだんしえん 基幹相談支援センター とともに、ほんし ちいき 本市の「地域 せいかつしえんきよてん 生活支援拠点」や「せいしん 生活支援拠点」や「精神 しょうがい たいおう ちいき 障害にも対応した地域 ほうかつ 包括ケアシステム」の ちゆうかく いちづ 中核に位置付けられて います。</p>	<p>せいしんしょうがいしや 精神障害者のための きよてんてきしせつ 拠点施設として、せいしん 精神 しょうがいしや ちいき じりつ 障害者が地域で自立し た生活を送ることができ るよう、そうだんしえん 相談支援や にちじやうせいかつ しえん ちいき 日常生活の支援、地域 こうりゅう そくしんとう おこな 交流の促進等を行って いきます。 せっちとうしよ いばしよきのう 設置当初の居場所機能や せいかついじ 生活維持のためのサービ ス（しょくじ にゅうよく せんたく 食事、入浴、洗濯 とう せいかつ 等）だけではなく、生活 しえん こ 支援センターに来られな ひと い人へのアプローチや かんけいきかん れんけい そうき 関係機関と連携した早期 たいおう せいしんしょうがいしや 対応など、精神障害者 そうだんきのう じゆうてん お の相談機能に重点を置 しえん じゆうじつ はか いた支援の充実を図り ます。</p>	<p>せいしんしょうがいしや 精神障害者のための きよてんてきしせつ 拠点施設としての運営 のあり方について、施設 ちやうかい ば 長会の場において、 げんば かだい きやうゆう 現場の課題を共有し、 いけんこうかん おこな 意見交換を行いました た。あわ みんせつかた 併せて民設型センタ 一の運営モニタリングの しく けんとう 仕組みを検討し、モデル じっし おこな 実施を行いました。 また、そうだんしえん じゆうじつ 相談支援の充実 もくてき じつむしゃかいぎ を目的に、実務者会議を しんせつ そうだんきのう 新設し、相談機能に じゆうてん お いけんこうかん 重点を置いた意見交換 おこな あわ を行いました。併せて ピアサポートのせいしん ぶ 推進に向け、せいせつちやうかい ば 施設長会の場であ きやうぎ かいし 協議を開始しました。</p>	<p>せいしんしょうがいしや 精神障害者のための きよてんてきしせつ 拠点施設として、せいしん 精神 しょうがいしや ちいき じりつ 障害者が地域で自立し た生活を送ることができ るよう、そうだんしえん 相談支援や にちじやうせいかつ しえん ちいき 日常生活の支援、地域 こうりゅう そくしんとう おこな 交流の促進等を行って いきます。 せっちとうしよ いばしよきのう 設置当初の居場所機能や せいかついじ 生活維持のためのサービ ス（しょくじ にゅうよく せんたく 食事、入浴、洗濯 とう せいかつ 等）だけではなく、生活 しえん こ 支援センターに来られな ひと い人へのアプローチや かんけいきかん れんけい そうき 関係機関と連携した早期 たいおう せいしんしょうがいしや 対応など、精神障害者 そうだんきのう じゆうてん お の相談機能に重点を置 しえん じゆうじつ はか いた支援の充実を図り ます。</p>	<p>せいしん 推進</p>	<p>せいしん 推進</p>
---	--	--	---	--	--------------------	--------------------



じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
<p>たきのうがた 多機能型 きよてん 拠点の せいび 整備・ うんえい 運営  あ</p>	<p>つね いりようてき ひつよう 常に医療的ケアを必要 とする重症心身 しょうがいじ しゃなど 障害児・者等とその かぞく ちいきせいかつ しえん 家族の地域生活を支援 するため、相談支援、 たんきにゆうしょ せいかつかいご 短期入所、生活介護、 しんりょう ほうもんかんご きょたく 診療、訪問看護や居宅 かいご いったいてき てい 介護などを一体的に提 きょう たきのうがたきよてん 供する多機能型拠点の せいび しない ほうめん すず 整備を市内6方面に進 めます。</p>	<p>しない かんめ ほうどうぶ 市内4館目である北東部 ほうめんたきのうがたきよてん 方面多機能型拠点 かしょう せつけい (仮称)について、設計 を行います。 しない かんめ せいび 市内5, 6館目の整備 よていち けんとう せんてい 予定地を検討、選定しま す。</p>	<p>しない かんめ ほうどうぶ 市内4館目である北東部 ほうめんたきのうがたきよてん 方面多機能型拠点 かしょう きほん (仮称)について、基本 せつけい おこな 設計を行いました。 5, 6館目については引 つづ こうほち けんとう き続き候補地の検討・ ちょうさ おこな 調査を行いました。</p>	<p>○</p>	<p>しない かんめ ほうどうぶ 市内4館目である北東部 ほうめんたきのうがたきよてん 方面多機能型拠点 かしょう じっし (仮称)について、実施 せつけい かんりよう こうじ 設計を完了させ、工事 ちやくしゆ に着手します。</p>	<p>しない 市内4 ほうめん 方面 せいび 整備 かんりよう 完了</p>	<p>しない 市内 6 ほうめん 方面 せいび 整備 かんりよう 完了</p>
<p>こうどうしょうがい 行動障害 のある方の ちいきこう 地域移行 や地域 せいかつ ささ 生活を支 える仕組 みづくり</p>	<p>こうどうしょうがい かつ 行動障害のある方に ひつよう しえんたいせい 必要とされる支援体制 について、特に地域 いこう ちいきせいかつ ささ 移行や地域生活を支え きのう けんとう すず る機能の検討を進めま す。</p>	<p>こうどうしょうがい ひと 行動障害のある人に ひつよう しえんたいせい 必要とされる支援体制に ついて、特に地域移行や ちいきせいかつ ささ きのう 地域生活を支える機能の けんとう ちょうない すず 検討を庁内で進めま す。</p>	<p>こうどうしょうがい ひと 行動障害のある人に ひつよう しえんたいせい 必要とされる支援体制に ついて、特に地域移行や ちいきせいかつ ささ きのう 地域生活を支える機能に かん ちょうない 関する庁内プロジェク たちあ じゆんび すず トの立上げ準備を進めま した。</p>	<p>○</p>	<p>こうどうしょうがい ひと 行動障害のある人に ひつよう しえんたいせい 必要とされる支援体制に ついて、特に地域移行や ちいきせいかつ ささ きのう 地域生活を支える機能に かん ちょうない 関する庁内プロジェク けんとう すず トでの検討を進めます。</p>	<p>けんとう 検討</p>	<p>すいしん 推進</p>

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	令和3年度取組予定 <small>れいわ ねんどとりくみよてい</small>	令和3年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small>	令和3年度 評価 <small>れいわ ねんど 3年度 ひょうか</small>	令和4年度 取組予定 <small>れいわ ねんど とりくみよてい</small>	中間期 目標 <small>ちゅうかんき もくひょう</small>	目標 <small>もくひょう</small>
地域支援 マネジャー による 障害福祉 サービス 事業所等 への支援 ⑧	発達障害者支援センターに「地域支援マネジャー」を配置し、障害福祉サービス事業所等に対し、行動障害・発達障害に係るコンサルテーションを実施します。	「地域支援マネジャー」による、障害福祉サービス事業所等に対する、行動障害・発達障害に係るコンサルテーションを実施します。	「地域支援マネジャー」による、障害福祉サービス事業所等に対するコンサルテーション（行動障害・発達障害に関する研修の実施、事業所に出向いての障害特性の見立てや環境調整など）を実施しました（713件、91事業所）。	○	引き続き、「地域支援マネジャー」による、障害福祉サービス事業所等に対する、行動障害・発達障害に係るコンサルテーションを実施します。	すすん 推進	すすん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
ちいせいかつ 地域生活 しえんきよてん 支援拠点 きのう じゅう 機能の充 じつ 実	しょうがい ほう 障害のある方の こうれいか じゅうどか おや 高齢化・重度化、親な ご そな き後に備えるととも に、ちいきいこう すず 地域移行を進める ため、きかんそうだんしえん 基幹相談支援セ ンター・生活支援セン ター・区役所の3機関 いたい うんえい 一体の運営により、 ちいき しゃかい 地域のあらゆる社会 しげん ゆうきてき 資源を有機的につなぐ ネットワーク型の拠点 きのう せいび ちいき 機能を整備し、地域で のきょじゅうしえんきのう 居住支援機能の じゅうじつ はか 充実を図ります。	きかんそうだんしえん 基幹相談支援センター・ せいかつしえん く 生活支援センター・区 やくしよ きかん ちゅうしん 役所の3機関を中心 じりつしえんきょうぎかいどう かつよう 自立支援協議会等を活用 し、ちいせいかつしえんきよてん 地域生活支援拠点に かん しゅうち おこな 関する周知を行い、 ちいきじゅうみん ふく かんけい 地域住民を含めた関係 きかん きよてんきのう 機関とともに拠点機能の じゅうじつ はか 充実を図ります。	かくく そうだん 各区において、「相談」 きんきゅうじ うけい 「緊急時の受入れ」 たいおう たいけん きかい ば 対応「体験の機会」場 ていぎょう せんもんてきんざい の提供「専門的人材の いくせい かくほ ちいき 育成・確保」「地域の たいせい かくきのう 体制づくり」の各機能の じゅうじつ む とりくみ すず 充実に向けた取組を進 めました。また、しいき 市域では、「ちいせいかつしえんきよてん 地域生活支援拠点 けんどうぶかい かいさい 検討部会」を開催し、 かだい きょうゆう けんどう おこな 課題の共有・検討を行 うとともに、しいき とりくみ 市域の取組 じこう せいり 事項について整理しまし た。	○	ひ つづ きかんそうだんしえん 引き続き基幹相談支援セ ンター・生活支援センタ ー・区役所の3機関を ちゅうしん じりつしえんきょうぎかい 中心に自立支援協議会 どう かつよう ちいせいかつ 等を活用し、地域生活 しえんきよてん かん しゅうち 支援拠点に関する周知を おこな ちいきじゅうみん ふく 行い、地域住民を含め たかんけいかん きよてん 関係機関とともに拠点 きのう じゅうじつ はか 機能の充実を図りま す。	すいしん 推進	すいしん 推進

<p>精神障害 にも対応 した地域 包括ケア システム の構築</p>	<p>精神障害のある方の生活のしづらさを地域で支えていくため、医療・保健・福祉の連携の下、各区福祉保健センター、生活支援センター、基幹相談支援センターを核とした「協議の場」において関係者・関係機関が共通の認識の中で課題解決に向けた取組の検討と実施をしていきます。また、地域ごとの課題に対して特性を踏まえた対応ができるよう、これまでの社会資源を十分に活用しながら、ネットワーク機能の見直しや新たなつながりを構築していきます。</p> <p>※この取組のため、精神障害者の障害福祉サービスの利用状況を</p>	<p>区福祉保健センター、生活支援センター、基幹相談支援センターを核とした「協議の場」において、地域の関係機関と共通の認識を持ち、課題解決に向けた取組を検討、推進します。また、取組の推進のための研修会を開催します。</p>	<p>地域の関係機関と共通の認識を持ち、課題解決に向けた取組を検討、推進を目的として、区福祉保健センター、生活支援センター、基幹相談支援センターを核とした「協議の場」を開催しました。また、取組の推進を目的とした研修会を開催しました。</p> <p>市域において、地域移行・地域定着部会を2回開催し、お互いに支え合える仕組みについて検討しました。</p>	<p>○</p>	<p>区福祉保健センター、生活支援センター、基幹相談支援センターを核とした「協議の場」において、地域の関係機関と共通の認識を持ち、課題解決に向けた取組を検討、推進します。また、取組の推進のための研修会を開催します。</p> <p>さらに、同じ経験や立場の人同士がお互いに支え合える場や機会について検討します。</p>	<p>推進</p>	<p>推進</p>
---	--	---	--	----------	--	-----------	-----------

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
	<p>           はあく きばんせいび か            把握し、基盤整備の過            ぶそくどう はあく            不足等について把握す            るため、以下の事項につ            いか じこう            いて、活動指標として            かつどうしひょう            せってい            設定します。         </p>						

かつどうしひょう 活動指標	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
きょうどうせいかつえんじょ りょう 共同生活援助の利用 しゃすう せいしんしょうがい 者数(精神障害) 福	にん 959人 じっせき にん 実績1018人	にん 997人	にん 1,035人
ちいきいこうしえん りょう 地域移行支援の利用 しゃすう せいしんしょうがい 福 者数(精神障害)	にん ねん 108人/年 じっせき にん ねん 実績63人/年	にん ねん 120人/年	にん ねん 132人/年
ちいきていちゃくしえんりょう 地域定着支援利用 しゃすう せいしんしょうがい 福 者数(精神障害)	にん ねん 480人/年 じっせき にん ねん 実績405人/年	にん ねん 576人/年	にん ねん 672人/年
じりつせいかつえんじりょう 自立生活援助利用 しゃすう せいしんしょうがい 福 者数(精神障害)	にん ねん 60人/年 じっせき にん ねん 実績51人/年	にん ねん 75人/年	にん ねん 90人/年
じりつせいかつ ・自立生活アシスタ りょうしゃすう せいしん ント利用者数(精神 しょうがい 障害)	にん ねん 323人/年 じっせき にん ねん 実績376人/年	にん ねん 323人/年	にん ねん 323人/年
せいしんしょうがいたいいん 精神障害者退院サポ じぎょうりょうしゃ ート事業利用者	にん ねん 180人/年 じっせき にん ねん 実績180人/年	にん ねん 180人/年	にん ねん 180人/年

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
せいしんしょうがい 精神障害 しゃ かぞく 者の家族 しえんじぎょう 支援事業  (あ)	せいしんしょうがいしゃ かぞく 精神障害者とその家族 が適切な関係を保つた め、緊急滞在場所を 準備するとともに、家族 が精神疾患について 理解を深める機会を提 供します。	ひ つづ せいしんしょうがいしゃ 引き続き、精神障害者 とその家族が適切な関係 を保てるよう緊急滞在 場所を準備します。ま た、学習会を実施し、 家族が精神疾患について 理解を深める機会を提 供します。	せいしんしょうがいしゃ かぞく 精神障害者とその家族が 適切な関係を保てるよう 緊急滞在場所を準備しま した。また学習会を実施 し、家族が精神疾患につ いて理解を深める機会を 提供しました。	○	ひ つづ せいしんしょうがいしゃ 引き続き、精神障害者 とその家族が適切な 関係を保てるよう緊急 滞在場所を準備してい ます。また、学習会を 実施し、家族が精神 疾患について理解を深 める機会を提供してい ます。	すいしん 推進	すいしん 推進
いりょうてき 医療的ケ ア児・者 等の支援  のための 関係機関 の協議の 場の開催  (あ)	いりょうてき じ しゃとう 医療的ケア児・者等へ の地域における更なる 支援の充実に向けて、 保健・医療・障害 福祉・保育・教育等の 関係機関が連携を図る ため、横浜市医療的ケ ア児・者等支援検討 委員会において、課題 共有、意見交換、対応 策等の検討を行いま す。	よこはましりょうてき じ しゃ 横浜市医療的ケア児・者 等支援検討委員会につ いて、第1回を7月頃、第 2回を令和4年2月頃に 開催予定です。	よこはましりょうてき じ しゃ 横浜市医療的ケア児・者 等支援検討委員会を令和 3年8月及び令和3年2 月の2回開催し、情報 共有や意見交換を行 いました。	○	よこはましりょうてき じ 横浜市医療的ケア児・ 者等支援検討委員会に ついて、第1回を8月 頃、第2回を令和5年 2月頃に開催予定で す。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
いりょうてき 医療的ケ ア児・者 どうしえんしゃ 等支援者 ようせい 養成 ②③	うけいれたいせい じゅうじつ はか 受入体制の充実を図る ため、所属する施設・ 事業所等において、 医療的ケア児・者等の 受入れを積極的に 行えるよう、支援に必要な 知識・技術の普及啓発を 行う支援者を養成しま す。	れいわ ねん がつ がつ 令和3年5月から12月ま で医療的ケア児・者等 支援者養成研修を実施 します。50人程度を養成 予定です。	れいわ ねん がつ がつ 令和3年5月から12月ま で医療的ケア児・者等 支援者養成研修を実施 し、42人の横浜型医療的 ケア児・者等支援者養成 研修修了者を養成しま した。	○	れいわ ねん がつ がつ 令和4年5月から12月 まで医療的ケア児・者 等支援者養成研修を 実施します。50人程度 を養成予定です。	すいしん 推進	すいしん 推進



<p>メディカル ショート ステイ 事業 ②</p>	<p>医療的ケアが必要な重症心身障害児・者等を、在宅で介護する家族の負担軽減と在宅生活の安定を目的として、一時的に在宅生活が困難となった場合などに、病院での受け入れを実施します。</p>	<p>引き続き事業を実施していくとともに、協力医療機関との円滑な事業運営を図ります。</p>	<p>利用者向けの制度案内チラシを配布し、さらなる事業の周知を図り、制度を必要とする方の登録を促進しました。 協力医療機関の医療スタッフ向けの研修は新型コロナウイルス感染症の影響で中止しましたが、協力医療機関の医師、看護師及び医療ソーシャルワーカーとの会議を令和3年7月に実施し、利用者の受入に関する情報共有や意見交換を行いました。 その他、協力医療機関への訪問や電話・メールなどで随時連絡調整を行い、新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者の受入にも迅速に対応しました。</p>	<p>○</p>	<p>引き続き事業を実施していくとともに、協力医療機関との円滑な事業運営を図ります。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
--	---	--	--	----------	--	--------------------	--------------------

<p>しひょうめい 指標名</p>	<p>れいわ ねんど 令和3年度</p>	<p>れいわ ねんど 令和4年度</p>	<p>れいわ ねんど 令和5年度</p>
<p>ちいきせいかつしえんきよてん せいび 地域生活支援拠点の整備 (福)</p>	<p>ぜんくじっし 全区実施 じっせき ぜんくじっし 実績 全区実施</p>	<p>ぜんくじっし 全区実施</p>	<p>ぜんくじっし 全区実施</p>
<p>ちいきせいかつしえんきよてん ゆう きのう じゅう ・地域生活支援拠点が有する機能の充 じつ む けんしょうおよ けんどう じっし 実に向けた検証及び検討の実施 かいすう (福) (新) 回数</p>	<p>かい 1回 じっせき かい 実績2回</p>	<p>かい 1回</p>	<p>かい 1回</p>
<p>せいしんしょうがい たいおう ちいきほうかつ 精神障害にも対応した地域包括ケア システム ほけん いりょうおよ ふくしかんけいしゃ きょうぎ ・保健、医療及び福祉関係者による協議 ば かいさいかいすう (福) (新) の場の開催回数</p>	<p>かい しいき 3回(市域) ていき くいき 定期(区域) じっせき 実績 かい しいき 2回(市域) ていき くいき 定期(区域)</p>	<p>かい しいき 3回(市域) ていき くいき 定期(区域)</p>	<p>かい しいき 3回(市域) ていき くいき 定期(区域)</p>
<p>ほけん いりょうおよ ふくしかんけいしゃ ・保健、医療及び福祉関係者による もくひょうせっていおよ ひょうか じっしかいすう 目標設定及び評価の実施回数 (福) (新)</p>	<p>かい 1回 じっせき かい 実績1回</p>	<p>かい 1回</p>	<p>かい 1回</p>
<p>はったつしょうがいしゃしえん およ はったつ 発達障害者支援センター及び発達 しょうがいしゃちいきしえん かんけい 障害者地域支援マネジャーの関係 きかん じょげんけんすう がくれいこうきしょうがいじ 機関への助言件数(学齢後期障害児 しえんじぎょうぶん のぞ 支援事業分を除く) (福)</p>	<p>けん 1,000件 じっせき けん 実績945件</p>	<p>けん 1,000件</p>	<p>けん 1,000件</p>

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
きょたくかいご ねん 居宅介護 (／年) 福	じかんぶん 127,601時間分 じっせき じかんぶん 実績135,648時間分	じかんぶん 129,642時間分	じかんぶん 131,716時間分
	にん 8,070人 じっせき にん 実績7,781人	にん 8,417人	にん 8,778人
じゅうどほうもんかいご ねん 重度訪問介護 (／年) 福	じかんぶん 89,044時間分 じっせき じかんぶん 実績110,593時間分	じかんぶん 99,640 時間分	じかんぶん 111,497 時間分
	にん 544人 じっせき にん 実績578人	にん 613人	にん 691人
どうこうえんご ねん 同行援護 (／年) 福	じかんぶん 16,360時間分 じっせき じかんぶん 実績14,030時間分	じかんぶん 17,112 時間分	じかんぶん 17,899 時間分
	にん 856人 じっせき にん 実績745人	にん 894人	にん 934人
こうどうえんご ねん 行動援護 (／年) 福	じかんぶん 13,544時間分 じっせき じかんぶん 実績10,932時間分	じかんぶん 15,792 時間分	じかんぶん 18,413 時間分
	にん 855人 じっせき にん 実績586人	にん 1,072人	にん 1,344人
たんきにゅうしょ ふくしがた づき 短期入所 (福祉型) (／月) 福	にんぶん 1,100人分 じっせき にんぶん 実績705人分	にんぶん 1,120人分	にんぶん 1,140人分
	にんにち 5,500人日 じっせき にんにち 実績4,404人日	にんにち 5,600人日	にんにち 5,700人日

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
たんきゆうしょ いりようがた 短期入所（医療型）（／月）福	にんぶん 400人分 じっせき にんぶん 実績341人分	にんぶん 410人分	にんぶん 420人分
	にんにち 2,000人日 じっせき にんにち 実績1,658人日	にんにち 2,050人日	にんにち 2,100人日
にちちゅういちじしえん 日中一時支援（／月）福	にんぶん 240人分 じっせき にんぶん 実績292人分	にんぶん 240人分	にんぶん 240人分
	かい 800回 じっせき かい 実績600回	かい 800回	かい 800回
にちじょうせいかつようぐきゆうふ たいよ 日常生活用具給付・貸与（／年）福	けん 86,000件 じっせき けん 実績93,905件	けん 86,000件	けん 86,000件
ちいきいこうしえん 地域移行支援（／年）福	にんぶん 120人分 じっせき にんぶん 実績69人分	にんぶん 132人分	にんぶん 144人分
ちいきていちゃくしえん 地域定着支援（／年）福	にんぶん 600人分 じっせき にんぶん 実績459人分	にんぶん 720人分	にんぶん 840人分
せいしんしょうがいしゃたいいん じぎょう 精神障害者退院サポート事業 （／年）	にん 180人 じっせき にん 実績180人	にん 180人	にん 180人

(2) 本人の力を引き出す支援の充実

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいしゃ 障害者 じりつせいかつ 自立生活 アシスタ ント あ	ちいき たんしんとう せいかつ 地域で单身等で生活す る障害者に対して、 じりつせいかつ 自立生活アシスタ ント が、その障害特性を踏 まえて、具体的な生活 ばめん しゃかいてきおうりよく 場面での社会適応力 を高める助言を中心 とした支援を行います。 くに じっしじぎょう 国の実施事業との かんけい せいり 関係を整理しながら すいしん 推進していきます。	じりつせいかつ 自立生活アシスタ ント じぎょう ふきゅうけいはつ と 事業の普及啓発に取り 組み、アシスタントの しえんりよく こうじょう はか 支援力の向上を図るた めの研修の実施やガイ ドラインの整備を行いま す。	じりつせいかつ 自立生活アシスタ ント じぎょう ふきゅうけいはつ と く 事業の普及啓発に取り組 み、アシスタントの しえんりよく こうじょう はか 支援力の向上を図るた め、スキルアップ等の けんしゅう じっし 研修を実施しました。 アシスタントの支援の じっせん かか 実践に関わるガイドライ ンの整備を行いまし た。	○	じりつせいかつ 自立生活アシスタ ント じぎょう ふきゅうけいはつ と く 事業の普及啓発に取り組 み、アシスタントの しえんりよく こうじょう はか 支援力の向上を図るた め、スキルアップ等の けんしゅう 研修やプロジェクトを じっし 実施します。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりにくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりにくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
こうけんてき 後見的 しえんせいど 支援制度 ㊦	しょうがいしゃほんにん かぞく 障害者本人や家族に よ そ ぼくぜん 寄り添い、漠然とした しょうらい ふあん なや 将来の不安や悩みを いっしょ かんが おや 一緒に考え、親なきあ あんしん く とも安心して暮らすこ とができる地域での みまも たいせい こうちく 見守り体制を構築しま す。	ほんせいど あんていてき 本制度が、より安定的 じぞくかのう かつ持続可能なものと なるよう、あり方 けんとうかいどう ぎょうむうんえい 検討会等にて業務運営 ほうしんとう けんとう の方針等を検討しま す。	ほんせいど あんていてき 本制度をより安定的かつ じぞくかのう 持続可能なものとしてい くためのあり方検討会を かいさい ぎょうむうんえい 開催し、「業務運営 ししん さくてい 指針」を策定しました。	○	れいわ ねんど さくてい 令和3年度に策定した ぎょうむうんえいししん もと 「業務運営指針」に基づ せいどうんえい すいしん く制度運営を推進しま す。特に、あんしんキー パーの開拓と地域づくり かん とりにくみ かかく に関する取組を各区 しえんしつ じっし 支援室で実施します。ま ちいき どう たい た地域ケアプラザ等に対 ぎょうむれんけいししん もち し、「業務連携指針」を用 い、せいどしゅし ちいき いて、制度趣旨や地域ケ アプラザ等と連携した とりにくみじれい 取組事例について、 しゅうち きょうゆう はか 周知・共有を図ります。	すいしん 推進	すいしん 推進
しょうひしゃ 消費者 きょういくじぎょう 教育事業 ㊦	しょうがいしゃ かぞくおよ 障害者、家族及び しえんしゃ しょうひん 支援者が、商品・サ りようおよ けいやく ービスの利用及び契約 かか とう に関わるトラブル等を まな あんしん 学ぶことにより、安心 した日常生活を送れ るよう、いしきけいはつ はか 意識啓発を図 ります。	いしきけいはつ ほうほう 意識啓発の方法につい て、じぞくかのう より持続可能な ほうほう ちょうない けんとう 方法を庁内で検討しま す。	じぎょう けいぞくせい がっこうがわ 事業の継続性や学校側の ふたん ふ けいぞく 負担も踏まえ、継続でき る形での意識啓発の ほうほう かんけいか けんとう 方法を関係課で検討しま した。	○	けいはつぶつ さくせい はいふ 啓発物の作成や配布など ふく ひ つづ じぞく も含め、引き続き持続 かのう ほうほう ちょうない けんとう 可能な方法を庁内で検討 します。	すいしん 推進	すいしん 推進

<small>しひょうめい</small> 指標名	<small>れいわ ねんど</small> 令和3年度	<small>れいわ ねんど</small> 令和4年度	<small>れいわ ねんど</small> 令和5年度
<small>じりつせいかつえんじょ</small> 自立生活援助 (福)	<small>にんぶん</small> 80人分 <small>じっせき にんぶん</small> 実績70人分	<small>にんぶん</small> 100人分	<small>にんぶん</small> 120人分
<small>じりつせいかつ</small> 自立生活アシスタント (あ)	<small>にんぶん</small> 690人分 <small>じっせき にんぶん</small> 実績766人分	<small>にんぶん</small> 690人分	<small>にんぶん</small> 690人分

1-3 移動支援

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	令和3年度取組予定 <small>れいわ ねんどとりくみよてい</small>	令和3年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small>	令和3年度 評価 <small>れいわ ねんど 3年度 ひょうか</small>	令和4年度 取組予定 <small>れいわ ねんど とりくみよてい</small>	中間期 目標 <small>ちゅうかんき もくひょう</small>	目標 <small>もくひょう</small>
移動情報センター運営等事業の推進 <small>いどうじょうほう せんたー うんえいとう じぎょう すいしん</small> ㊦	移動支援に関する情報を集約し、一人ひとりにあった適切な情報を提供することや、移動支援を支える人材の発掘・育成を行う移動情報センターを全区に設置し、市内のどの地域でも移動支援の仕組みを効果的に利用できるようにします。	移動情報センターの周知をさらに進めるとともに、18区のネットワーク力の強化により、職員の相談対応力・コーディネート能力の向上を図ります。また、ガイドボランティアなど地域の移動支援の担い手の発掘・育成に取り組めます。	地域の関係機関への働きかけ等により、移動情報センターの周知や担い手の発掘を進めました。また、センターの運営において、アプリケーションの導入により18区の情報共有の推進を図り相談事業の充実に努めました。  あー ねんど そうだん けんすう R 3年度相談件数： 2,223件	△	移動情報センターの周知をさらに進め、職員の相談対応力・コーディネート能力の向上を図るために、障害者支援センターを中心に18区の活動支援を進めます。	相談件数 3,300件	相談件数 3,600件



じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりにくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりにくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
さいけい 【再掲】 ガイドヘルパー等 研修 受講料助成㊦	ガイドヘルパー等の資格取得のための研修受講料の一部を助成し、人材確保を図ります。	令和3年度から、災害や感染症拡大による影響により申請が困難だった人について、条件つきで助成申請期間の延長を可能としています。その周知を今後も図ることので、助成人数の増加と人材確保を推進していきます。	5月、7月、11月に各区役所、各区社会福祉協議会、地域子育て支援拠点など（全103か所）にチラシを配布して事業の周知を行いました。  助成人数：123人 総助成額：2,421,000円	○	引き続き受講料助成事業の周知を今後も図ることで、助成人数の増加と人材確保を推進していきます。	すいしん 推進	すいしん 推進
さいけい 【再掲】ガイドヘルパースキルアップ 研修 ㊦	より質の高いサービスが提供できるよう、移動支援事業の従業者を対象に研修を実施します。	サービス提供責任者及び従業者の質を更に高めるため、研修テーマを選定し、受講者の増加を目指します。	令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から集合研修は中止となりました。	○	令和2年度から新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止をしていた集合形式での研修を再開し、サービス提供責任者及び従業者のスキルアップを図っていきます。	すいしん 推進	すいしん 推進

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	令和3年度取組予定 <small>れいわ ねんどとりくみよてい</small>	令和3年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small>	令和3年度 評価 <small>れいわ ねんど 3年度 ひょうか</small>	令和4年度 取組予定 <small>れいわ ねんど 4年度 とりくみよてい</small>	中間期 目標 <small>ちゅうかんき もくひょう</small>	目標 <small>もくひょう</small>
難病患者 外出支援 サービス 事業 <small>なんびょう かんじゃ がいしゅつ しえん じぎょう</small>	一般の交通機関を利用して外出に困難を伴う、車いす等を利用する難病患者に福祉車両による送迎サービスを提供します。 <small>いっばん こうつうきかん りよう がいしゅつ こんなん ともな くるま どう りよう さんびょうかんじゃ ふくし しゃりよう による そうげい 車両による送迎サービスを提供します。</small>	横浜市社会福祉協議会と委託契約を継続し、移動支援が必要な人に送迎サービスを提供します。 <small>よこはまししゃかいふくしきょうぎかい いたくけいやく けいぞく いどう しえん ひつよう ひと そうげい ていきょう ービスを提供します。</small>	横浜市社会福祉協議会と委託契約を継続し、移動支援が必要な人に送迎サービスを提供しました。新型コロナウイルス感染症の影響等により利用実績は延38回にと留まりました。 <small>よこはまししゃかいふくしきょうぎかい いたくけいやく けいぞく いどう しえん ひつよう ひと そうげい ていきょう 送迎サービスを提供 しました。新型コロナウイルス かんせんしょう えいきょうどう 感染症の影響等によ り利用実績は延38回に と 留まりました。</small>	△	一般の交通機関を利用して外出に困難を伴う、車いす等を利用する難病患者に福祉車両による送迎サービスを提供します。 <small>いっばん こうつうきかん りよう がいしゅつ こんなん ともな くるま どう りよう さんびょうかんじゃ ふくし しゃりよう による そうげい 車両による送迎サービスを提供します。</small>	推進 <small>すいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>
在宅 重症 患者 外出 支援事業 <small>ざいたく かんじゃ じゆうしょう じゆうしょう かんじゃ がいしゅつ しえん じぎょう</small>	車いすによる移動が困難でストレッチャー対応車を使用せざるを得ない難病患者が、通院等の際、所定の患者等搬送用自動車を利用した場合に、その移送費の一部を助成します。 <small>くるま いどう 車いすによる移動が こんなん でストレッチャー たいおうしゃ しょう を えない さんびょうかんじゃ が、 通院等の際、所定の 患者等搬送用自動車 を 利用した場合に、その 移送費の一部を助成 します。</small>	通院等に民間救急事業者を利用する在宅重症患者に対し、移送費の一部を助成します。また、実態とニーズの把握を行い、18区への周知を徹底します。 <small>つういんどう 民間かんきゅうきゅうじ 通院等に民間救急事 業者を利用する在宅 じゆうしょうかんじゃ たい 重症患者に対し、 移送費の一部を助成し ます。また、実態とニ ーズの把握を行い、18 区への 周知を徹底します。</small>	通院等に民間救急事業者を利用する在宅重症患者に対し、移送費の一部を助成しました。また、必要な人に情報提供できるよう、相談窓口である18区と情報を共有しています。 <small>つういんどう 民間かんきゅうきゅうじ 通院等に民間救急事 業者を利用する在宅 じゆうしょうかんじゃ たい 重症患者に対し、 移送費の一部を助成し ました。また、必要 な 人に情報提供でき る よう、相談窓口である 18区と情報を共有し ています。</small>	○	通院等に民間救急事業者を利用する在宅重症患者に対し、移送費の一部を助成します。また、実態とニーズの把握を行い、必要な人に情報提供できるよう引き続き18区と連携していきま <small>つういんどう 民間かんきゅうきゅうじ 通院等に民間救急事 業者を利用する在宅 じゆうしょうかんじゃ たい 重症患者に対し、 移送費の一部を助成し ます。また、実態とニ ーズの把握を行い、 必要な人に情報提供 できるよう引き続き18 区と連携していきま す。</small>	推進 <small>すいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
ふくしゆうしょう 福祉有償 いどう 移動サー ビス事業	いどう かいじょ ひつよう 移動に介助が必要な しんたいしょうがいしゃどう たいしょう 身体障害者等を対象 に、登録されたNPO ほうじんどう じかよう 法人等による、自家用 じどうしゃ りよう いどう 自動車を利用した移動 サービスを促進します。	ふくしゆうしょうんそう おこな 福祉有償運送を行う えぬびーおーほうじんどう とうろくどう NPO法人等の登録等 や、福祉有償運送の てきせい じっしどう 適正な実施等について きょうぎ ふくしゆうしょういどう 協議する福祉有償移動 サービス運営協議会を かいさい 開催します。また、福祉 ゆうしょうんそう じっし 有償運送を実施してい る団体へ訪問し、活動が てきせい じっし 適正に実施されているか ちょうさ おこな 調査を行います。	ふくしゆうしょういどう 福祉有償移動サービ うんえいきょうぎかい かいさい ス運営協議会を開催 しました(3回)。 とうろくだんたい ほうもん 登録団体への訪問を じっし ふくし 実施しました。福祉 ゆうしょうんそう 有償運送のホームペ ージにおいて情報 ていきょう おこな 提供を行いました。	○	ふくしゆうしょうんそう おこな 福祉有償運送を行う えぬびーおーほうじんどう とうろくどう NPO法人等の登録等 や、福祉有償運送の てきせい じっしどう 適正な実施等について きょうぎ ふくしゆうしょう 協議する福祉有償 いどう サービス運営協 ぎかい かいさい 議会を開催します。ま た、福祉有償運送を じっし だんたい 実施している団体へ ほうもん かつどう てきせい 訪問し、活動が適正に じっし ちょうさ 実施されているか調査 を行います。	すいしん 推進	すいしん 推進
じゅうど 重度 しょうがいしゃどう 障害者等 への移動 しえんじぎょう 支援事業 かくじゅう の拡充 ⑧	こうきょうこうつうきかん 公共交通機関での がいしゅつ こんなん じゅうど 外出が困難な重度 しょうがいしゃどう たい 障害者等に対して、 いどうしえんじぎょう かくじゅう 移動支援事業の拡充を はか 図ります。	じゅうど しょうがい ひと 重度の障害がある人に たい いどう せんたくし 対して、移動の選択肢を ひろ じゅうど 広げるため、「重度 しょうがいしゃふくし 障害者福祉タクシー りょうけん たいしょうかくだい 利用券の対象拡大」と しょうがいしゃじどうしゃねんりょうけん 「障害者自動車燃料券 しんせつ とく の新設」に取り組みま す。	がつ じゅうどしょうがいしゃ 10月から重度障害者 ふくし りょうけん 福祉タクシー利用券の たいしょうしゃ かくだい 対象者を拡大すると ともに、障害者 じどうしゃねんりょうけんせいで 自動車燃料券制度を しんせつ 新設しました。	○	じゅうどしょうがいしゃ 重度障害者タクシー りょうきんじょせいじぎょう 料金助成事業と しょうがいしゃじどうしゃねんりょうひ 障害者自動車燃料費 じょせいじぎょう ひ つづ 助成事業を引き続き すいしん 推進していきます。	すいしん 推進	すいしん 推進

<small>しひょうめい</small> 指標名	<small>れいわ ねんど</small> 令和3年度	<small>れいわ ねんど</small> 令和4年度	<small>れいわ ねんど</small> 令和5年度
<small>いどうしえんじぎょう</small> 移動支援事業 <small>いどうかいご つうがくつうしょしえん</small> (移動介護・通学通所支援) 福	<small>じかんぶん</small> 781,554時間分 <small>じっせき</small> <small>じかんぶん</small> 実績580,689時間分	<small>じかんぶん</small> 797,185時間分	<small>じかんぶん</small> 813,128時間分
	<small>にんぶん</small> 6,479人分 <small>じっせき</small> <small>にんぶん</small> 実績5,187人分	<small>にんぶん</small> 6,673人分	<small>にんぶん</small> 6,873人分

1-4 まちづくり

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	令和3年度取組予定 <small>れいわ ねんどとりくみよてい</small>	令和3年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small>	令和3年度 評価 <small>れいわ ねんど 3年度 ひょうか</small>	令和4年度 取組予定 <small>れいわ ねんど 4年度 とりくみよてい</small>	中間期 目標 <small>ちゅうかんき もくひょう</small>	目標 <small>もくひょう</small>
福祉のまちづくり推進事業 <small>ふくし じぎょう</small>	「横浜に関わる全ての人がお互いを尊重し、助け合う、人の優しさにあふれたまちづくり」を実現するため、ハードとソフト（環境整備や福祉教育など）を一体的に取り組み、福祉のまちづくりを推進します。 <small>よこはま かんが すべての人 たが さんちよう たす あ ひと やさ じつげん かんきようせいび ふくしきやういく いったいてき とく</small>	子ども向けリーフレットの配布や、職員等を対象とした研修の開催などにより、福祉のまちづくりを推進します。 福祉のまちづくり条例に基づく事前協議や設計相談等に適切に対応します。 <small>こむ 子ども向けリーフレット はいふ しょくいんとう たいしやう けんしやう かいさい たいしやう けんしやう かいさい ふくし たいしやう けんしやう かいさい たいしやう けんしやう かいさい</small>	職員等を対象とした研修の開催などにより、福祉のまちづくりを推進しました。 福祉のまちづくり条例に基づく事前協議や設計相談等に適切に対応しました。 <small>しょくいんとう たいしやう けんしやう かいさい けんしやう かいさい ふくし たいしやう けんしやう かいさい たいしやう けんしやう かいさい</small>	○	子ども向けリーフレットの改訂や、職員等を対象とした研修の開催などにより、福祉のまちづくりを推進します。 福祉のまちづくり条例に基づく事前協議や設計相談等に適切に対応します。 <small>こむ 子ども向けリーフレット かいいてい しょくいん けんしやう かいさい たいしやう けんしやう かいさい たいしやう けんしやう かいさい たいしやう けんしやう かいさい</small>	推進 <small>すいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>

<p>公共交通 機関のバリ アフリー化</p>	<p>誰もが移動しやすい環境整備の一環として、鉄道駅舎へのエレベーター等の設置及びノンステップバスの導入促進を図ります。</p>	<p>市内の駅には、バリアフリーが未整備の駅があるため、鉄道駅舎へのエレベーターなどの設置について、引き続き補助を行っていきます。</p> <p>ノンステップバスの導入については、事業者間で導入率に差があることから、導入率の低い事業者に対し重点的に補助を行うなど効率的な取組を図るとともに、市民の要望等と併せて、導入の検討について働きかけていきます。</p>	<p>市内の駅には、バリアフリーが未整備の駅があるため、鉄道駅舎へのエレベーターなどの設置の検討について、働きかけました。</p> <p>特に具体的な設置の計画をしている事業者からは、検討の進捗について情報提供をいただくなど、連絡を密にしました。</p> <p>ノンステップバスの導入については、事業者間で導入率に差があることから、導入率の低い事業者に対し重点的に補助を行うなど効率的な取組を図るとともに、市民の要望等を事業者と共有するなどして、導入の検討について働きかけまし</p>	<p>○</p>	<p>市内の駅には、バリアフリーが未整備の駅があるため、鉄道駅舎へのエレベーターなどの設置について、引き続き補助を行っていきます。</p> <p>ノンステップバスの導入については、事業者間で導入率に差があることから、導入率の低い事業者に対し重点的に補助を行うなど効率的な取組を図るとともに、市民の要望等を事業者と共有するなどして、導入の検討について働きかけていきます。</p>	<p>推進</p>
---------------------------------	--	---	--	----------	--	-----------

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
			<p>た。また各事業者に おける今後のノンステ ップバス導入計画に ついて把握に努めました。</p>				
バリアフリーの推進 ・バリアフリー基本構想の検討・作成	<p>バリアフリー法に基づき、 駅周辺の重点的かつ 一体的なバリアフリー整備 を推進するため、区ごとに バリアフリー基本構想を 作成します。 ・策定済み地区の見直し や、未策定地区の新規作成 等</p>	<p>引き続き、磯子区、 中区、羽沢横浜国大駅、 踊場駅周辺地区のバ リアフリー基本構想の作成 を進めます。 また、今年度から 港北区と緑区でバ リアフリー基本構想の作成に 着手します。</p>	<p>磯子区、中区、羽沢 横浜国大駅、踊場駅 周辺地区のバリアフ リー基本構想の作成を 進めました。 また、今年度から 港北区と緑区でバ リアフリー基本構想の 作成に着手しまし た。</p>	○	<p>磯子区、中区、羽沢 横浜国大駅周辺 地区、踊場駅周辺 地区でバリアフリー 基本構想を策定しま す。 また港北区、緑区 のバリアフリー基本 構想の作成に向けた 検討を引き続き進め ます。</p>	推進	推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
・バリアフ リー歩行 空間の整備	えきしゅうへん か 駅周辺のバリアフリー化 すいしん を推進するため、バリアフ リー基本構想に基づき、 きほんこうそう もと 道路のバリアフリー化を、 どうろ か 引き続き、進めます。	きほんこうそう バリアフリー基本構想に もと とおかいちばえき 基づき、十日市場駅 しゅうへんちくどう どうろ 周辺地区等の道路のバ リアフリー化整備を進め ます。	きほんこうそう バリアフリー基本構想 もと とおかいちばえき に基づき、十日市場駅 しゅうへんちくどう 周辺地区等のバリア フリー整備を進めまし た。	○	きほん バリアフリー基本 こうそう もと 構想に基づき とおかいちばえきしゅうへんちく 十日市場駅周辺地区 どう 等のバリアフリー せいび すす 整備を進めていきま す。 また、いそごく 磯子区、 なかく はざわよこはまこく 中区、羽沢横浜国 だいえきしゅうへんちく おどりば 大駅周辺地区、踊場 えきしゅうへんちく どうろ 駅周辺地区の道路 とくていじぎょうけいかく さくせい 特定事業計画の作成 すす を進めていきます。	すいしん 推進	すいしん 推進



じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
よこはまし 横浜市 こうきょう 公共サイ ンガイドラ インの運用 すいしん 推進	こうてききかん せっち 公的機関により設置される ほ こうしゃようあんない ゆうどう 歩行者用案内・誘導サイン きかく ひょうじないようとう どういつ の規格や表示内容等の統一 をはか ひつよう おう を図るためのガイドライン の運用を推進します。 また、こうきょう けいさい 公共サインの掲載 きじゅんとう ひつよう おう 基準等について必要に応じて みなお けんとう ほ 見直しを検討し、より歩 こうしゃ わ 行者に分かりやすいサイン せいび すず 整備を進めていきます。	うんよう ガイドラインの運用を すいしん 推進するとともに、 こうきょう けいさいきじゅん 公共サインの掲載基準 とう ひつよう おう 等について必要に応じて みなお けんとう ほ 見直しを検討し、より歩 こうしゃ 行者にわかりやすいサイ ン整備を進めていきま す。	うんよう ガイドラインの運用を てきせつ おこな 適切に行いました。	△	うんよう ガイドラインの運用 すいしん ほ を推進し、より歩 こうしゃ 行者にわかりやすい サイン整備を進めて いきます。	すいしん 推進	すいしん 推進
エレベータ せっちじぎょう 一設置事業	せいび エレベーターの整備など、 がっこうしせつ 学校施設のバリアフリー化 すす しょうがいじ まな を進め、障害児が学びやす かんきょう せいび い環境を整備します。	くるまいすりようとう じどう 車椅子利用等の児童・ せいと がっこう 生徒がいる学校へのエレ ベーターの整備や段差 かいしょう がっこうしせつ 解消など、学校施設の バリアフリー化を進め、 しょうがい じどう せいと 障害のある児童・生徒 まな かんきょう が学びやすい環境を せいび 整備します。	くるまいすりようとう じどう 車椅子利用等の児童・ せいと ざいせきまた にゅうがく 生徒が在籍又は入学 よてい がっこう 予定の学校に、エレベ ーターやスロープを せっち 設置しました。 (れいわ ねんど 令和3年度エレベ ーター設置校数：11校)	○	くるまいすりようとう 車椅子利用等の じどう せいと にゅうがく 児童・生徒が入学 よていまた ざいせき 予定又は在籍する がっこう 学校へのエレベータ ーの整備や段差解消 など、がっこうしせつ 学校施設のバ リアフリー化を進 め、しょうがい 障害のある じどう せいと まな 児童・生徒が学びや かんきょう せいび すい環境を整備しま す。	すいしん 推進	すいしん 推進

2-1 健康・医療

(1) 障害者の健康づくりの推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいしゃ 障害者へ のスポー ツを通じ た健康・ 体力作り 支援	しょうがいとくせい りかい 障害特性を理解した しょうがいしゃ ぶんか 障害者スポーツ文化セ ンターのスタッフ等 が、障害者が体力づ くりや余暇活動を身近 な場所で行えるよう、 ちいき じんざいいくせい ふく 地域の人材育成も含め た環境整備を進めま す。	ちいき さまざま だんたいとう 地域の様々な団体等へ しょうがいりかい しょうがいしゃ 障害理解や障害者スポ ーツの普及啓発のための けんしゅうとう じっし 研修等を実施し、障害 のある人が身近な場所で スポーツに取り組める かんきょうづく すす 環境作りを進めます。	ちいき さまざま だんたいとう 地域の様々な団体等へ しょうがいりかい しょうがいしゃ 障害理解や障害者スポ ーツの普及啓発のため、 よこはまし きょうかい 横浜市スポーツ協会と の連携を深め、障害の ある人が身近な場所でス ポーツに取り組める かんきょうづく おこな 環境作りを行いました。	○	ちいき さまざま だんたい 地域の様々な団体 とう しょうがいりかい 等へ障害理解や しょうがいしゃ 障害者スポーツの 普及啓発のための けんしゅうとう じっし 研修等を実施し、 しょうがい ひと 障害のある人が みちか ばしよ 身近な場所でスポ ーツにとり組める かんきょうづく すす 環境作りを進めま す。	すいしん 推進	すいしん 推進

<p>さいけい 【再掲】 しょうがいふくし 障害福祉 しせつしょくいん 施設職員 どう 等への しえん 支援 <b>新</b></p>	<p>しょうがいしゃ きゅーおーえる 障害者のQOLの こうじょう めざ 向上を目指して、 しょうがいとくせい 障害特性やライフステ ージに<small>おう</small>じた<small>しょうがい</small>障害の じゅうどか かんわ せいかつ 重度化の緩和、生活 しゅうかんびょう よぼうどう 習慣病の予防等の ふきゅうけいはつ ほか 普及啓発を図るため、 しょうがいふくしせつ 障害福祉施設における えいせいかんり えいようかんり 衛生管理、栄養管理に かん けんしゅう れんらくかいどう 関する研修、連絡会等 じっし を実施します。</p>	<p>しょうがいふくしせつ しょくいん 障害福祉施設の職員を たいしょう えいせいかんり 対象とした衛生管理、 えいようかんり かんれん 栄養管理に関連する けんしゅう れんらくかいどう じっし 研修、連絡会等を実施 します。</p>	<p>しょうがいふくしせつ しょくいん 障害福祉施設の職員を たいしょう しょくひんえいせい 対象とした食品衛生 こうしゅうかい いー 講習会（eラーニン グ）や摂食嚥下研修 どうがはいしん じっし （動画配信）を実施しま した。</p>	<p>○</p>	<p>しょうがいふくしせつ 障害福祉施設の しょくいん たいしょう 職員を対象とし えいせいかんり えいよう た衛生管理、栄養 かんり かんれん 管理に関連する けんしゅう れんらくかいどう 研修、連絡会等を じっし 実施します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
---	--	---	---	----------	---	--------------------	--------------------

(2) 医療環境の充実

事業名	事業内容	令和3年度取組予定	令和3年度実績	令和3年度 評価	令和4年度 取組予定	中間期 目標	목표
<p>難病患者 一時入院 事業</p>	<p>医療依存度の高い難病患者が介助者の事情により、在宅で介助を受けることが困難になった場合、一時的に入院できるようにします。</p>	<p>7病院と委託契約をし、5病床の確保を継続します。また、実態とニーズの把握を行い、引き続き必要な人にサービスを提供できるように18区への周知を徹底します。</p>	<p>実態とニーズに合わせて、入院可能期間を見直し、新たな協力病院の確保に取り組みました。また、相談窓口である18区と情報を共有しています。</p>	○	<p>8病院と委託契約をし、病床確保を継続します。また、実態とニーズの把握を行い、必要な人に情報提供できるように引き続き18区と連携していきます。</p>	すいしん 推進	すいしん 推進
<p>歯科保健 医療推進 事業 (心身 障害児・ 者歯科 診療)</p>	<p>通常の歯科診療では対応が困難な心身障害児・者に対する歯科治療の確保を引き続き図ります。</p>	<p>歯科保健医療センターへの補助を行い、障害児・者の歯科医療の確保のための支援を行います。</p>	<p>歯科保健医療センターへの補助により、障害児・者の歯科医療の確保のための支援を行い、障害児・者の歯科診療件数は令和2年度と比較して約2,000件増加しました。</p>	○	<p>歯科保健医療センターへの補助及び障害児・者歯科診療協力医療機関への研修の補助を行い、障害児・者歯科診療の支援を行います。</p>	すいしん 推進	すいしん 推進

<p>さいけい 【再掲】 メディカ ルショー トステイ じぎょう 事業 (あ)</p>	<p>いりょうてき ひつよう 医療的ケアが必要な じゅうしょうしんしんしょうがいじ しゃ 重症心身障害児・者 とう ざいたく かいご 等を在宅で介護する かぞく ふたんけいげん ざいたく 家族の負担軽減と在宅 せいかつ あんてい もくてき 生活の安定を目的とし て、いちじてき ざいたくせいかつ で、一時的に在宅生活 がこんなん ばあい が困難となった場合な どに、びょういん う い どに、病院での受け入 れをじっし れを実施します。</p>	<p>ひ つづ じぎょう じっし 引き続き事業を実施して いくとともに、きょうりょく 協力 いりょうきかん えんかつ じぎょう 医療機関との円滑な事業 うんえい はか 運営を図ります。</p>	<p>りようしゃむ せいどあんない 利用者向けの制度案内チ ラシはいふ ラシを配布し、さらなる じぎょう しゅうち はか せいど 事業の周知を図り、制度 を必要とする方の登録を ひつよう ほう どうろく を必要とする方の登録を そくしん 促進しました。 きょうりょくいりょうきかん いりょう 協力医療機関の医療ス タッフ向けの研修は む けんしゅう タッフ向けの研修は しんがた 新型コロナウイルス かんせんしょう えいきょう ちゅうし 感染症の影響で中止し ましたが、きょうりょくいりょう 協力医療 きかん いし かんごしおよ 機関の医師、看護師及び いりょう 医療ソーシャルワーカー とのかいぎ れいわ ねん がつ との会議を令和3年7月 にじっし りようしゃ うけいれ に実施し、利用者の受入 に関するじょうほうきょうゆう 情報共有や いけんこうかん おこな 意見交換を行いました。 た。 た きょうりょくいりょうきかん その他、協力医療機関 へのほうもん でんわ への訪問や電話・メール など ずいじれんらくちょうせい おこな 等で随時連絡調整を行 い、しんがた い、新型コロナウイルス かんせんしょう のうこうせつしよくしゃ 感染症の濃厚接触者の うけいれ じんそく たいおう 受入にも迅速に対応しま した。</p>	<p>○</p>	<p>ひ つづ じぎょう じっし 引き続き事業を実施し ていくとともに、 きょうりょくいりょうきかん 協力医療機関との えんかつ じぎょううんえい はか 円滑な事業運営を図り ます。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
---	--	--	---	----------	---	--------------------	--------------------

事業名	事業内容	令和3年度取組予定	令和3年度実績	令和3年度 ひょうか 評価	令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
なんびょうかんじゃ 難病患者 ざいたくりょうよう 在宅療養 けいかく 計画 さくてい 策定・ ひょうかじぎょう 評価事業	ざいたくなんびょうかんじゃ たい 在宅難病患者に対し、 ほけん いりょう ふくし かく 保健・医療・福祉の各 サービスを提供 するのために、関係者が ごうどう ないよう 合同でサービス内容を けんとう 検討します。	ざいたくなんびょうかんじゃ あんてい 在宅難病患者が安定し りょうようせいかつ おく た療養生活を送ること を目的としたこの事業の 活用を、18区に周知を 徹底します。	ざいたくなんびょうかんじゃ あんてい 在宅難病患者が安定し りょうようせいかつ おく た療養生活を送ること を目的としたこの事業の 活用を検討しましたが、 新型コロナウイルス 感染症の影響を受け 実施できませんでした。	△	ざいたくなんびょうかんじゃ あんてい 在宅難病患者が安定し りょうようせいかつ おく た療養生活を送ること を目的としたこの事業 を活用し、在宅生活を 支える関係者と在宅 療養計画の策定・評価 に取り組みます。	すいしん 推進	すいしん 推進
いりょうきかん 医療機関 れんけいじぎょう 連携事業  あ	しょうがいじ しゃ みぢか 障害児・者が身近な ちいき てきせつ いりょう う 地域で適切な医療が受 けられる環境づくりを 推進するため、障害 特性等を理解し適切な 医療を提供できる医療 機関を増やします。	ちてきしょうがいしゃせんもんがいらい 知的障害者専門外来 せっちりょうきかん びょういん 設置医療機関を5病院 で実施します。 <設置医療機関> ・横浜相原病院 ・紫雲会横浜病院 ・港北病院 ・横浜カメラリアホスピタ ル ・鶴見西井病院 また、市内一般精神科 病院の指定病院12か所 の半数となる6病院まで の設置を目指します。	ちてきしょうがいしゃせんもんがいらい 知的障害者専門外来 せっちりょうきかん びょういん 設置医療機関を5病院 で実施しました。 <病院数/受診患者数> 令和3年度：5病院 /221人	○	ひ つづ ちてきしょうがいしゃ 引き続き、知的障害者 せんもんがいらいせっちりょうきかん 専門外来設置医療機関 を5病院で実施すると ともに、6病院目の 設置を目指します。 また、市内医療機関に 知的障害者の受診対応 状況のアンケート 実施し、今後の方向性 等を検討します。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
じゅうどしんけい 重度神経 なんびょうかんじゃ 難病患者 ざいたくしえん 在宅支援 システム こうちく の構築	はつびょう すうねん きゅうそく 発病から数年で急速 しんこう しんけいなんびょう に進行する神経難病 かんじゃ たい ざいたくしえん 患者に対する在宅支援 せんもんいりりょう システムを、専門医療 きかん ざいたく 機関・在宅リハビリテ ーション等の保健・ いりりょうかんけいしゃ しょうがいふくし 医療関係者と障害福祉 サービス事業等との れんけい こうちく 連携により、構築しま す。 えーえるえすかんじゃ くわ ・ALS患者に加え、 きん しょう 筋ジストロフィー症 かんじゃ 患者のライフステー あ せいかつしやうがい に合わせた生活障 しえん もくてき ざいたく 支援を目的に、在宅リ ハビリテーションを かつよう なが こうちく 活用する流れを構築し ます。	ひ つづ ざいたく 引き続き、在宅リハビリ テーション事業の活用 すいしん しんけい しん 推進のため、市内11か所 いりりょうきかん しんだんきかん の医療機関（診断機関） くふくしほけん や区福祉保健センターへ ざいたく 在宅リハビリテーション じぎょう しゅうち おこな 事業の周知を行いま す。きん 筋ジストロフィー しょうかんじゃ たい 症患者に対しては、 ざいたく 在宅リハビリテーション じぎょう 事業のフォローアップ きのう かつよう そくしん 機能の活用を促進しま す。	しんけい しんけい いりりょうきかん 市内11か所の医療機関 しんだんきかん くふくし （診断機関）や区福祉 ほけん ざいたく 保健センターへ在宅リハ ビリテーション事業の しゅうち おこな 周知を行うとともに、 しえんしゃ れんらくかいぎ さんか 支援者の連絡会議に参加 するなど在宅リハビリテ ーション事業の活用を ぞうしん きん 増進しました。筋ジスト ロフィー症患者に対し ては、フォローアップ きのう てきじてきせつ 機能により適時適切なサ ービスを提供しまし た。	○	ひ つづ ざいたく 引き続き、在宅リハビ リテーション事業の かつようすいしん しんけい 活用推進のため、市内 11か所の医療機関 しんだんきかん くふくし （診断機関）や区福祉 ほけん ざいたく 保健センターへ在宅リ ハビリテーション事業 の周知を行います。きん 筋ジストロフィー症患者 たい ざいたく に対しては、在宅リハ ビリテーション事業の フォローアップ機能の かつよう そくしん 活用を促進します。	こうちく 構築	こうちく 構築

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
ざいたく 在宅 りょうようじ 療養児の ちいきせいかつ 地域生活 を支える ネットワ ーク れんらくかい 連絡会	しょうがいじ しゃ いりよう 障害児・者の医療 にゅういん ざいたく かか (入院・在宅)に関わ りりょうかんけいしゃ ちゅうしん る医療関係者を中心 に、ふくし きょういくかんけいしゃ に、福祉・教育関係者 をたいしょう ざいたく を対象として、在宅 しえん ひつよう じょうほうこうかん 支援に必要な情報交換 じんてきこうりゆう つう や人的交流を通じて、 しょうがいりかい そくしん 障害理解を促進しま す。	ひ つづ じぎょう じっし 引き続き事業を実施し、 しょうがいじ しゃ ざいたくしえん 障害児・者の在宅支援に ひつよう じょうほうこうかんどう つう 必要な情報交換等を通 じて、しょうがいりかい そくしん 障害理解を促進 していきます。	いりようてき じしえんほう 「医療的ケア児支援法 せいりつ ぶたいうら 成立の舞台裏」をテーマ にしたうえぶこうえんかい れいわ WEB講演会を令和 ねん がつ かいさい 3年11月に開催しました しちょうしゃすう にん (視聴者数281人)。	○	ひ つづ じぎょう じっし 引き続き事業を実施 し、しょうがいじ しゃ ざいたく しえん ひつよう じょうほうこうかん 支援に必要な情報交換 どう つう 等を通じて、しょうがいりかい そくしん を促進していきます。	すいしん 推進	すいしん 推進
じゅうしょう 重症 しんしん 心身 しょうがいじ 障害児・ しゃ ざいたく 者の在宅 せいかつ ささ 生活を支 えるため のしえん 支援 たいせい 体制の じゅうじつ 充実	じゅうしょうしんしんしょうがいじ しゃ 重症心身障害児・者 のざいたくせいかつ ささ の在宅生活を支えるた めいりようたいせい めの医療体制をはじめ とけんどう おこな とする検討を行い、 しえんたいせい じゅうじつ はか 支援体制の充実を図り ます。	じゅうしょうしんしんしょうがいじ しゃ 重症心身障害児・者の ざいたくせいかつ ささ 在宅生活を支えるため、 かんけいきよく れんけい 関係局と連携して、 かだいせいり おこな 課題整理を行います。	ほうもんかんごしどう たいしょう 訪問看護師等を対象と したけんしゅう じっし しえん した研修を実施し支援 たいせい じゅうじつ と く 体制の充実に取り組む とともに、じゅうしょうしんしん 重症心身 しょうがいじ しゃ げんじょう 障害児・者の現状の はあく つと 把握に努めました。	○	ひ つづ じゅうしょうしんしん 引き続き重症心身 しょうがいじ しゃ ざいたくせいかつ 障害児・者の在宅生活 を支えるため、けんしゅうどう をささ を通じて、けんしゅうどう つう しえんたいせい 支援体制の じゅうじつ はか 充実を図ります。	けんどう 検討	すいしん 推進



事業名	事業内容	令和3年度取組予定	令和3年度実績	令和3年度 評価	令和4年度 取組予定	中間期 目標	もくひょう 目標
重度 障害者等 入院時コ ミュニケ ーション 支援 事業 (あ)	入院先医療機関の 医師・看護師等との 意思疎通が十分に図れ ない障害児・者を対象 に、入院先にコミュニ ケーション支援員を 派遣します。	入院先医療機関の 医師・看護師等との意思 疎通が図れるよう、引き 続きコミュニケーション 支援員を派遣します。	入院先医療機関の 医師・看護師等との意思 疎通が図れるよう、コミ ュニケーション支援員を 派遣しました。	△	入院先医療機関の 医師・看護師等との 意思疎通が図れるよ う、引き続きコミュニ ケーション支援員を 派遣します。	すいしん 推進	すいしん 推進
健康ノー ト	障害児・者が自分の住 む地域の医療機関で受 診する際に活用できる 「健康ノート」につい て、入手しやすくなる よう検討し、より活用 できるようにします。	ホームページに掲載し、 周知します。また、活用 状況を確認しながら、 普及につながる入手 方法を検討します。	市ホームページにデータ を掲載し、誰でも活用 できるようにしました。 また、関係団体等への 周知を行いました。	○	活用状況を確認しな がら、普及につながる 方法を引き続き検討し ます。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
さいけい 【再掲】 いりよう 医療 じゅうじしゃ 従事者 けんしゅう 研修事業 ㊦	しっぺい しょうがい しょうに 疾病や障害のある小児 および重症心身 しょうがいじ しゃ しえん 障害児・者の支援に ひつよう ちしき ぎじゆつ 必要な知識・技術の こうじょう はか しょうがい 向上を図り、障害 とくせい りかい いりよう 特性を理解した医療 じゅうじしゃ いくせい 従事者を育成するため けんしゅう じっし の研修を実施します。	しょうがいとくせいとう りかい 障害特性等を理解した いりようじゅうじしゃ いくせい 医療従事者を育成するた め、引き続き「小児 ほうもんかんご じゅうしょうしんしん 訪問看護・重症心身 しょうがいじしゃけんしゅう じっし 障害児者研修」を実施 します。	れいわ ねんど がつ がつ 令和3年度8月から10月 にかけて、医療機関や ふくしせつとう きんむ 福祉施設等に勤務する かんごし たいしょう しょうに 看護師を対象に「小児 ほうもんかんご じゅうしょうしんしん 訪問看護・重症心身 しょうがいじしゃけんしゅう じっし 障害児者研修」を実施 しました。 しなけんしゅうしゅうりょうしやすう <市内研修修了者数 > れいわ ねんど にん 令和3年度：29人	○	しょうがいとくせいとう りかい 障害特性等を理解した いりようじゅうじしゃ いくせい 医療従事者を育成する ために、引き続き 「小児訪問看護・ しょうにほうもんかんご 小児訪問看護・ じゅうしょうしんしんしょうがいじしゃ 重症心身障害児者 けんしゅう じっし 研修」を実施します。	すいしん 推進	すいしん 推進
さいけい 【再掲】 しょうがいふくし 障害福祉 しせつとう 施設等で はたら 働く かんごし 看護師の しえん 支援 ㊦	しょうがいふくししせつとう はたら 障害福祉施設等で働 かんごし ていちゃく お く看護師の定着に向け しえん おこな た支援を行うとともに かくほ ほうさく に、確保の方策につい けんとう て検討します。	しょうがいふくししせつとう はたら 障害福祉施設等で働く かんごし ぎのうこうじょうお く看護師の技能向上及び しゅうろうていちゃく もくてき 就労定着を目的に、 い しどう かくしせつ ほうもん 医師等が各施設に訪問し おこな こべつ じよげん て行う個別の助言や けんしゅう かくしせつ かんごし 研修、各施設の看護師 たいしょう ごどうけんしゅう を対象とした合同研修 とう じっし 等を実施します。	しょうがいふくししせつとう はたら 障害福祉施設等で働く かんごしむ いし 看護師向けに、医師によ こうくうきのうかんり る口腔機能管理について こうぎ どうが はいしん の講義を動画で配信し、 ぎじゆつてき しどう おこな 技術的な指導を行いま した。	△	しょうがいふくししせつとう はたら 障害福祉施設等で働 かんごし ぎのうこうじょうお く看護師の技能向上及 しゅうろうていちゃく もくてき び就労定着を目的 い しどう かくしせつ に、医師等が各施設に ほうもんとう おこな こべつ 訪問等して行う個別の じよげん けんしゅう かくしせつ 助言や研修、各施設の かんごし たいしょう 看護師を対象とした ごうどうけんしゅうとう じっし 合同研修等を実施しま す。	すいしん 推進	すいしん 推進

<p>せいしんか 精神科 きゅうきゅう 救急 いりょうたいさく 医療対策 じぎょう 事業</p>	<p>せいしんしかん きゅうげきはっしょう 精神疾患の急激発症 せいしんしょうじょう あつか や精神症状の悪化な どで、早急に適切な せいしんかありょう ひつよう 精神科医療を必要とす ばあい せいしんほけん る場合に、精神保健 ふくしほう もと しんさつ 福祉法に基づく診察や びょういん しょうかい おこな 病院の紹介を行うと ともに、必要な医療 しせつ かくほ ひつよう どう 施設を確保すること等 により、引き続き救 きゅうかんじや えんかつ いりょうおよ 急患者の円滑な医療及 び保護を図ります。</p>	<p>きんきゅう いりょう ひつよう 緊急な医療を必要とす かんじや じんそく てきせつ る患者が、迅速かつ適切 いりょう う な医療を受けられるよう にするため、地域におい て病院及び精神保健 していい きょうりよく そくしん 指定医の協力を促進 うけい たいせい じゅうじつ し、受入れ態勢の充実 はか きゅうきゅう を図ることで、救急 かんじや たい じんそく いりょう 患者に対して迅速に医療 ていきょう を提供します。</p>	<p>しんがた 新型コロナウイルスの かんせん かくだい せいしんか 感染が拡大し精神科 きゅうきゅう 救急のベッドがひっ迫 ちゅう びょういん せいしん する中、病院や精神 ほけんしていい いりょうげんば 保健指定医から医療現場 げんじょう ひつよう しえん の現状、必要な支援や ふあんどう きと つと 不安等の聞き取りに努め ました。前年度から引き つづ かんせん うたが 続き、新型コロナウイルス の感染が疑われる きゅうきゅうかんじや うけい 救急患者の受入れをし せいしんかびょういん たい た精神科病院に対して ほじよ けいぞく たいせい の補助を継続し、体制の いじ つと 維持に努めました。 じきゅうきゅうつうほうりよく 【3次救急通報等 けんすう 件数】 れいわ ねんど けん 令和2年度：839件 れいわ ねんど けん 令和3年度：888件 じきゅうきゅういそうさき 【3次救急移送先 びょういん しなびょういん 病院の市内病院の わりあい 割合】 れいわ ねんど 令和2年度：84.3% れいわ ねんど 令和3年度：84.7%</p>	<p>○</p>	<p>きんきゅう いりょう ひつよう 緊急な医療を必要とす かんじや じんそく てきせつ る患者が迅速かつ適切 いりょう う な医療を受けられるよ うにするため、地域に おいて病院及び精神 ほけんしていい きょうりよく 保健指定医の協力を そくしん うけい たいせい 促進し、受入れ態勢の じゅうじつ はか 充実を図ることで、 きゅうきゅうかんじや たい 救急患者に対して じんそく いりょう ていきょう 迅速に医療を提供しま す。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
--	---	--	---	----------	--	--------------------	--------------------

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
せいしんしっかん 精神疾患 がっぺい を合併す る身体 救急 患者の救 急医療 体制整備 事業	せいしんしっかん がっぺい 精神疾患を合併する しんたいきゅうきゅうかんじゃ てきせつ 身体救急患者を適切 な医療機関へ円滑に 搬送できるよう、 救急医療体制を構築 します。	かだい せいり これまでの課題を整理 し、より良い救急医療 体制の構築に向けた検討 を継続します。 また、必要に応じて特定 症状対応病院の参画 を勧奨していきます。	せいしんしっかん とくてい 精神疾患のうち特定 症状をもつ身体救急 患者に対応する病院群 について、3病院が 体制に参画しています。	○	かだい せいり これまでの課題を整理 し、より良い救急医 療体制の構築に向け た検討を継続します。 また、必要に応じて 特定症状対応病院の 参画を勧奨していきま す。	すいしん 推進	すいしん 推進

2-2 ぼうさい げんさい  
防災・減災

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
さいがいがい じ 災害時 ようえんごしや 要援護者 しえんじぎょう 支援事業	さいがいがい じ じりきひなん 災害時に自力避難が こんなん ようえんごしや あんび 困難な要援護者の安否 かくにん ひなんしえんどう 確認や避難支援等の かつどう えんかつ おこな 活動が円滑に行われる よう、さいがいがい じ ようえんごしや よう、災害時要援護者 めいぼ ひなんしえん ひつよう 名簿や避難支援に必要 な情報(じょうほう)を地域(ちいき)に提供 し、ひごろ ちいき し、日頃からの地域に おける(おける)自主的(じしゆてき)な支え合 いの取組(とりくみ)を支援(しえん)しま す。	ちいき じつじょう おう 地域の実状(じつじょう)に応じた さまざま さいがいがい じ ようえんごしや 様々な災害時要援護者 しえん とりくみ しえん 支援の取組(しえん)を支援(しえん)しま す。	かくく ちいき 各区(かくく)において、地域(ちいき)の じつじょう おう さまざま 実状(じつじょう)に応じた様々な さいがいがい じ ようえんごしや しえん 災害時要援護者支援(しえん)の とりくみ おこな 取組(しえん)が行われ、災害時 ようえんごしや しえん とりくみ 要援護者支援(しえん)の取組(しえん)を じっし じちかい 実施(じっし)している自治会・ ちょうないかい わりあい れいわ ねん 町内会(ちょうないかい)の割合(わりあい)が令和4年 がつまつげんざい 3月末現在(3月末現在)で●%となり ました(6)がちゅうじゅん ました(6月中旬(6月中旬)に すうち で よてい 数値(すうち)が出る(で)予定(よてい)です。	○	ちいき じつじょう おう 地域の実状(じつじょう)に応じ たさまざま さいがいがい じ た様々な災害時 ようえんごしや しえん 要援護者支援(しえん)の とりくみ しえん 取組(しえん)を支援(しえん)しま す。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいしゃ 障害者・ しえんしゃ 支援者に よる災害 じどう 時等の しょうがいりかい 障害理解 そくしん 促進	セイフティーネットプ ロジェクト横浜 (S-net 横浜) や関係機関等と 連携し、各区で実施さ れる地域防災拠点訓練 等で障害者理解を促進 します。	ひ つづ 引き続き、セイフティー ネットプロジェクト横浜 (S-net横浜) や関係 機関等と連携し、各区で 実施される地域防災拠点 訓練等で障害者理解を 促進します。	しょうがいしゃりかい すず 障害者理解を進めるた めの手法と関係機関との 連携方法について検討し ました。また、セイフテ ィーネットプロジェクト 横浜 (S-net横浜) の 活動を民間との協働に より動画で広く啓発しま した。	○	セイフティーネッ トプロジェクト 横浜 (S-net横浜) や関係機関等との 連携により、各区 で実施される地域 防災拠点訓練等で 障害者理解を促進 します。	すいしん 推進	すいしん 推進
さいがい じどう 災害時等 のじじりよく 自助力の こうじょう 向上に向 けたツー ルの作成 および ふきゅう 普及・ けいはつ 啓発 新	ふうすいかい ふく さいがい じ 風水害を含めた災害時 に備え、自助力の向上 のためのツールの けんとう さくせい ほんし 検討・作成と、本市ウ ェブサイト等を活用し た普及・啓発を行って いきます。	ひなんこうどうけいかく 避難行動計画「マイ・タ イムライン」を基に、 しみん はばひろ ふきゅう けいはつ 市民に幅広く普及・啓発 ができるよう本市ウェブ サイト等を活用していき ます。	ひなんこうどうけいかく 避難行動計画「マイ・タ イムライン」を基に、 しょうがい うむ 障害の有無にかかわら ず市民に幅広く普及・ けいはつ 啓発ができるよう本市ウ ェブサイト等を活用しま した。	○	ひ つづ しみん 引き続き、市民に はばひろ ふきゅう けいはつ 幅広く普及・啓発 ができるようマ イ・タイムライン 等のじじりよくこうじょう 自助力向上ツ ールを本市ウェブ サイト等を活用し ていきます。	すいしん 推進	すいしん 推進

事業名	事業内容	令和3年度取組予定	令和3年度実績	令和3年度評価	令和4年度取組予定	中間期目標	目標
さいがいじ 災害時に おける じじよ・ 自助・ きょうじよ 共助の じょうほう 情報 きょうゆう 共有の すいしん 推進 (新)	よこはまししょうがいしゃしきく 横浜市障害者施策 すいしんきょうぎかい かくだんたい 推進協議会や各団体の かいぎたい さいがいじ 会議体にて、災害時に じじよ きょうじよ おける自助・共助につ じょうほうきょうゆう おこな いて情報共有を 行い ます。	だんたい いけんこうかん ふ 団体との意見交換を踏ま え、よこはまししょうがいしゃしきく 横浜市障害者施策 すいしんきょうぎかい じょうほう 推進協議会にて情報 きょうゆう おこな 共有を行います	ぼうさい げんさい しんき 防災・減災にかかる新規 じぎょう よこはまし 事業について、横浜市 しょうがいしゃしきくすいしんきょうぎかい 障害者施策推進協議会 じょうほうきょうゆう で情報共有しました。	△	よこはまししょうがいしゃしきく 横浜市障害者施策 すいしんきょうぎかい 推進協議会にて ずいじじょうほうきょうゆう 随時情報共有を おこな 行います。	じっし 実施	じっし 実施
しょうがいしゅべつ 障害種別 おうきゅうびちく 応急備蓄 ぶっしれんけい 物資連携 じぎょう 事業	しょうがいとくせい おう おう 障害特性に応じた応 きゅうびちくぶっし 急備蓄物資について、 ひ つづ ほかん 引き続き保管できるよ う、せいび ふきゅう けいはつ う、整備や普及・啓発を おこな 行っています。	ひ つづ よう 引き続き、ストーマ用 そうぐ ほかん 装具の保管ができるよ う、せいび ふきゅう けいはつ う、整備や普及・啓発を おこな 行っています。	ぜんねんど ひ つづ 前年度に引き続き、スト ーマ用装具の保管ができ るよう、しんきぼしゅうおよ う、新規募集及び こうしんてつづ おこな 更新手続きを 行いまし た。(利用者数：151人)	○	ひ つづ 引き続き、スト ーマ用装具の保管が できるよう、せいび ふきゅう けいはつ おこな や普及・啓発を 行 います。	じっし 実施	じっし 実施

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいふくし 障害福祉 サービス 事業所等 における サービス 提供等 継続支援 ⑨	しょうがいふくし 障害福祉サービス 事業所等に対して、 へいじょうじ から、かんせんしょう 平常時から、感染症 の流行に備え、えいせいぶつ 衛生物の びんどう びちく じぎょうけいぞく 品等の備蓄、事業継続 けいかく さくてい ひつよう 計画の策定など必要な じゅんび ぷきゅう 準備について、普及 けいはつ おこな 啓発を行います。ま た、きんきゅうじ た、緊急時にはサービ ス提供等の継続に向け ていきょうとう けいぞく お た支援を行います。 しえん おこな	しょうがいふくし 障害福祉サービス 事業所等に対する取組と して、かんせんぼうしだいさく かん 感染防止対策に関 する じゅんかいほうもん じぎょう 巡回訪問や、事業 けいぞくけいかく さくていしえんとう 継続計画の策定支援等 をおこな 行います。 また、さくねんど ひ つづ また、昨年度に引き続 き、きんきゅうじ 緊急時にはサービ ス提供等の継続に向け ていきょうとう けいぞく お た支援を行います。 しえん おこな	しょうがいふくし 障害福祉サービス 事業所等に対して、 かんせんしょうぼうしだいさく かん 感染症防止対策に関す る じゅんかいほうもん じぎょう 巡回訪問、事業継続 けいかくさくていしえんとう じっし 計画策定支援等を実施し ました。 また、きんきゅうじ また、緊急時における サービス提供等の継続 に向けた支援を実施する む しえん じっし とともに、しよくんたいせい 職員体制の そうきた なお ほか 早期立て直しを図るた め、しなひ じぎょうしょ こうげん 市内事業所に抗原 けんさ はいふ 検査キットを配付しまし た。	○	しょうがいふくし 障害福祉サービス 事業所等に対し て、かんせんしょう まんえん て、感染症の蔓延 とう じぎょう 等があっても事業 けいぞく 継続ができるよう じぎょうけいぞくけいかく 事業継続計画の さくていしえん おこな 策定支援を行います。 また、きんきゅうじ また、緊急時に けるサービス提供 ていきょう 等の継続に向けた しえん おこな じぎょう 支援を行い、事業 しよない しんがた 所内で新型コロナウイルス ウィルスのかんせん 感染が うたが ばあい 疑われる場合、 じんそく たいおう 迅速に対応できる こうげんけんさ よう抗原検査キッ トをじょうびよう はいふ 常備用に配付 します。	けんとう 検討 ・ すいしん 推進	すいしん 推進



3-1 療育

(1) 地域療育センターを中心とした支援の充実

事業名	事業内容	令和3年度取組予定	令和3年度実績	令和3年度 評価	令和4年度 取組予定	中間期 目標	目標
ちいきりょういく 地域療育 センター うんえいじぎょう 運営事業	しょうがい 障害がある、またはその うたが じどう 疑いのある児童に、 せんもんせい たか ひょうか 専門性の高い評価や しえんけいかく もと 支援計画に基づき、 しゅうだんりょういく ほいくしよ 集団療育や保育所、 ようちえんおよ がっこう 幼稚園及び学校への じゅんかいほうもん ほごしゃしえん 巡回訪問、保護者支援 とう おこな 等を行います。 また、くふくしほけん 区福祉保健センタ りょういくそうだん ーの療育相談へのスタ はけんとう おこな ッフ派遣等を行いま す。	しょうがい 障害がある、またはその うたが じどう 疑いのある児童に、 せんもんせい たか ひょうか しえん 専門性の高い評価や支援 けいかく もと しゅうだん 計画に基づき、集団 りょういく ほいくしよ ようちえん 療育や保育所、幼稚園 およ がっこう じゅんかい 及び学校への巡回 ほうもん ほごしゃしえんとう 訪問、保護者支援等を おこな 行います。 また、くふくしほけん 区福祉保健センタ りょういくそうだん ーの療育相談へのスタ はけんとう おこな ッフ派遣等を行いま す。	しょうがい 障害がある、またその うたが じどう 疑いのある児童に、 しゅうだんりょういく ほいくしよ 集団療育や保育所、 ほいくえんおよ がっこう 保育園及び学校への じゅんかいほうもん ほごしゃしえん 巡回訪問や保護者支援 とう ねんかん つう じっし 等を年間を通じて実施し ました。 また、くふくしほけん 区福祉保健センタ りょういくそうだん ーの療育相談へスタッ はけん おこな フ派遣を行いました。	○	しょうがい 障害がある、また はその疑いのある じどう せんもんせい 児童に、専門性の たか ひょうか しえん 高い評価や支援 けいかく もと 計画に基づき、 しゅうだんりょういく 集団療育や ほいくしよ ようちえんおよ 保育所、幼稚園及 び学校への巡回 ほうもん ほごしゃしえん 訪問、保護者支援 とう おこな 等を行います。 また、くふくしほけん 区福祉保健 センターの療育 りょういく 相談へのスタッフ そうだん 派遣等を行いま す。	すいしん 推進	すいしん 推進

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
ほいくしょうほうもんしえん 保育所等訪問支援  (じゅきゅうしゃすう つき の りようにつうすう ねん (受給者数/月、延べ利用日数/年) ㊦)	にん 600人 じっせき にん 実績988人	にん 650人	にん 700人
	にんにち 4,800人日 じっせき にんにち 実績6,887人日	にんにち 5,200人日	にんにち 5,600人日
じどうはったつしえん 児童発達支援 (ちいきりょういく じっしぶん ふく (地域療育センター実施分を含む) じぎょうしやすう とし じゅきゅうしゃすう つき (事業所数/年、受給者数/月、 の りようにつうすう ねん 延べ利用日数/年) ㊦)	しよ 190か所 じっせき しよ 実績209か所	しよ 200か所	しよ 210か所
	にん 3,800人 じっせき にん 実績4,270人	にん 4,000人	にん 4,000人
	にん ひ 297,000人日 じっせき にんにち 実績350,856人日	にん ひ 314,900 にんにち 人日	にん ひ 327,500 にんにち 人日
じどうはったつしえん おも じゅうしょうしんしん 児童発達支援のうち、主に重症心身 しょうがいじ しえん じぎょうしよ 障害児を支援する事業所 (ちいきりょういく じっしぶん ふく (地域療育センター実施分を含む) じぎょうしやすう とし じゅきゅうしゃすう つき (事業所数/年、受給者数/月、 の りようにつうすう ねん 延べ利用日数/年) ㊦)	しよ 5か所 じっせき しよ 実績7か所	しよ 6か所	しよ 7か所
	にん 25人 じっせき にん 実績30人	にん 30人	にん 35人
	にんにち 1,500人日 じっせき にんにち 実績 3,079人日	にんにち 1,800人日	にんにち 2,100人日
いりょうがたじどうはったつしえん 医療型児童発達支援 (ちいきりょういく じっしぶん ふく (地域療育センター実施分を含む) じぎょうしやすう とし じゅきゅうしゃすう つき (事業所数/年、受給者数/月、 の りようにつうすう ねん 延べ利用日数/年) ㊦)	しよ 9か所 じっせき しよ 実績9か所	しよ 9か所	しよ 9か所
	にん 185人 じっせき にん 実績168人	にん 185人	にん 185人
	にんにち 18,000人日 じっせき にんにち 実績13,749人日	にんにち 18,000人日	にんにち 18,000人日

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
きょたくほうもんがたじどうはったつしえん <b>居宅訪問型児童発達支援</b> (じぎょうしよすう とし じゅきゆうしやすう つぎ の りよう 事業所数/年、受給者数/月、延べ利用 日数/年) ⑧	1か所 実績1か所	1か所	1か所
	30人 実績 16人	30人	30人
	60人日 実績 737人日	60人日	60人日

(2) 切れ目のない支援体制の充実

事業名	事業内容	令和3年度取組予定	令和3年度実績	令和3年度 評価	令和4年度 取組予定	中間期 目標	目標
<p>ちいき 地域 くんれんかい 訓練会 うんえいひ 運営費 じよせいじぎょう 助成事業</p>	<p>しょうがいじ ほごしやとう 障害児の保護者等が じしゆてき そしき ちいき 自主的に組織し、地域 きのうかいふくくんれん ほいく で機能回復訓練や保育 おこな ちいきくんれんかい を行う、地域訓練会の うんえいひ じよせい 運営費を助成します。</p>	<p>ちいきくんれんかい さんか いぎ 地域訓練会への参加意義 わ しゆうち を分かりやすく周知する ことなどにより、参加 そくしん はか 促進を図れるよう、 よこはまししゃかいふくしきょうぎかい 横浜市社会福祉協議会や くやくしよとう けんとう とくく 区役所等と検討し取り組 んでいきます。</p>	<p>よこはまししゃかいふくしきょうぎかい 横浜市社会福祉協議会を つう かつどうひ じよせい 通じて活動費の助成を おこな しんがた 行うとともに、新型コ ロナウイルス感染症の えいきょうとう かつどう しゆくしよ 影響等で活動を縮小 している団体に対しても かつどうしえん 活動支援ができるよう、 よこはまししゃかいふくしきょうぎかい 横浜市社会福祉協議会と とくく 取り組みました。</p>	<p>○</p>	<p>よこはまししゃかいふくしきょう 横浜市社会福祉協 ぎかい つう 議会を通じて かつどうひ じよせい おこな 活動費の助成を行 うとともに、 しょうがいじちいきくんれんかい 障害児地域訓練会 さんか いぎ わ への参加意義を分 かりやすく周知す ることなどによ さんかそくしん はか り、参加促進を図 れるよう、よこはまし しゃかいふくしきょうぎかい 社会福祉協議会や くやくしよとう けんとう 区役所等と検討し とくく 取り組んでいきま す。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

<p>ペアレントトレーニング実施者の養成</p>	<p>子ども本人への支援と合わせて重要である保護者への支援として、主に障害児通所支援事業所等において、職員に対しペアレントトレーニングを実施者養成研修を行います。</p>	<p>8月～9月に事業所職員に対する研修を開催し、10月～2月に研修を受けた職員により各事業所において保護者にトレーニングを実施します。</p>	<p>8月に事業所職員に対する研修を開催しました。10月～2月に研修を受けた職員により、事業所において保護者にトレーニングを実施しました。</p>	<p>△</p>	<p>6月～7月に事業所職員に対する研修を開催し、9月～2月に研修を受けた職員により各事業所において保護者にトレーニングを実施します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
--------------------------	---	--	---	----------	---	--------------------	--------------------

指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
<p>障害児相談 (事業所数/年、受給者数(学齢)/月、 受給者数(未就学)/年) ㊦</p>	<p>135か所 実績108か所 学齢 6,600人 実績2,690人 未就学 2,850人 実績836人</p>	<p>147か所 学齢 7,275人 未就学3,000人</p>	<p>160か所 学齢 8,025人 未就学3,150人</p>
<p>ペアレントトレーニング実施者養成 研修 ㊦新 (事業所数/年)</p>	<p>15か所 実績4か所</p>	<p>30か所</p>	<p>30か所</p>

(3) 学齢障害児に対する支援の充実

事業名	事業内容	令和3年度取組予定	令和3年度実績	令和3年度 評価	令和4年度 取組予定	中間期 目標	目標
<p>学齢後期 障害児 支援事業</p>	<p>学齢後期（中学生・高校生年代）の発達障害児等が安定した成人期を迎えられるよう、児童や家族等からの相談に専門的な指導、助言を行います。 また、関係機関と連携し、発達障害に起因する問題の解決に向けた支援を行います。</p>	<p>関係機関との連携調整を行いながら4か所目の事業実施に向け、この事業の役割・機能等に係る具体的な課題整理を行います。</p>	<p>事業の役割・機能等に係る課題解決や体制強化に係るアイデアを共有するとともに、「市民ニーズ等を踏まえた事業拡大の方向性」について意見交換を行うことを目的として、学齢後期障害児支援事業所（小児療育相談センター、横浜市総合リハビリテーションセンター、横浜市学齢後期発達相談室くらす）と意見交換会を令和3年10月より計4回実施しました。</p>	<p>○</p>	<p>体制強化に向けて、学識経験者等と交えた検討会議を開催します。</p>	<p>4か所</p>	<p>4か所</p>

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
こ こそだ しえんどう ほういしよ ほうかご 子ども・子育て支援等（保育所、放課後 じどうけんぜんいくせいじぎょうしよとう 児童健全育成事業所等）における障害児 のうけい たいせい せいび の受入れ体制の整備 ㊦	すいしん 推進	すいしん 推進	すいしん 推進
ほうかごなど 放課後等デイサービス事業 （事業所数/年、受給者数/月、 のりようにつうすう ねん 延べ利用日数/年） ㊦	410か所 じっせき 実績418か所	460か所	510か所
	8,800人 じっせき 実績8,833人	9,700人	10,700人
	1,128,000人日 じっせき 実績1,128,471人日	1,274,700人日	1,440,500人日
ほうかごとう 放課後等デイサービス事業のうち、主に じゅうしやうしんしんしやうがいじ しえん じぎやうしよ 重症心身障害児を支援する事業所 （事業所数/年、受給者数/月、 のりようにつうすう ねん 延べ利用日数/年） ㊦	22か所 じっせき 実績20か所	23か所	24か所
	396人 じっせき 実績341人	414人	432人
	31,680人日 じっせき 実績25,049人日	33,120人日	34,560人日
ほうかごなど 放課後等デイサービス事業のうち、主に じゅうしやうしんしんしやうがいじ しえん じぎやうしよ 重症心身障害児を支援する事業所の ある区 <small>く</small> の割合 <small>わりあい</small> ㊦ <small>新</small> （/年）	100% じっせき 実績72%	100%	100%
はったつしやうがいしやしえん 発達障害者支援センターによる相談 けんすう がくれいこうきしやうがいじしえんじぎやうぶん 件数（学齢後期障害児支援事業分） のそうだんけんすう ねん （延べ相談件数/年） ㊦	6,000件 じっせき 実績7,190件	6,000件	7,200件

<p> <small>はったつしょうがいしゃしえん</small>  <small>およ</small>  <small>はったつ</small>  <b>発達障害者支援センター及び発達</b>  <small>しょうがいしゃちいきしえん</small>  <small>がいぶきかん</small>  <b>障害者地域支援マネージャーの外部機関</b>  <small>ちいきじゅうみん</small> <small>けんしゅう</small> <small>けいはつ</small> <small>かくれいこうき</small>  <b>や地域住民への研修、啓発（学齢後期</b>  <small>しょうがいじしえんじぎょうぶん</small> <small>けんすう</small> <small>ねん</small>  <b>障害児支援事業分）（件数/年）</b> </p>	<p> <small>けん</small>  <b>25件</b>  <small>じっせき</small> <small>けん</small>  <b>実績13件</b> </p>	<p> <small>けん</small>  <b>25件</b> </p>	<p> <small>けん</small>  <b>30件</b> </p>
---	---	--	--



3-2 教育

(1) 療育と教育の連携による切れ目のない支援

<p>事業名</p>	<p>事業内容</p>	<p>令和3年度取組予定</p>	<p>令和3年度実績</p>	<p>令和3年度 評価</p>	<p>令和4年度 取組予定</p>	<p>中間期 目標</p>	<p>目標</p>
<p>よこはまきた 横浜型セ ンターの 機能の 充実</p>	<p>ちいきりょういく 地域療育センターや とくべつしえんがっこう つうきゅう 特別支援学校、通級 しどうきょうしつどう たんどうしや 指導教室等の担当者が、 しょう ちゅうがっこう 小・中学校や じどうせいと ほごしや 児童生徒、保護者から の相談にたいおう の相談に対応するな ど、特別な支援が必要 な児童生徒を支援しま す。</p>	<p>とくべつしえんきょういく 特別支援教育コーディネ ーターのスキルアップ と組織化を進めるため、 そしきか すず チーフコーディネーター を中心とした協議会を じゅうじつ 充実します。</p>	<p>とくべつしえんきょういく 特別支援教育コーディネ ーター協議会等を通じ て連携を深め、センター 的機能担当者が学校を ほうもん じどうせいと ひつよう 訪問し、児童生徒が必要 とする支援について助言 等を行いました。</p>	<p>○</p>	<p>とくべつしえんきょういく 特別支援教育コデー イナーのスキルア ップと組織化を進める ため、チーフコデー イナーを中心とし た協議会を充実しま す。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>しゅうがく 就学 説明会</p>	<p>とくべつしえんきょういく きぼう 特別支援教育を希望す る幼児の就学に関する せつめいかい かいさい 説明会を開催します。</p>	<p>しんがた たいさく 新型コロナウイルス対策 に伴い、会場確保が こんなん 困難となったこと、ま た、かんせんぼうし かんてん 感染防止の観点から もしゅうごうがた せつめいかい 集合型の説明会では なく、とくべつしえんきょういく 特別支援教育に かかるしゅうがくせつめい どうが 就学説明の動画を ホームページに掲載す ることにより事業を実施 します。</p>	<p>令和3年度は、しんがた 新型コロナウイルス対策に伴 い、会場確保が困難と なったこと、また、かんせん 感染防止の観点からも しゅうごうがた せつめいかい 集合型の説明会ではな く、しゅうがくせつめい 就学説明にかかる 動画をホームページに 掲載することで、事業を じっし 実施しました。</p>	<p>○</p>	<p>とくべつしえんきょういく きぼう 特別支援教育を希望 する方へ向け、就学 に関する情報提供を かくじゅう 拡充し、これまでの しゅうごうがた せつめいかい 集合型による説明会 に加え、しゅうがくせつめい 就学説明の 動画をホームページに 掲載します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	令和3年度取組予定 <small>れいわねんどとりくみよてい</small>	令和3年度実績 <small>れいわねんどじっせき</small>	令和3年度 評価 <small>れいわねんどひょうか</small>	令和4年度 取組予定 <small>れいわねんどとりくみよてい</small>	中間期 目標 <small>ちゅうかんきもくひょう</small>	目標 <small>もくひょう</small>
就学・ 教育相談 の体制 強化 <small>しゅうがくきょういくそうだんたいせいきょうか</small>	一人ひとりの教育ニ ズを的確に把握し、 迅速で適正な就学・ 教育相談を行うため 関係機関が相互に 連携しながら、就学前 から卒業後までを見通 した相談体制の強化を 図ります。 <small>ひとりきょういくてきかくはあくじんそくてきせいしゅうがくきょういくそうだんおこなかんけいきかんそうごれんけいしゅうがくまえみとおそうだんたいせいきょうか</small>	新型コロナウイルス感染 防止対策を図り、安全か つ、効率的に相談を行 うとともに、待機期間の 短縮及び円滑な事業の 推進を図ります。 <small>しんがたかんせんぼうししたいさくはかあんぜんこうりつてきそうだんおこなうとともたいききかんとんしゆくおよえんかつじぎょうすいしん</small>	令和3年度は、5,026件の 就学・教育相談を行 いました。令和2年度に 比べ223件増加しまし た。 引き続き、新型コロナウ イルス感染防止対策を図 り、安全かつ、効率的に 相談を行うとともに、 待機期間の短縮及び 円滑な事業の推進を図り ます。 <small>れいわねんどけんけんしゅうがくきょういくそうだんおこな5,026れいわねんどくらけんぞうかひつづしんがたかんせんぼうししたいさくはかあんぜんこうりつてきそうだんおこな相談を行うとともにたいききかんとんしゆくおよえんかつじぎょうすいしん</small>	○	新型コロナウイルス 感染防止対策を図り、 安全かつ、効率的に 相談を行うとともに に、待機期間の短縮 及び円滑な事業の推進 を図ります。 <small>しんがたかんせんぼうししたいさくはかあんぜんこうりつてきそうだんおこな相談を行うとともにたいききかんとんしゆくおよえんかつじぎょうすいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>
保護者 教室開催 事業 <small>ほごしやきょうしつかいさいじぎょう</small>	横浜市立小・ 中学校、特別支援学校 の保護者を対象とした 障害に対する正しい 知識の啓発を進めま す。 <small>よこはましりつしょうちゅうがっこうとくべつしえんがっこうほごしやたいしょうのほごしやたいしょうしょうがいたいただちしきけいはつすす</small>	令和3年度は、受講形態 を工夫する等感染防止 対策を講じ、事業を実施 します。 <small>れいわねんどじゅこうけいたいくふうなとかんせんぼうしだいさくこうじぎょうじっし</small>	令和3年度は受講形態を 検討し、オンラインによ り1回開催しました。 (参加者数280人) <small>れいわねんどじゅこうけいたいけんとうけんごんかいかいさいり1かいかいさいさんかしゃすうにん</small>	○	令和4年度は、受講 形態を全てオンライン で実施します。 (全6回/各400人) <small>れいわねんどじゅこうけいたいすべけんかいかくにん</small>	推進 <small>すいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しりつ 私立 ようちえんなど 幼稚園等 とくべつしえん 特別支援 きょういくひ 教育費 ほじょじぎょう 補助事業	しりつようちえんとう ざいえん 私立幼稚園等に在園し ていしょうがいじ たい ている障害児に対する きょういく しょうがい 教育が、障害の しゅるい ていど おう 種類・程度などに応じ てきせつ おこな て適切に行われるよ う、その経費の一部を せっちしゃ ほじょ 設置者に補助し、 しょうがいじ きょういく やくだ 障害児の教育に役立 てます。	とくべつしえんきょういくひほじょ 特別支援教育費補助の たいしょうえんじすう にん 対象園児数は237人を みこ 見込んでいます。	とくべつしえんきょういくひほじょ 特別支援教育費補助とし て、578人、115,600千円 にん せんえん を こうふ 交付しました。	○	とくべつしえんきょういくひほじょ 特別支援教育費補助の たいしょうえんじすう 対象園児数として、 れいわ ねんど にん 令和4年度は、322人 みこ を見込んでいます。	すいしん 推進	すいしん 推進

(2) 教育環境・教育活動の充実

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	令和3年度取組予定 <small>れいわ ねんどとりくみよてい</small>	令和3年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small>	令和3年度 評価 <small>れいわ ねんど ひょうか</small>	令和4年度 取組予定 <small>れいわ ねんど とりくみよてい</small>	中間期 目標 <small>ちゅうかんき もくひょう</small>	目標 <small>もくひょう</small>
ICTを 活用した 教育環境の 充実 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">新</span>	個々の児童生徒の 障害の状況を十分 に踏まえ、学習上、 生活上の様々な困難 に対し、ICTを活用 した指導や支援を 充実させるとともに、 緊急時におけるオン ラインでの学習保障 や動画コンテンツ配信 などについて、検討、 実施します。	GIGAスクール構想を 踏まえ、ICT環境の さらなる充実を進めると ともに、オンラインでの 学習等についても実施し ていきます。	各校へICTに関する 専門スタッフを配置 し、端末環境の整備 や授業支援等を行い 教員の負担の軽減を 図りました。そのうえ で、各特別支援学校に おいて、各教科のオン ライン学習を進めま した。	○	引き続き、ICTに 関する専門スタッフ 支援を進めオンライン での学習等を進めま す。	実施	推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりにくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりにくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいとくせい 障害特性に おう きょういく 応じた教育 のじゅうじつ 充実	こべつしえんがつきゅう くわ 個別支援学級に加え て、いっばんがつきゅう 一般学級において も、とくべつ しえん よう 特別な支援を要す るじどうせいと ぞうか 児童生徒が増加し、 しえん たようか 支援のニーズが多様化 しているじょうきょう ふ 状況を踏ま え、ケーススタディを じゅうし けんしゅう じゅうじつ 重視した研修を充実 させます。すべての教員 がしょうがい じょうたい とくせい 障害の状態や特性 におう しどう しえん に応じた指導・支援が おこな せんもんせい 行えるよう専門性の こうじょう はか 向上を図ります。 また、しょう ちゅうがっこう 小・中学校の きょういん とくべつしえんがっこう 教員が特別支援学校 きょうゆめんきよじょう しゅとく 教諭免許状を取得す るためのじゅこうりょうじよせい 受講料助成 じぎょう あら じっし 事業を新たに実施しま す。	すべ きょういん しょうがい 全ての教員が障害の じょうたい とくせい おう 状態や特性に応じた しどう しえん おこな 指導・支援が行えるよ う、けんしゅう じゅうじつ う、研修を充実させま す。また、しょう ちゅうがっこう 小・中学校 のきょういん とくべつしえんがっこう 教員が特別支援学校 きょうゆめんきよじょう しゅとく 教諭免許状を取得するた めのじゅこうりょう じよせい め受講料を助成しま す。	すべ きょういん しょうがい 全ての教員が障害の じょうたい とくせい おう 状態や特性に応じた しどう しえん おこな 指導・支援が行える よう、けんしゅう じゅうじつ 集合研修校内 研修を行いました。 また、しょう ちゅうがっこう 小・中学校の きょういん にん とくべつ 教員(29人)が特別 しえんがっこうきょうゆめんきよじょう 支援学校教諭免許状 しゅとく を取得するための じゅこうりょう じよせい 受講料を助成しまし た。	○	すべ きょういん しょうがい 全ての教員が障害の じょうたい とくせい おう 状態や特性に応じた しどう しえん おこな 指導・支援が行える よう、けんしゅう じゅうじつ 研修を充実さ せます。また、しょう ちゅうがっこう 小・中学校の教員が特別 しえんがっこうきょうゆめんきよじょう 支援学校教諭免許状 しゅとく を取得するための じゅこうりょう じよせい 受講料を助成しま す。	じっし 実施	じっし 実施

<p>とくべつしえんきょういく 特別支援教育 コーディネーターの機能強化とスキルアップ</p>	<p>とくべつしえんきょういく 特別支援教育 コーディネーター養成研修を受講して活動している特別支援教育コーディネーター（教員）を対象に、更なるスキルアップを目指して、事例研究などを中心とした研修を進めるとともに、関係機関との連携を強化し、専門的な資質を高めま</p>	<p>とくべつしえんきょういく 特別支援教育 コーディネーター養成研修に加え、実務経験3年以上を対象としたブラッシュアップ研修及び5年目以上を対象としたスキルアップ研修を行い、さらなる専門性の向上を図ります。</p> <p>また、チーフコーディネーター会議等において、研修・情報共有・事例検討を進めます。</p> <p>【実施予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーター養成研修 (5～11月/全12回/約300人受講)</li> <li>・ブラッシュアップ研修 (10・11月/全2回/約500人受講)</li> <li>・スキルアップ研修 (5～11月/全9回/約70人受講)</li> </ul>	<p>れいわねんどとくべつしえんきょういく 令和3年度は、特別支援教育 コーディネーター養成研修に加え、実務経験3年以上を対象としたブラッシュアップ研修及び5年目以上を対象としたスキルアップ研修を行いました。</p> <p>研修は、集合型に加えオンラインにより行いました。</p> <p>また、チーフコーディネーター会議等において、研修・情報共有・事例検討を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーター養成研修(全9回/約300人受講)</li> <li>・ブラッシュアップ研修</li> </ul>	<p>とくべつしえんきょういく 特別支援教育 コーディネーター養成研修、実務経験3年以上を対象としたスキルアップ研修、1年以上を対象としたブラッシュアップ研修、学び直しの機会としてリラーニング研修を実施し、専門性と質の向上を図ります。研修は集合型とオンラインやオンデマンドにより実施します。また、チーフコーディネーター会議等において研修・情報共有・事例検討を行います。</p> <p>【実施予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーター養成研修(全10回/約300人受講)</li> </ul>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
---	--	---	---	--	--------------------	--------------------

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりにくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりにくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
			<p>ぜん かい やく にん (全3回/約220人 じゅこう 受講)</p> <p>けんしゅう ・スキルアップ研修 ぜん かい やく にん (全10回/約950人 じゅこう 受講)</p>		<p>けんしゅう ・スキルアップ研修 ぜん かい の やく (全12回/延べ約1,200 にんじゅこう 人受講)</p> <p>けんしゅう ・ブラッシュアップ けんしゅう 研修 ぜん かい の やく ひと (全4回/延べ約300人 じゅこう 受講)</p> <p>けんしゅう ・リラーニング研修 ぜん かい の やく ひと (全6回/延べ約100人 じゅこう 受講)</p>		
とくべつしえん 特別支援 きょういくしえんいん 教育支援員 じぎょう 事業	しょう ちゅう ぎ ぶ きょういく 小・中・義務教育 がっこう しょうがい 学校で障害により がくしゅうめん せいかつめん 学習面、生活面や あんぜんめん はいりよとう 安全面への配慮等が ひつよう じどうせいと とくべつ 必要な児童生徒に特別 しえん きょういくしえんいん 支援教育支援員を はいち こうないしえんたいせい 配置し、校内支援体制 じゅうじつ はか の充実を図ります。	しょうちゅうがっこうとう 小中学校等において、 しょうがい 障害などにより がくしゅうめん せいかつめん 学習面、生活面 どう しえん ひつよう じどう 等への支援が必要な児童 せいと たい とくべつしえん 生徒に対し、特別支援 きょういくしえんいん はいち 教育支援員を配置しま す。	しょうちゅうがっこうとう 小中学校等におい て、しょうがい て、障害などにより がくしゅうめん せいかつめんなど 学習面、生活面等へ しえん ひつよう じどう の支援が必要な児童 せいと やく にん 生徒(約5,800人)に たい とくべつしえんきょういく 対し、特別支援教育 しえんいん はいち 支援員を配置しまし た。	○	しょうちゅうがっこうとう 小中学校等におい て、しょうがい て、障害などにより がくしゅうめん せいかつめんとう 学習面、生活面等へ しえん ひつよう じどう の支援が必要な児童 せいと たい とくべつしえん 生徒に対し、特別支援 きょういくしえんいん はいち 教育支援員を配置し ます。	はいち 配置	はいち 配置

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりにくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりにくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
ちょうかくしょうがいじ 聴覚障害児 しえんじぎょう 支援事業	しょう ちゅう ぎむきょうい 小・中・義務教育 がっこう ざいせき ちょうかく 学校に在籍する聴覚 しょうがい じどうせいと 障害のある児童生徒 にノートテイクによる じょうほう ほしょう じっし 情報の保障を実施し ます。	たいしょう じどうせいと 対象の児童生徒にノート テイクボランティアを はけん 派遣します。	たいしょう じどうせいと 対象の児童生徒（19 にん）にノートテイクボ ランティアを派遣しま す。	○	たいしょう じどうせいと 対象の児童生徒にノ ートテイクボランティ アを派遣します。	じっし 実施	じっし 実施
じゅんかいがたしどう 巡回型指導 の実施による つうきゅうしどう 通級指導の じゅうじつ 充実	じどうせいと ざいせきこう 児童生徒の在籍校を じゅんかい しどう おこな 巡回して指導を行 きょうどうがたじゅんかいがた 「協働型巡回型 しどう じっし 指導」を実施します。 つうきゅうしどう たんどうきょういん 通級指導の担当教員 ざいせきこう ほうもん が在籍校を訪問し、 じどうせいと しどう 児童生徒の指導や じゅぎょうさんかん おこな 授業参観を行うとと もに、がっきゅうたんになんどう 学級担任等と にちじょうてき じょうほう 日常的に情報を きょうゆう きょうどう 共有するなど、協働 がっこうせいかつ しえん して学校生活を支援し ます。	あら こう つうきゅうしどう 新たに4校の通級指導 きょうしつせっちこう るいけい こう 教室設置校（累計8校） において、協働型巡回 しどう じっし 指導を実施します。	あら こう つうきゅう 新たに4校の通級 しどうきょうしつせっちこう 指導教室設置校 るいけい こう （累計8校）におい て、きょうどうがたじゅんかいしどう 協働型巡回指導 じっし を実施しました。	○	あら こう つうきゅう 新たに4校の通級 しどうきょうしつせっちこう 指導教室設置校 るいけい こう （累計12校）におい て、きょうどうがたじゅんかいしどう 協働型巡回指導 じっし を実施します。	じっし 実施	じっし 実施



じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんととりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
いりょうてき 医療的ケア たいせい じゅうじつ 体制の充実	しょう ちゅう ぎ むきょういく 小・中・義務教育 がっこう とくべつしえんがっこう 学校や特別支援学校に いりょうてき おける医療的ケアの じっしたいせい じゅうじつ 実施体制を充実させ ます。 とくべつしえんがっこう 特別支援学校において じんこうこきゅうきとうこうど は、人工呼吸器等高度 いりょうてき たいおう な医療的ケアにも対応 できるよう、体制の きょうか はか 強化を図ります。	しょうちゅうがっこうとう 小中学校等において にちじょうてき かくたんきゅういん 日常的に喀痰吸引など いりょうてき ひつよう の医療的ケアが必要な じどうせいと たい かんごし 児童生徒に対し、看護師 はけん を派遣します。 とくべつしえんがっこう 特別支援学校において かんごし はいち は、看護師を配置すると ひ つづ じんこう ともに、引き続き、人工 こきゅうきとう こうど いりょうてき 呼吸器等の高度な医療的 ケアにモデル的に取り組 みます。	しょうちゅうがっこうとう 小中学校等において にちじょうてき かくたんきゅういん 日常的に喀痰吸引な いりょうてき ひつよう どの医療的ケアが必要 な児童生徒（17人）に じどうせいと にん 対し、看護師を派遣し たい かんごし はけん ました。 とくべつしえんがっこう 特別支援学校において かんごし はいち は、看護師を配置する ひ つづ とともに、引き続き、 じんこうこきゅうきとう こうど 人工呼吸器等の高度な いりょうてき 医療的ケアにモデル的 と に取り組みました。	○	しょうちゅうがっこうとう 小中学校等において にちじょうてき かくたんきゅういん 日常的に喀痰吸引な いりょうてき ひつよう どの医療的ケアが必要 な児童生徒に対し、 じどうせいと たい 看護師を派遣します。 たい かんごし はけん 特別支援学校において かんごし はいち は、看護師を配置する ひ つづ とともに、引き続き、 じんこうこきゅうきとう こうど 人工呼吸器等の高度な いりょうてき 医療的ケアにモデル的 と に取り組みます。	せいび 整備	せいび 整備

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんととりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
とくべつしえんがっこう 特別支援学校 の充実	ざいせきじどうせいと しょうがい 在籍児童生徒の障害 の多様化・重度化・ 重複化を踏まえ、 教育課程の充実、 施設設備の改修や、 福祉車両の活用など 通学支援の新たな方策 の検討・試行など 教育環境の充実に 取り組めます。	たよう じどうせいとひとり 多様な児童生徒一人ひと りのニーズを踏まえ教育 環境の充実に引き続き 取り組めます。また、 医療的ケアが必要な児童 生徒の通学支援の試行に も引き続き取り組みま す。	したいふじゆうとくべつしえん 肢体不自由特別支援 学校6校に配置する 看護師を30名体制に 拡充しました。ま た、医療的ケアが必要 な児童生徒の通学支援 として、医療的ケアの 必要な児童生徒の通学 支援として、肢体 不自由校で12台の 車両を運行しまし た。	○	たよう じどうせいとひとり 多様な児童生徒一人ひ とりのニーズを踏まえ 教育環境の充実に 引き続き取り組みま す。また、医療的ケア が必要な児童生徒の 通学支援として、福祉 車両の増車に取り組 みます。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんととりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんとじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんと 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
じゅうどほうもんかいご 重度訪問介護 りょうしゃ だいがく 利用者の大学 しゅうがくしえん 修学支援 じぎょう 事業 ⑧	じゅうどほうもんかいご りょう 重度訪問介護を利用す る重度障害者が大学 で修学するための しえん じっし 支援を実施します。	だいがくどう じゅうど 大学等において重度 しょうがいしゃ しゅうがく 障害者が修学するた めに必要な支援体制が構築 されるまで、進学を希望 する人が本制度を利用し あんしん しゅうがく 安心して修学ができるよ う、引き続き円滑な事業 うんえい おこな 運営を行っています。	れいわ ねんど じぎょう 令和2年度から事業を かいし りょうしゃ たい 開始し、利用者に対し て、通学の支援及び がくない いどう はいせつ 学内での移動や排泄 かいじょう しえん ていきょう 介助等の支援を提 供 しました。なお、 りょうしゃすう い か 利用者数は以下のとお りです。 りょうしゃすう <利用者数> れいわ ねんど にん 令和2年度：3人 れいわ ねんど ひと 令和3年度：3人	○	だいがくどう じゅうど 大学等において重度 しょうがいしゃ しゅうがく 障害者が修学するた めに必要な支援体制が 構築されるまで、進学 を希望する人が本制度 を利用しあんしん 安心して しゅうがく 修学ができるよう、 ひ つづ えんかつ じぎょう 引き続き円滑な事業 うんえい おこな 運営を行っています。 す。	すいしん 推進	すいしん 推進

(3) 教育から就労への支援

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定</p>	<p>れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績</p>	<p>れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価</p>	<p>れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>とくべつしえん 特別支援 がっこうしゅうろう 学校就労 しえんじぎょう 支援事業</p>	<p>しょうがいしゃしゅうろうしえん 障害者就労支援セン ター等関係機関と連携 しながら、生徒の就労 を支援します。 また、実習先開拓や 職場定着支援のため、 高等特別支援学校 (若葉台特別支援学校 知的障害教育部門を 含む)に就労支援 指導員を配置します。</p>	<p>こうとうとくべつしえんがっこう ひの 高等特別支援学校(日野 ちゅうおう ふた ばし わかばだい 中央、二つ橋、若葉台 ちてきしょうがいきょういくぶもん 知的障害教育部門)の こう ひとり しゅうろう 3校に一人ずつ就労 しえんしどういん はいち 支援指導員を配置し、 せいと しゅうろう しえん 生徒の就労を支援しま す。</p>	<p>こうとうとくべつしえんがっこう ひの 高等特別支援学校(日野 ちゅうおう ふた ばし わかばだい 中央、二つ橋、若葉台 ちてきしょうがいきょういくぶもん 知的障害教育部門)の こう ひとり しゅうろう 3校に一人ずつ就労 しえんしどういん はいち 支援指導員を配置し、 かくこう じっしゅうさき 各校における実習先 かいたく しよくばていちゃくしえん 開拓や職場定着支援に とく 取り組みました。</p>	<p>○</p>	<p>ひ つづ こうとう 引き続き、高等 とくべつしえんがっこう 特別支援学校 (ひのちゅうおう ふた 日野中央、二つ ばし わかばだいちてき 橋、若葉台知的 しょうがいきょういくぶもん 障害教育部門) こう ひとり の3校に一人ずつ しゅうろうしえんしどういん 就労支援指導員を はいち せいと 配置し、生徒の しゅうろう しえん 就労を支援します</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>とくべつしえん 特別支援 がっこうしんろ 学校進路 たんどうかん 担当間の れんけいきょうか 連携強化</p>	<p>しりつとくべつしえんがっこう 市立特別支援学校の しんろたんどうしゃ しょうがいしゅべつ 進路担当者が障害種別 をこ いてきてき じょうほう を超えて定期的に情報 こうかん じれいけんきゅう おこな 交換や事例研究を行 いはばひろ しんろせんたく い、幅広い進路選択に たいおう れんけい 対応できるよう連携を きょうか 強化します。</p>	<p>しんろたんどうしゃれんらくかいどう 進路担当者連絡会等を じっし がっこうかん れんけい 実施し、学校間の連携 きょうか 強化につなげます。</p>	<p>しりつとくべつしえんがっこう しんろ 市立特別支援学校の進路 たんどうしゃ しょうがいしゅべつ こ 担当者が障害種別を超 えてねん かにていどじょうほう 年3回程度情報 こうかん じれいけんきゅう おこな 交換や事例研究を行 いはばひろ しんろせんたく い、幅広い進路選択に たいおう とく 対応できるよう取り組 みました。</p>	<p>○</p>	<p>しんろたんどうしゃれんらくかい 進路担当者連絡会 どう じっし 等を実施し、 がっこうかん れんけいきょうか 学校間の連携強化 につなげます。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

4-1 就労

(1) 一般就労の促進と雇用後の定着支援の充実

事業名	事業内容	令和3年度取組予定	令和3年度実績	令和3年度 評価	令和4年度 取組予定	中間期 目標	目標
<p>就労支援センターを中心とした、地域における就労支援ネットワークの構築</p>	<p>障害者の就労を支える関係機関（特別支援学校、就労移行支援事業所、ハローワーク等）との連携・協力体制を構築します。就労の継続に欠かせない生活面でのサポートを充実させるため、地域の関係機関と連携し、本人への支援を円滑に進めます。</p>	<p>就労支援センターを中心として、特別支援学校やハローワーク、医療機関との研修会や連絡会を実施します。</p>	<p>各センターがハローワークの関係部門を訪問し、センターの役割や支援の説明を行ったほか、センター主催の連絡会・会議等への参加による、積極的な関係づくりを行いました。また、市内の移行支援事業所との連絡会を、オンラインで実施しました。</p>	<p>○</p>	<p>就労支援センターを中心として、特別支援学校やハローワーク、移行支援事業所との研修会や連絡会を実施します。</p>	<p>推進</p>	<p>推進</p>

事業名	事業内容	令和 3 年度取組予定	令和 3 年度実績	令和 3 年度 評価	令和 4 年度 取組予定	中間期 目標	目標
<p>【再掲】 就労支援センター職員の 人材育成</p>	<p>多様な就労ニーズに 対応できるよう、 就労支援スキルを 向上させるため、 研修の実施など、 人材育成を進めます。</p>	<p>各センター間で支援員 の人事交流を行い、 支援手法等の共有を 行います。また、セン ター共通で使用する 人材育成シートを作成 し、多様化・高度化す るニーズへ対応するた め、支援の質を高めま す。</p>	<p>多様化・高度化するニー ズへ対応し、センターが 提供するサービスの 標準化を目指し、センタ ー共通で使用する人材 育成シートを作成しまし た。また、例年実施して いる、センター間の人事 交流については、コロナ ウイルス感染拡大の影響 を鑑み中止としました。</p>	○	<p>各センター間で支援員の 人事交流を行い、支援 手法等の共有を行いま す。また、令和3年度に 作成した人材育成シート を活用するとともに、セ ンター職員を対象とし た研修を支援し、人材 育成を進めます。</p>	すいしん 推進	すいしん 推進
<p>【再掲】 就労促進 を目的と した 事業所 職員向け 研修</p>	<p>障害者雇用を行って いる企業での「就業 体験」の研修を通じ て、事業所職員の 就労支援スキルの 向上、就労に向けた 意識付けにつなげま す。</p>	<p>市内就労支援事業所 職員を対象に、企業 等での実習や見学を通 じて、企業で障害のあ る社員が担当する仕事 内容や求められる 職業能力及び企業の 育成方法等を学ぶ機会 を設けます。</p>	<p>市内就労支援事業所 職員や企業を対象に、 障害者雇用企業及び福祉 サービス事業所の見学会 を実施し、企業で障害の ある社員が担当する仕事 内容、求められる職業 能力及び企業の育成方法 等を学ぶ研修を実施しま した。</p>	○	<p>市内就労支援事業所 職員や企業、事業所 利用者等を対象に、企業 等での実習や見学を通じ て、企業で障害のある 社員が担当する仕事内 容、求められる職業能 力及び企業の育成方法等 を学ぶ機会を設けます。</p>	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
こようしざく 雇用施策 ふくし と福祉 しざく 施策の れんけい 連携によ る重度 しょうがいしゃとう 障害者等 への就労 しえん 支援 (重度 しょうがいしゃとう 障害者等 しゅうろうしえん 就労支援 とくべつ 特別 じぎょう 事業) ⑨	ほうてい 法定サービスでの たいしょうがい 対象外となっている じゅうどしょうがいしゃ けいざい 重度障害者の経済 かつどうじまなか しえん 活動時間中の支援を こようしざく ふくししざく 雇用施策と福祉施策が れんけい おこな せいど 連携して行う制度を けんとう じっし 検討し、実施します。	かんけいじぎょうしょ 関係事業所へのアンケ ート等を基に、制度構築 にむかへたけんとう すす に向けた検討を進めて いきます。	かんけいぶしょ れんけい た 関係部署と連携し、他 とし じっしじょうきょう じょうほう 都市の実施状況の情報 しゅうしゅう おこな せいど 収集を行うなど、制度 こうちく む けんとう おこな 構築に向けた検討を行 いました。	○	ひ つづ じぎょう じっし 引き続き、事業の実施に むかへたいてき けんとう すす に向けた具体的な検討を進 めていきます。	けんとう 検討 ・ じっし 実施	けんとう 検討 ・ じっし 実施

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
ふくししせつ いっぱんしゅうろう いこうしゃすう 福祉施設から一般就労への移行者数 (福) (たとし あ わせて けん しゅうけいちゅう 他都市と合わせて県が集計中です)	460人 実績-人	498人	536人
しゅうろういこうしえんじぎょう りようしゃすう 就労移行支援事業の利用者数 (福)	1,476人分 実績1508人分	1,547人分	1,617人分
しゅうろういこうしえん りようしゃ のうち しゅうろう 移行率が3割以上の事業所の割合 (福) (たとし あ わせて けん しゅうけいちゅう 他都市と合わせて県が集計中です)	34.2 % 実績- %	42.1 %	50.0 %
しゅうろうていちゃくしえんりようしゃすう 就労定着支援利用者数 (福)	1,070人 実績672人	1,190人	1,397人



(2) 幅広い仕事や工賃の向上による生活の充実

事業名 じぎょうめい 事業名	事業内容 じぎょうないよう 事業内容	令和3年度取組予定 れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	令和3年度実績 れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	令和3年度 れいわ ねんど 3年度 ひょうか 評価	令和4年度 れいわ ねんど 4年度 とりくみよてい 取組予定	中間期 ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	目標 もくひょう 目標
共同受注センター等による受注促進 きょうどうじゅちゅう 共同受注 センター等 による受注 促進	企業・行政機関から、 事業所の特性を生かした幅広い 仕事の受注ができるよ う、コーディネートを行います。 市内イベント等への出店や 自主製品の紹介等を通じ、 販路を拡大するとともに、 障害者就労への理解促進を 図ります。	共同受注センターで は市内障害者施設等 の登録を進め、作業 内容等の情報を集約 し、ウェブサイトで 周知していきます。 受注促進のための 企業開拓や販路開拓を 行い、登録事業所の 特性を活かした受注 調整を進めます。 その他の取組として 市内イベント等におい て事業所が参加する 機会を増やし、 障害者就労への理解 促進を図ります。	共同受注センターに おいて、市内障害者 施設等の登録を進め、 作業内容等の情報を 集約し、ウェブサイ トで周知しました。 また、受注促進のた めの企業開拓や販路 開拓を行い、登録 事業所の特性を活かし た受注調整に取組ん だほか、事業所自主 製品の販売会等の市内 イベントにおいて 事業所が参加する機会 を増やし、障害者 就労への理解促進を 図りました。	○	共同受注センター では市内障害者 施設等の登録を進 め、作業内容等の 情報を集約し、ウ ェブサイトで周知し ていきます。 受注促進のための 企業開拓や販路開拓 を行い、登録事業 所の特性を活かした 受注調整を進めま す。 その他の取組として 市内イベント等にお いて事業所が参加す る機会を増やし、 障害者就労への 理解促進を図りま す。	推進 すいしん 推進	推進 すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりにくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりにくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
じぎょうしょ 事業所の じゅちゅう 受注スキルの の向上(新)	はっちゅうしゃがわ こた 発注者側のニーズに応えら れる商品の開発や作業の じゅちゅう けんしゅうかい 受注ができるよう、研修会 やモデルケースとなる事例 けんとう じっし じぎょうしょ 検討などを実施し、事業所の じゅちゅう こうじょう ほか 受注スキルの向上を図り、 おお じゅちゅう 多くの受注につなげます。	みんかんきぎょう れんけい 民間企業との連携によ る販売支援や研修会 かいさいとう つう の開催等を通じて、 じぎょうしょ じゅちゅう 事業所の受注スキル こうじょう ほか 向上を図ります。	きょうどうじゅちゅう 共同受注センターに おいて、民間企業と れんけい けんしゅうかい 連携した研修会や せつめいかい じっし 説明会を実施したほ か、モデルケースとな る事例の作業風景等の けんがくかい かいさい 見学会を開催し、 じぎょうしょ じゅちゅう 事業所の受注スキル こうじょう ほか 向上を図りました。	○	みんかんきぎょう れんけい 民間企業との連携に よる販売支援や けんしゅうかい かいさいとう 研修会の開催等を つう じぎょうしょ 通じて、事業所の じゅちゅう こうじょう 受注スキル向上を ほか 図ります。	すいしん 推進	すいしん 推進
ゆうせんちやうたつ 優先調達の すいしん 推進	よこはましやくしよ じぎょうしょ 横浜市役所からの事業所への ゆうせんてき はっちゅう さら すいしん 優先的な発注を更に推進し ます。 また、庁内LANなどを活用 し、区局等の発注事例を広 く周知し、新たな発注につ なげます。	ゆうせんちやうたつほうしん もと 優先調達方針に基づ く調達目標等の達成 む はっちゅうじれい に向け、発注事例を ちやうないかいぎとう ば つう 庁内会議等の場を通 じて、周知するととも に、複数部署で発注 かのう るいじじれい しょう 可能な類似事例を紹 かい はっちゅう 介するなどの発注の そくしん おこな 促進を行います。	ゆうせんちやうたつほうしん もと 優先調達方針に基づ く調達目標等の達成 む はっちゅうじれい に向け、発注事例を ちやうないかいぎとう ば つう 庁内会議等の場を通 じて、周知するととも に、複数部署で発注 かのう るいじじれい 可能な類似事例を ちやうないらん かつよう しょう 庁内LANを活用し紹 かい はっちゅう 介するなどの発注の そくしん おこな 促進を行いました。	○	ゆうせんちやうたつほうしん もと 優先調達方針に基 づく調達目標等の たっせい るいじじれい はっちゅう 達成に向け、発注 じれい ちやうないかいぎとう 事例を庁内会議等 の場を通じて、周知 するとともに、複数 ぶしょ はっちゅうかのう 部署で発注可能な るいじじれい しょうかい 類似事例を紹介す るなどの発注の そくしん おこな 促進を行います。	すいしん 推進	すいしん 推進

(3) 多様な働き方や障害者就労に対する理解促進

事業名 じぎょうめい 事業名	事業内容 じぎょうないよう 事業内容	令和3年度取組予定 れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	令和3年度実績 れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	令和3年度 れいわ ねんど 3年度 ひょうか 評価	令和4年度 れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	中間期 ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	目標 もくひょう 目標
障害者 しょうがいしゃ 就労に関する しゅうろう かん 就労に関する し 市民啓発 し 市民啓発	シンポジウムの開催等を通 かいさいとう つう シンポジウムの開催等を通 じ、様々な分野で働く さまざま ぶんや はたら 様々な分野で働く 障害者や障害者雇用を進め しょうがいしゃ しょうがいしゃこよう すす 障害者や障害者雇用を進め ている企業の「生の声」を伝 きぎょう なま こえ つた えている企業の「生の声」を伝 え、障害者就労に対する しょうがいしゃしゅうろう たい え、障害者就労に対する 理解・関心を高めます。 りかい かんしん たか 理解・関心を高めます。	「働きたい！わたし はたら 「働きたい！わたし のシンポジウム」を かいさい がつよてい のシンポジウム」を 開催（1月予定）し、 どうじしゃ かぞくどう 開催（1月予定）し、 当事者や家族等の しゅうろう りかい そくしん 当事者や家族等の 就労への理解を促進 し、様々な働き方の しょうち しえんきかん 就労への理解を促進 し、様々な働き方の 周知や支援機関の しょうかいとう つう はたら 周知や支援機関の 紹介等を通じて、働 くとくきかけづくり等を おこな 紹介等を通じて、働 くきかけづくり等を 行います。 行います。	障害者就労に関心を しょうがいしゃしゅうろう かんしん 障害者就労に関心を も 持っていたいただき、 にちじょう ちゅう 持っていたいただき、 日常の中に、 しょうがいしゃ 日常の中に、 障害者がどのように かか 障害者がどのように 関わっているのか、 き 関わっているのか、 「気づき」のきっかけ になることを目的とし しょうがいしゃしゅうろうけいはつ になることを目的とし た、障害者就労啓発 てん はたら た、障害者就労啓発 パネル展「ともに働 しやくしょ かいさい パネル展「ともに働 く」を市役所にて開催 しました。なお、予定 よてい しました。なお、予定 していたシンポジウム かいさい しんがた していたシンポジウム の開催については新型 コロナウイルス かんせんしょうかんせんかくだいぼうし の開催については新型 コロナウイルス 感染症感染拡大防止 かんてん じっし みあ 感染症感染拡大防止 の観点から実施を見合 わせました。 わせました。	△	従来 じゅうらい 従来 のシンポジ ウムを見直し、 みなお のシンポジ ウムを見直し、 対象者ごとに たいしょうしゃ 対象者ごとに 開催方法やプロ かいさいほうほう 開催方法やプロ グラムを検討す けんとう グラムを検討す ることで、より こうかてき しょうがいしゃ ることで、より 効果的に障害者 しゅうろうけいはつ お 効果的に障害者 就労啓発を推し すす 就労啓発を推し 進めていきま す。 進めていきま す。	推進 すいしん 推進	推進 すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいしゃこよう 障害者雇用 かん に関する きぎょうけいはつ 企業啓発	しょうがいしゃこよう けんどう 障害者雇用を検討している きぎょう む こよう かん 企業に向けて、雇用に関する セミナー等を実施し、合理的 はいりよ ひつようせい きぎょうない 配慮の必要性など企業内での しょうがいりかい そくしん はか 障害理解の促進を図りま す。	しえんきかん かながわけん 支援機関や神奈川県と れんけい きぎょう む 連携した企業向けセミ ナーを開催し、 しょうがいしゃこよう かん 障害者雇用に関する じょうほうていきょう こようじれい 情報提供や雇用事例 しょうかい おこな の紹介を行います。 また、きぼう きぎょう に対して、しょうがいしゃこよう たい の啓発に関する出前 けいはつ かん だまえ こうざとう じっし 講座等を実施します。	しえんきかん かながわけん 支援機関や神奈川県と れんけい きぎょう む 連携した企業向けセミ ナーを開催し、 しょうがいしゃこよう かん 障害者雇用に関する じょうほうていきょう こようじれい 情報提供や雇用事例 しょうかい おこな の紹介を行いました。 また、かくちいき また、各地域の こうぎょうかい ちゅうしん 工業会を中心に、 しょうがいしゃしゅうろう けいはつ 障害者就労の啓発を じっし きぼう 実施したほか、希望す るきぎょう たい 企業に対して、 しょうがいしゃこよう けいはつ 障害者雇用の啓発に かん だまえこうざとう 関する出前講座等を じっし 実施しました。	○	しえんきかん 支援機関や かながわけん れんけい 神奈川県と連携 した企業向けセ ミナーを開催 し、しょうがいしゃこよう 障害者雇用 に関する情報 ていきょう こようじれい 提供や雇用事例 しょうかい おこな の紹介を行 います。 また、きぼう また、希望する きぎょうどう たい 企業等に対し て、しょうがいしゃこよう 障害者雇用 の啓発に関する だまえこうざとう 出前講座等を じっし 実施します。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりにくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりにくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
ふれあいシ ョップ等を かつよう 活用した しょうがいしゃ 障害者 しゅうろう かん 就労に關す り かいそくしん る理解促進 ⑧	あら かいぎょう かんないえき 新たに開業するJR関内駅 きたぐちこうかした しゅうろうけいはつしせつ 北口高架下の就労啓発施設 およ しちようしゃない 及び市庁舎内のふれあいショ ップをはじめ、既存のふれあ いショップ等の運営を通じ て、就労に關する理解の そくしん はか 促進を図ります。	しんきかいぎょうてんぽおよ 新規開業店舗及び きそん かく 既存の各ふれあいショ ップの運営状況を ちくじじょうほうきょうゆう 逐次情報共有し、 てんぽかん 店舗間のネットワーク けいせいとう もくてき 形成等を目的としたふ れあいショップ てんちようかいとう かいさい 店長会等を開催しま す。	かくてんぽ うんえいじょうきょう 各店舗の運営状況に しんせいしよるいかくにん については申請書類確認 とう じむてつづ どお 等の事務手続きを通し はあく おこな いちぶ て把握を行い、一部 てんぽ かん 店舗に關しては、ヒア リングも行ないまし た。 また、しんがた 新型コロナウイ ルス感染症拡大の えいきょう かんが 影響を鑑み、ふれあ いショップ店長会等 かいさい みおく は開催を見送りまし た。	△	ちいき ね ぎ 地域に根差した てんぽ 店舗となるよ う、じょうほうきょうゆう 情報共有 てんぽかん など店舗間のネ ットワーク形成 けいせい 等を目的とした ふれあいショッ プ店長会等を開 さい かいさい 催します。開催 についてはオン ラインを含め、 けんとう おこな 検討を行います。 また、引き つづ かくしせつとう 続き各施設等へ のヒアリングも おこな 行います。	すいしん 推進	すいしん 推進

4-2 日中活動

(1) 日中活動場所の選択肢の充実

指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
生活介護 (〳月) 福	7,732人分 実績8,362人分	7,982人分	8,232人分
	128,853人日 実績139,854人日	133,022人日	137,192人日
自立訓練 (機能訓練) (〳月) 福	42人分 実績30人分	42人分	42人分
	826人日 実績428人日	826人日	826人日
自立訓練 (生活訓練) (〳月) 福	359人分 実績405人分	376人分	393人分
	5,812人日 実績6,666人日	6,088人日	6,363人日
就労移行支援事業【再掲】 (〳月) 福	1,476人分 実績1,508人分	1,547人分	1,617人分
	25,099人日 実績26,726人日	26,303人日	27,507人日
就労継続支援事業 (A型) (〳月) 福	880人分 実績719人分	919人分	958人分
	17,203人日 実績13,674人日	17,962人日	18,721人日

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
しゅうろうけいぞくしえんじぎょう 就労継続支援事業（B型）（／月） <sup>がた</sup> <sup>つき</sup> 福	にんぶん 4,605人分 じっせき 実績4,691人分	にんぶん 4,857人分	にんぶん 5,109人分
	にんにち 79,012人日 じっせき 実績77,897人日	にんにち 83,339人日	にんにち 87,666人日
ちいきかつどうしえん 地域活動支援センター作業所型 <sup>さがた</sup> 福	しよ 130か所 じっせき 実績 138か所	しよ 130か所	しよ 130か所
	にん ねん 2,600人（／年） じっせき 実績 2,894（人／年）	にん ねん 2,600人（／年）	にん ねん 2,600人（／年）
ちゅうとしょうがいしゃちいきかつどう 中途障害者地域活動センター 福	しよ 18か所 じっせき 実績18か所	しよ 18か所	しよ 18か所
	にん ねん 517人（／年） じっせき 実績479人（／年）	にん ねん 517人（／年）	にん ねん 517人（／年）

4-3 スポーツ・文化芸術

(1) スポーツ活動の推進

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	令和3年度取組予定 <small>れいわ ねんどとりくみよてい</small>	令和3年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small>	令和3年度 評価 <small>れいわ ねんど 3年度 ひょうか</small>	令和4年度 取組予定 <small>れいわ ねんど 4年度 とりくみよてい</small>	中間期 目標 <small>ちゅうかんき むくひょう</small>	目標 <small>むくひょう</small>
障害者スポーツの啓発と理解の促進 <small>しょうがいしゃ スポーツの けいはつ 理解の ぞくしん</small>	東京2020パラリンピックにより高まる関心を障害者スポーツの普及啓発につなげるため、障害者スポーツ文化センターや横浜市スポーツ協会、地域の様々な団体等と連携し、障害者スポーツの裾野を広げる取組を行うとともに、障害者スポーツを通じた障害への理解促進を図ります。 <small>とうきょう 2020パラリンピックにより たか かんしん を しょうがいしゃ スポーツの ぷきゆう けいはつ つなげるため、 しょうがいしゃ スポーツ文化センターや よこはまし スポーツ協会、 ちいき の さまざまな だんたいとう れんけい と 連携し、 しょうがいしゃ スポーツの すその ひろ を とりくみ おこな うと もに、 しょうがいしゃ スポーツを つう じた しょうがい への りかい ぞくしん はか 理解促進を 図ります。</small>	障害者スポーツ文化センター（横浜ラポール・ラポール上大岡）で、様々な機会を捉え、障害者スポーツの体験会や教室等を実施していきます。 <small>しょうがいしゃ スポーツ文化センター（よこはま ラポール上 おおおか）で、 さまざまな きかい とら しょうがいしゃ スポーツの たいけんかい や 教室等 を 実施 していきます。</small>	障害者スポーツ文化センター（横浜ラポール・ラポール上大岡）で、障害者スポーツの体験会や教室等を実施しました。また、障害者スポーツ推進の取組を進めるため、横浜市スポーツ協会と包括連携協定を締結しました。 <small>しょうがいしゃ スポーツ文化センター（よこはま ラポール上 おおおか）で、 しょうがいしゃ スポーツの たいけんかい や 教室等 を 実施 しました。 また、 しょうがいしゃ スポーツ推進の 取組を 進めるため、 よこはまし スポーツ協会と ほうかつれんけいきょうてい を 締結し ました。</small>	○	障害者スポーツ文化センター（横浜ラポール・ラポール上大岡）で、様々な機会を捉え、障害者スポーツの体験会や教室等を実施していきます。 <small>しょうがいしゃ スポーツ文化センター（よこはま ラポール上 おおおか）で、 さまざまな きかい とら しょうがいしゃ スポーツの たいけんかい や 教室等 を 実施 していきます。</small>	推進 <small>すいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>



じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和 ねんど 3年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
みぢか 身近な ちいき 地域にお ける しょうがいしゃ 障害者ス ポーツの すいしん 推進	ひ つづ しょうがいしゃ 引き続き、障害者が みぢか ちいき 身近な地域でスポーツ と く に取り組めるよう、 かくく 各区のスポーツセンタ ーや中途障害者地域 かつどう どう れんけい 活動センター等と連携 し、ちいき じんざいいくせい 地域の人材育成を すす 進めながら、しょうがいしゃ 障害者ス ポーツのすす 推進を図りま す。	ちゅうとしょうがいしゃちいきかつどう 中途障害者地域活動セ ンター、よこはまし 横浜市スポーツ きょうかいどう れんけい しょうがい 協会等と連携し、障害 のある人のみぢか ちいき 身近な地域で のしょうがいしゃ 障害者スポーツの とりくみ すいしん 取組を推進していきま す。また、しょうがいしゃ 障害者スポ ーツのしゅうちかつどう 周知活動、スポー ツボランティアようせいこうざ 養成講座 やしょきゅうしょうがいしゃ 初級障害者スポーツ しどういんけんしゅうかいどう じっし 指導員研修会等の実施 をとおして、しえんしゃ 支援者・ しどうしゃ じんざいいくせい すす 指導者の人材育成を進め ていきます。	ちゅうとしょうがいしゃちいきかつどう 中途障害者地域活動セ ンター、よこはまし 横浜市スポーツ きょうかいどう れんけい しょうがい 協会等と連携し、障害 のある人のみぢか ちいき 身近な地域で のしょうがいしゃ 障害者スポーツの とりくみ おこな 取組を行いました。ま た、しょうがいしゃ 障害者スポ ーツのしゅうちかつどう 周知活動、スポーツボラ ンティアようせいこうざ 養成講座や しょきゅうしょうがいしゃ 初級障害者スポーツ しどういんけんしゅうかいどう じっし 指導員研修会等の実施 をとおして、しえんしゃ 支援者・ しどうしゃ じんざいいくせい と 指導者の人材育成に取り 組みました。	○	ちゅうとしょうがいしゃちいき 中途障害者地域 かつどう 活動センター、 よこはまし 横浜市スポーツ きょうかいどう れんけい 協会等と連携し、 しょうがい ひと 障害のある人の みぢか ちいき 身近な地域での しょうがいしゃ 障害者スポーツの とりくみ すいしん 取組を推進してい きます。また、 しょうがいしゃ 障害者スポーツの しゅうちかつどう 周知活動、スポー ツボランティア ようせいこうざ しょきゅう 養成講座や初級 しょうがいしゃ 障害者スポーツ しどういんけんしゅうかいどう 指導員研修会等の じっし とお 実施を通して、 しえんしゃ しどうしゃ 支援者・指導者の じんざいいくせい すす 人材育成を進めて いきます。	すいしん 推進	すいしん 推進

ぶん かげいじゅつかつどう すいしん  
 (2) 文化芸術活動の推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和3 ねんど 年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいしゃ 障害者の ぶん かげいじゅつ 文化芸術 かつどう 活動の しえん 支援	かいさい アートイベントの開催 かつどう ささ や、活動を支える人材 いくせい さまざま だんたいどう の育成、様々な団体等 れんけい ぶん かげいじゅつ と連携した文化芸術 かつどう ば そうしゅつ と活動の場の創出に取 り組みます。	げいじゅつさい てんらんかいどう 芸術祭や展覧会等の かいさい かつどう ささ 開催を通じて、活動を支 える人材の育成や文化 げいじゅつかつどう ば そうしゅつ 芸術活動の場の創出を すす 進めていきます。	げいじゅつさい てんらんかいどう 芸術祭や展覧会等の かいさい かつどう ささ 開催を通じて、活動を支 える人材の育成や文化 げいじゅつかつどう ば そうしゅつ 芸術活動の場の創出に とく 取り組みました。	○	げいじゅつさい てんらんかいどう 芸術祭や展覧会等の かいさい かつどう ささ 開催を通じて、活動を 支える人材の育成や ぶん かげいじゅつかつどう ば 文化芸術活動の場の そうしゅつ すす 創出を進めていきま す。	すいしん 推進	すいしん 推進
しょうがいしゃ 障害者の ぶん かげいじゅつ 文化芸術 かんしょう 鑑賞の しえん 支援 <b>新</b>	さまざま だんたいどう れんけい 様々な団体等と連携 しょうがい とくせい おう し、障害の特性に応 かんしょう きかい じた鑑賞の機会の じゅうじつ えんかつ しせつ 充実、円滑な施設 りよう かんきょう 利用のための環境 せいび かつどう ささ 整備、活動を支える じんざい いくせいどう とく 人材の育成等に取り組 みます。	よこはまのうかくどう 横浜能楽堂において「バ リアフリー能」を のう じっし 実施し ます。	がつ にち しんがた 3月19日に新型コロナウ かんせんしょうたいさく おこな イルス感染症対策を行 じっし い、実施しました。	○	よこはまのうかくどう 横浜能楽堂において 「バリアフリー能」を じっし 実施します。	すいしん 推進	すいしん 推進

事業名	事業内容	令和3年度取組予定	令和3年度実績	令和3年度 評価	令和4年度 取組予定	中間期 目標	目標
文化芸術 による 地域共生 社会実現 に向けた 取組の 推進 (新)	関係機関との連携を深 め、文化芸術体験や 公演・展示等鑑賞の 文化芸術活動を通し て、障害のあるなし にかかわらず誰もが互 いに対等な立場で関わ り合うことを進める 活動を促進します。	・障害者施設とアートを イストの連携により、 障害者の芸術活動を 支援します。 ・市民ギャラリーあざみ の野での「フェローア ートギャラリー」を推進しま す。 ・「ヨコハマ・パラトリ エンナーレ」のレガシー を継承するとともに、 障害のある人の創作 活動を支える人材を育成 します。 ・Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021に おいて、市内特別支援 学校でのダンスワークシ ョップを開催し、有志 生徒による発表の場を 設けます。	・障害者施設とアートを イストの連携により、 障害者の芸術活動を 支援しました。 ・市民ギャラリーあざみ の野ではフェローア ートギャラリーを実施したことに 加え、本事業について 他施設と連携しました。 ・「ヨコハマ・パラトリ エンナーレ」のレガシー を継承するため、企業 や学校向けのプログラム を開発しました。 ・Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021に おいて、市内特別支援 学校でのダンスワークシ ョップを開催し、有志 生徒による発表の場を 設けました。	○	・市民ギャラリーあざ み野での「フェローア ートギャラリー」を 推進します。 ・引き続き「ヨコハ マ・パラトリエンナー レ」のレガシーを 継承するため、学校 等でのプログラムの 実践や福祉施設を 対象としたモニター 調査などを行います。 ・横浜音祭り2022 において、市内特別 支援学校等を対象に ワークショップ等を 実施します。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和3年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	れいわ 令和3 ねんど 年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和4年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
<p>           かしょう (仮称)            どくしょ 読書バリ            アフリー            法に基づ            く横浜市            計画の            策定、            推進 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">新</span> </p>	<p>           どくしょ ほう 読書バリアフリー法に            もと ちほうこうきょう 基づく、地方公共            だんたい けいかく さくてい 団体の計画として策定            けいかく もと とりくみ し、計画に基づく取組            すいしん を推進します。         </p>	<p>           しない しょうがいしゃだんたい 市内の障害者団体や            せんもんてきちけん ゆう がいぶ 専門的知見を有する外部            かんけいしゃ こうせい かいぎ 関係者で構成された会議            かいさい どくしょ を開催し、読書バリアフ            ほう もと ほんしとりくみ リー法に基づく本市取組            ほうこうせい きょうぎ の方向性について協議い            けいかくさくてい さんこう ただき、計画策定の参考            とします。あわせて、            ちょうない かんけいか あつ 庁内の関係課を集めた            かいぎ かいさい かんれんしさく 会議を開催し、関連施策            じっしじょうきょう かくにん の実施状況の確認や            こんご とりくみ ほうこうせい 今後の取組の方向性を            けんとう 検討します。         </p>	<p>           しない しょうがいしゃだんたい 市内の障害者団体や            せんもんてきちけん ゆう がいぶ 専門的知見を有する外部            かんけいしゃ こうせい 関係者で構成された            しゃかいきょういくいいん かいぎ 「社会教育委員会会議」            かいさい きょうぎ を2回開催し、協議いた            だきました。あわせて、            ちょうない かんけいか あつ 庁内の関係課を集めた            かいぎ かいさい かんれんしさく 会議を開催し、関連施策            じっしじょうきょう かくにん の実施状況の確認や            こんご とりくみ ほうこうせい 今後の取組の方向性を            けんとう 検討しました。         </p>	<p style="text-align: center;">○</p>	<p>           しゃかいきょういくいいん 「社会教育委員            かいぎ ひ つづ かいさい 会議」を引き続き開催            きょうぎ けっか と し、協議の結果を取り            ていげん ほんし まとめた提言を本市に            ていしゆつ 提出していただきま            す。         </p>	<p>           さくてい 策定            ・            すいしん 推進         </p>	<p>           すいしん 推進         </p>

だい 4 き  
第 4 期

れいわ ねんど れいわ ねんど  
令和 3 年度～令和 8 年度

よこはま しりょう がい しゃ  
横浜市障害者プラン



はっこう  
発行

よこはまし けんこうふくし きょく  
横浜市健康福祉局  
こども せいしょうねん きょく  
こども青少年局  
きょういく いんかい じ む きょく  
教育委員会事務局

〒 231-0005  
よこはまし なかく ほんちやう ちやうめ  
横浜市中区本町6丁目50-10

しょうがい かんけい  
障害のある・なしに関係なく  
く まち  
暮らしやすい街にするために

## みなさんに 知ってほしいこと

障害のある人もない人も  
お互いを大切にできるように、  
自分らしく生活できるように。  
横浜市では 次のことをめざして  
計画を立てました。

### 〈お互いを大切にできるように〉

- 障害について みんなに 知ってもらいます。
- 支援する人が足りるようにします。
- 障害のある人を守るための取り組みをします。
- 困ったときに相談できるようにします。

### 〈自分らしく生活できるように〉

- 住みたいところに 住めるようにします。
- 福祉サービスを 充実させます。
- 出かけることを 支援します。
- 障害があっても 住みやすい街にします。
- 健康に暮らせるようにします。
- 地震や台風などの災害に備えます。
- 障害のある子どもたちの成長を支援します。
- 学校は 障害のある子どもたちの  
学びや進路を 支援します。
- 働くことを 支援します。
- ふだんの過ごし方を 支援します。
- スポーツや芸術を 楽しめるようにします。

## 障害者プランとは？

横浜市では、6年ごとに  
「障害者プラン」をつくっています。  
「障害者プラン」は、  
障害のある人たちも  
自分らしく暮らせるために  
横浜市がつくった計画です。

2004年に1回目（第1期）の  
障害者プランができました。

2021年の障害者プランは  
4回目（第4期）のものです。

## 第4期の 障害者プランの目標

「障害のある人もない人も、  
みんなが お互いを大切にしながら  
地域で暮らす1人として  
自分らしく生きること。  
それができる街になること」を  
めざしています。

障害者プランの中では、  
次のように書かれています。

「障害のある人もない人も、  
誰もが人格と個性を尊重し合いながら、  
地域共生社会の一員として、  
自らの意思により  
自分らしく生きることが出来るまち  
ヨコハマを目指す」

# 第4期 障害者プランの内容

みんなが たが お互いを大切にしなが、  
障害のある人も しょうがい 自分らしく ひと 生活できるように、  
第4期 障害者プランで よこはまし 横浜市が しょうと しようとしていることを せつめい 説明します。

## お互いを大切にできるように

### 1 障害についてみんなに知ってもらいます



▶ いろいろな障害や病気のことを  
みんなに知ってもらって、  
「みんなで ささあ 支え合っていこう」という  
かんがひろ 考えを広げていきます。

▶ がっこうかよこ 学校に通っている子どもや  
その親たちが しょうがいひと 障害のある人と  
こうりゅう 交流できるようにします。

### 2 支援する人が足りるようにします



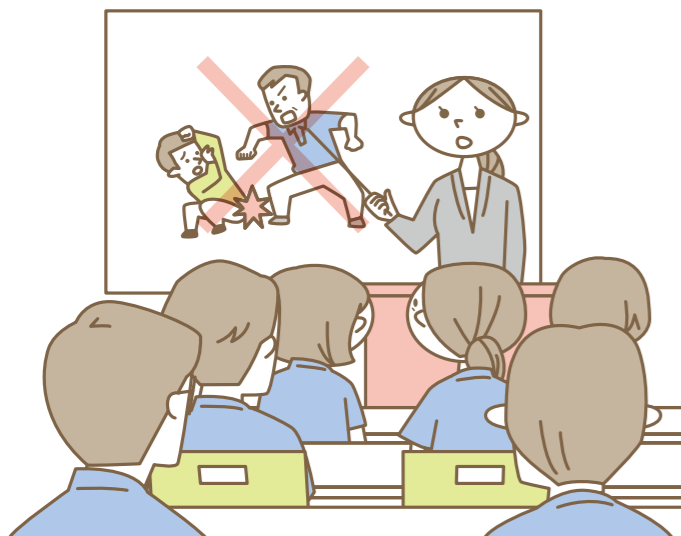
▶ 「しょうがいふくし 障害福祉の仕事をしたい」と  
おも 思えるような  
じょうほう 情報を つた 伝えていきます。

▶ ふくし 福祉施設などが  
しょくいん 職員を雇うための  
てだす 手助けをします。

▶ じょうず 上手に支援できる  
しょくいん 職員を育てるための  
べんきょうかい 勉強会をします。

▶ ふくし 福祉施設などで  
じむ 事務や かいご 介護の助けになる  
ロボットや  
コンピューターを使うことを  
すす 進めていきます。

### 3 障害のある人を守るための取り組みをします



「虐待」が起らないようにします。

- ▶ 虐待とは、身近な人に暴力をふるったり悪口を言ったりして体や心を傷つけることです。家族や支援する人に虐待はやってはいけないということをしっかりと知ってもらいます。また、福祉施設で虐待が起らないように勉強会をします。

「成年後見制度」というしくみをたくさんの人に知ってもらいます。

- ▶ 「成年後見制度」は、知的障害などがあってお金の使い方がわからない人、生活に必要な手続きができない人を支えるしくみです。困っている人がこのしくみをきちんと使えるようにします。

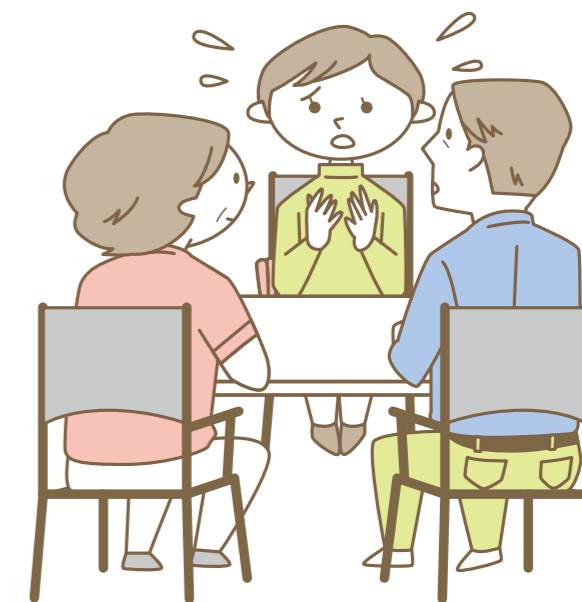
障害者への差別をなくします。

- ▶ どんなことが差別になるのかなどをみんなに知ってもらって、差別がなくなるようにします。また、差別があったときに気軽に相談できるようにします。

みんなに情報を届けます。

- ▶ 障害がある人にも、きちんと情報が届くようにします。その人の障害に合わせて、点字で書く、情報をわかりやすくするなど工夫をします。

### 4 困ったときに相談できるようにします



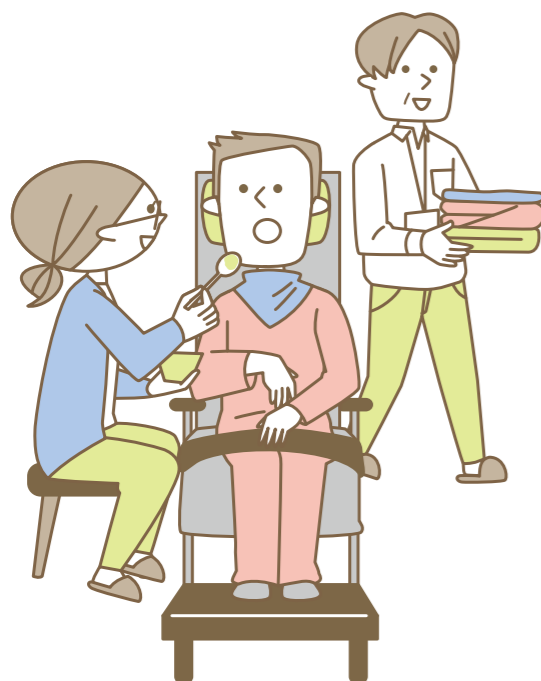
- ▶ 困ったときにどこに相談すればいいか、わかりやすくお知らせします。

また、障害のある人が同じ障害のある人の相談にのったりする取り組みも進めていきます。



# 自分らしく生活できるように

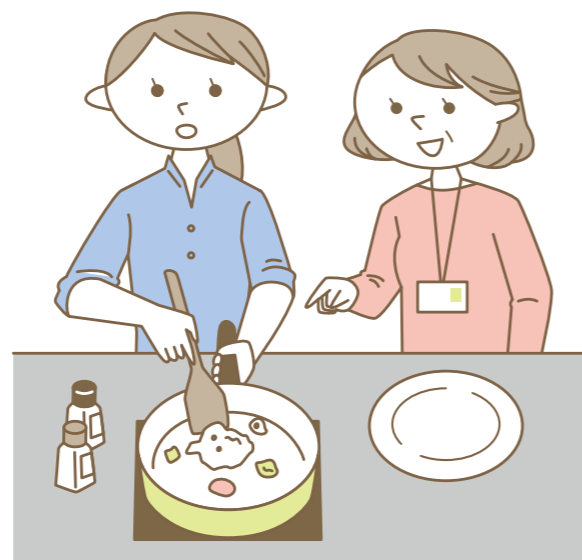
## 1 住む・暮らすために



住みたいところに  
住めるようにします。

▶ アパートでの一人暮らしやグループホーム、入所施設での暮らしなど、障害のある人も自分が住みたい場所で暮らせるようにします。

▶ 年を取ったり障害が重かったりしても安心して暮らせるように、建物のバリアフリーを進めていきます。



福祉サービスを充実させます。

▶ 障害のある人が地域で安心して暮らせるように、今あるサービスをより良くします。

▶ 結婚する、子どもを産むなど自分の人生を自分の考えで選べるのが大切です。

そのために、自分で知識や情報を得られ、周りに相談できるようにします。

▶ もし障害が重くなったりしても自分らしく暮らすために



必要なサービスを  
使えるようにします。

▶ 福祉サービスはただ手伝うだけではなく、障害のある人が自分の力を生かして生活できるようにします。また、障害のある人の思いに寄りそう支援をします。

出かけることを支援します。

▶ 出かけることを支援するヘルパーを増やします。



ヘルパーが上手に支援できるように勉強会をします。

▶ 障害のある人が使いやすい乗りものを増やします。また、電車代やバス代などを割り引きます。

障害があっても住みやすい街にします。

▶ 役所や学校、駅、道などをもっとバリアフリーにしていきたいと思います。

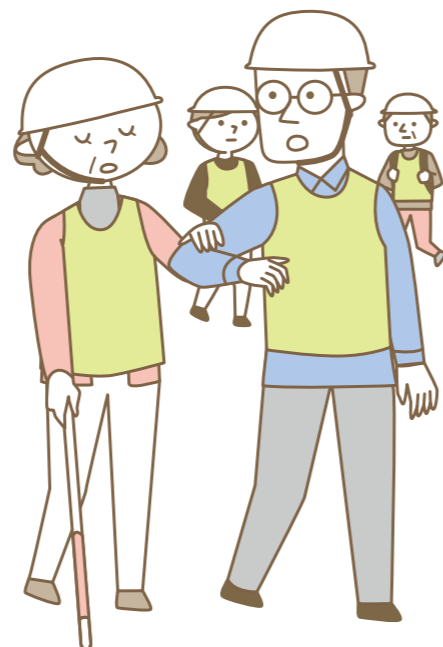
▶ みんながお互いを大切に思い、助けあう街になるように、教育やイベントをしていきます。

## 2 体や心を守るために



健康に暮らせるようにします。

- ▶ 障害のある人も運動やリハビリを身近な場所でできるようにします。また、歯や口の健康を保つなど、ふだんの健康づくりができるようにします。
- ▶ 医者や看護師に障害のことをよく知ってもらい、安心して治療を受けられるようにします。



地震や台風などの災害に備えます。

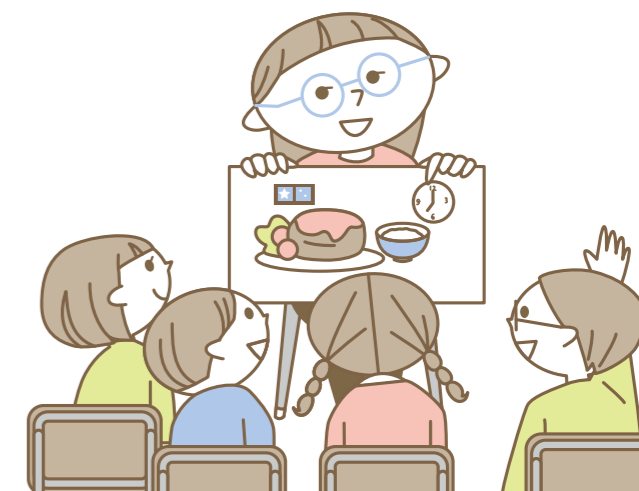
- ▶ 災害への備え方や災害が起こったときの避難の仕方などをわかりやすく伝えます。
- ▶ 障害のある人も避難訓練に参加できるようにします。そして、災害が起こったときに地域の人と協力できるようにします。
- ▶ 新型コロナウイルスのような病気がはやったときでも福祉施設やサービスが使えるように備えておきます。

## 3 障害のある子どものために



障害のある子どもたちの成長を支援します。

- ▶ 障害のある子どもが生まれてから小学校に入るまでの育て方について、地域療育センターが親などから相談を受け、アドバイスをします。
- ▶ 障害のある子どもが学校に入った後も、子どもや家族が専門の機関で相談できるようにします。
- ▶ 授業の後や夏休みなどに子どもが過ごせる場所を増やしていきます。



学校は障害のある子どもたちの学びや進路を支援します。

- ▶ 学校の先生たちが障害のある子どものことをきちんと理解して教育できるようにします。
- ▶ 卒業した後に働きたい人が仕事につけるように、学校と福祉施設が協力して支援します。

## 4 はたら たの 働く・楽しむために



はたら 働くことを し えん 支援します。

▶ 障害のある人が  
会社などで 働けるように、  
学校や福祉施設などが  
支援します。

▶ 作業所などで働く  
障害のある人が  
よりたくさんの工賃を  
もらえるように、  
作業所などを 支援します。  
また、作業所の仕事が  
もっと増えるように  
作業所は  
さまざまな工夫をします。

▶ 会社などが  
障害のある人のことを 理解し、  
障害のある人が 安心して  
働けるように、  
勉強会などを 開きます。

ふだんの過ごし方を 支援します。

▶ 障害のある人が  
休みの日などに  
地域の活動に 参加する機会を  
増やすようにします。

▶ 会社などで 働けない人が  
仕事や作業ができる場所を  
増やしていきます。

スポーツや芸術を  
楽しむようにします。

▶ 障害のある人が  
地域で スポーツを  
楽しめる場所を  
増やすようにします。  
また、障害のある人に  
スポーツを教えられる人を  
増やすようにします。

▶ 舞台の公演や  
作品の展示などを  
障害のある人も  
楽しむようにします。

▶ 障害のある人が つくった  
作品などを展示するイベントを  
開催していきます。

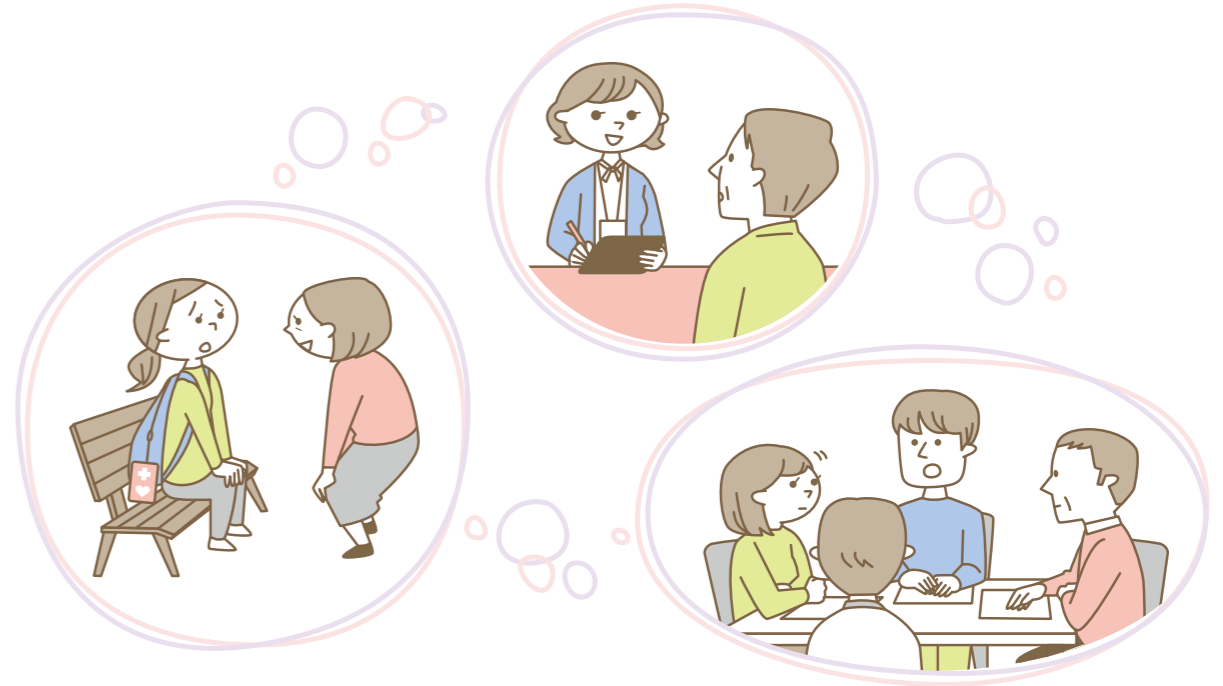
# 障害のある人を地域で協力して支えるために

国は「地域生活支援拠点」と「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」を各地につくることを目標にしました。

これらは、障害のある人が地域で生活することを支えるためのしくみです。

といっても何か新しい建物をつくるわけではありません。障害福祉に関係する人たちが協力して地域で障害のある人を支えられるようにするのです。

横浜市では、次のことをめざして取り組んでいます。



## 地域生活支援拠点

障害のある人や家族が困ったときに相談できる

家族が急に病気になったときなど、緊急のときにすぐに福祉施設を使える

住む場所や暮らし方の体験ができる

地域の人たちが見守り、困ったときに助けてくれる

重い障害がある人の支援もできる人が十分にいる

## 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム

困ったときにどこに相談すればいいかわかりやすく教えてもらえる

病気が重くなって入院した場合も不安が減るようにサポートしてもらえる  
入院は必要な期間だけにする

いろいろな分野の支援者がお互いに教えあってより上手に支援できるようにする

障害のない人と同じようにアパートなどを借りられる  
ふだんの生活で困ったことはサポートしてもらえる

地域の人障害のことを知って困ったときには協力してくれる

同じ障害のある人同士が支え合っている

## 福祉型障害児入所施設入所児童の地域移行について

福祉型障害児入所施設（以下、「児施設」という。）入所児童が、いわゆる「過齡児」として、やむなく児施設に在籍し続けることなく、障害者支援施設やグループホームの利用や家庭復帰等により、一人の大人としてふさわしい環境の中で過ごせるよう、地域移行を推進していきます。

### 1 児施設入所児童の地域移行に係る基本的な考え方

- 本人の意思や意向を十分に確認して、地域移行を進めていかなければならない。
- 子どもたち一人ひとりが実際に見て、体験して、感じて、考えることを通して、自分の将来について少しずつ理解を深め、18歳以降の生活の場、働く場、日中活動の場を自ら選択できるように支援していくことが重要である。

### 2 児施設入所児童の地域移行に係る課題

- 児施設からの地域移行に係る児童のアセスメントをていねいに行う必要がある。
- 地域移行に関わる児相・区職員のスキルを高める必要がある。
- （入所児童を支援する）児童相談所と（18歳以降の支援を行う）区等の連携を強化する必要がある。

### 3 児施設入所児童の地域移行を進めるために令和4年度より新たに実施する主な取組

- (1) 児施設入所児童の地域移行を進めるための会議等を新たに設置します。
- ア 横浜市障害児入所施設入所児童地域移行連絡会議（通称：地域移行連絡会議）
- 【メンバー】児・者各施設、児童相談所、区、こども青少年局、健康福祉局
- 【内容】地域移行支援方針等の協議、進ちょく状況等の確認、課題等の共有
- イ 障害児入所施設入所児童地域移行カンファレンス（通称：地域移行カンファレンス）
- 【メンバー】児童相談所、児施設、こども青少年局、健康福祉局、他関係機関
- 【内容】児施設入所児童の地域移行に向けた情報共有
- ウ 障害児入所施設入所児童の18歳以降の生活に関する課題検討プロジェクト（通称：過齡児対策プロジェクト）
- 【メンバー】児・者各施設等、こども青少年局、健康福祉局、児童相談所
- 【内容】入所児童の地域移行への協力依頼、移行調整に係る課題解決策のアイデア共有

(2) 見施設入所児童の地域移行に関わる支援者のサポートを新たに実施します。

ア 見施設入所児童地域移行コーディネート業務の実施

【内容】障害者支援施設やグループホーム運営等を行う法人への委託により以下の取組を実施する。

- 見施設入所児童（過齢児含む）の18歳以降の生活への移行に係るアセスメントの支援
- 児童相談所と見施設が作成する地域移行支援計画作成の支援
- 見施設退所後の定着支援
- 地域移行に必要な情報の収集・提供

イ 児童相談所及び区福祉保健センター職員への研修の実施

#### 4 入所児童の地域移行の流れ

高1期：移行支援の開始、地域移行支援方針の検討

高2期：児童の意向確認、アセスメント、移行支援計画の作成

高3上半期：移行先の利用調整、方針や計画の見直し

高3下半期：移行先又は移行困難ケースの確認

ふくしじゅさんじょ みんえいか  
福祉授産所の民営化について

1 趣旨

平成30年度第2回横浜市障害者施策推進協議会において、本市直営の4か所の福祉授産所（就労継続支援B型事業所）を令和2年・令和4年の2回に分けて順次民営化していく旨を報告し、その後運営法人選定委員会を設置し、運営法人を決定しました。

このたび、この令和4年4月に南・戸塚福祉授産所を民営化し、4か所全ての民営化が完了しました。

2 概要

	令和2年4月民営化		令和4年4月民営化	
名称	なかふくしじゅさんじょ 中福祉授産所	こうほくふくしじゅさんじょ 港北福祉授産所	みなみふくしじゅさんじょ 南福祉授産所	とつかふくしじゅさんじょ 戸塚福祉授産所
所在地	なかくやましたちやう 中区山下町	こうほくくみのわちやう 港北区箕輪町	みなみくむつみちやう 南区睦町	とつかくとつかちやう 戸塚区戸塚町
運営法人	しゃかいふくしほうじん 社会福祉法人 よこはましゃかいふくし 横浜社会福祉 きやうかい 協会	しゃかいふくしほうじん 社会福祉法人 でんきかながわふくし 電機神奈川福祉 センター	しゃかいふくしほうじん 社会福祉法人 よこはましゃかい 横浜市社会 じぎやうきやうかい 事業協会	しゃかいふくしほうじん 社会福祉法人 でんきかながわふくし 電機神奈川福祉 センター
民営化後 施設名	なかワークトレ ニングハウス	こうほく 港北はぴねす こうぼう 工房	うるおい南 みなみ	とつか 戸塚はなえみ こうぼう 工房
定員	めい 20名	めい 35名	めい 45名	めい 35名

3 経過

平成30年度 中福祉授産所・港北福祉授産所 運営法人公募・決定

令和2年度 4月 中福祉授産所・港北福祉授産所 民営化

南福祉授産所・戸塚福祉授産所 運営法人公募・決定

令和4年度 4月 南福祉授産所・戸塚福祉授産所 民営化

【うるおい<sup>みなみ</sup>南】



【戸塚はなえみ工房<sup>とつか こうぼう</sup>】





よこはまししょうがいふくし  
「横浜市 障害 福祉 のあんないアプリ」のリリースについて

1 趣旨

市民 への 情報 支援 の強化 を 目的 として「障害 福祉 のあんない」のアプリ 版 製作 を進めていましたが、令和 4 年 6 月 1 日に 配信 を 開始 しました。  
周囲 の方 への 積極 的な 周知 を お願い するとともにアプリの 活用 も ご検討 ください。

アプリ 版 配信 に 伴い、「障害 福祉 のあんない」 冊子 版 の 掲載 内容 を 見直し ました。施設 一覧表 (『資料編 I 地域 活動 施設 一覧表』および『資料編 II 入所・通所 施設 一覧表』) については、冊子 版 から 削除 し、ホームページでの 定期的 な 更新 に 切り 替える ことと します。

【参考】

年度	媒体	発行 部数	変更点	備考
令和 3 年度 まで	冊子	42,000	—	
令和 4 年度 以降	冊子	38,000	施設 一覧表 削除	冊子 版 配布 先 について 見直し
	アプリ	—	新規	情報 取得 手段 の 増加 による 市民 の 利便性 向上
	ホーム ページ	—	施設 一覧表 掲載	定期 更新 により 情報 の アップデー トが 可能

2 アプリの機能

アプリ 名称 : 横浜市 障害 福祉 のあんないアプリ

- ・ 属性 ごとによる 障害 サービス の 検索  
(例 : 障害 種別 ・ 等級 などからの 検索、サービス の カテゴリー 別の 検索)
- ・ 居住 近隣 区 や サービス ごとによる 障害 福祉 サービス 事業所 の 検索 及び マップ 表示

- ・ 登録 者 への プッシュ 機能

アプリ の ダウンロード 時 に 属性 や 居住 区、自身 の 障害 種別 等を 登録 するこ

とで、本市から対象者に利用サービスの各種更新や新規サービス情報をプッシュ機能で通知できます(市民意見募集や災害時にも活用可能)。

・掲載内容の更新が随時可能になります。

### 3 施設一覧表 (『資料編 I 地域活動施設一覧表』及び『資料編 II 入所・通所施設一覧表』) について

現在、「障害福祉のあんない」冊子版に施設一覧表を掲載していますが、紙面上では新たな事業所が開設しても年度中の更新ができず、また、掲載情報の修正・変更があった場合の対応が困難です。そこで、冊子版での情報提供を取りやめ、ホームページ上のデータでの情報提供に切り替えます(3~4か月に一度の頻度で更新予定)。施設一覧表を活用する場合には、ホームページをご確認いただきますようお願いいたします。

【掲載予定本市HP：障害福祉サービス事業所・施設一覧】

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/fukushi-kaigo/fukushi/annai/shogaishisetsu.html>

また、事業所情報についてはアプリ上でも入手できるようにします。

【問い合わせ先(担当)】健康福祉局障害施策推進課

田辺、田中、羽柴

電話：045-671-3603 FAX：045-671-3566

メール：kf-syoguide@city.yokohama.jp

公式アプリ  
誕生!

# 横浜市障害福祉の あんないアプリ

サービス・制度・施設検索  
お知らせ確認をアプリひとつで。



## アプリの便利な機能一覧!

### サービス・制度検索



障害種別・暮らしの  
カテゴリー別にサービス・  
制度情報を検索できます。

### お知らせ配信



新着情報など  
横浜市からのお知らせを  
プッシュ通知でお届けします。

### 事業所・施設検索



近隣地区や現在地から近い  
事業所・施設をリストや  
マップから検索できます。

横浜市

障害福祉  
あんない

いますぐ無料ダウンロード

各ストアでの検索・二次元バーコードから  
ダウンロードできます。



横浜市障害福祉のあんない

検索

詳しいダウンロード方法は裏面を  
ご確認ください。

# アプリのダウンロード方法



## iPhoneからのダウンロード

### STEP 1

カメラを起動して、二次元バーコードを読み取る



またはApp Storeから検索

Q 横浜市障害福祉のあんない

### STEP 2

「入手」をタップ、表示される手順に沿ってインストール



### STEP 3

「開く」をタップ



## Androidからのダウンロード

### STEP 1

カメラを起動して、二次元バーコードを読み取る  
※標準カメラに、二次元バーコードの読み取りが対応していない機種の場合は「コードリーダーアプリ」をインストールしてご利用ください。



またはGoogle Playから検索

Q 横浜市障害福祉のあんない

### STEP 2

「インストール」をタップ



### STEP 3

「開く」をタップ



## 健康福祉局障害施策推進課

お問合せ先

電話：045-671-3603 FAX：045-671-3566  
メール：kf-syoguide@city.yokohama.jp

※お使いの端末、OSバージョン等により、各種表記が異なる場合がございます。  
※Apple、Appleのロゴ、iPhone、iPadは、米国もしくはその他の国や地域におけるApple Inc.の商標です。App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。  
※Android、Google PlayおよびGoogle Playロゴは、Google LLCの商標です。

もくてき じょう  
目的(1条)

すべ しょうがいしゃ ぶんや かつどう さんか  
全ての障害者が、あらゆる分野の活動に参加するためには、  
じょうほう じゅうぶん しゅとくりよう えんかつ いしそつう きわ じゅうよう  
情報の十分な取得利用・円滑な意思疎通が極めて重要

しょうがいしゃ じょうほう しゅとくりよう いしそつう かか しさく そうごうてき すいしん きょうせいしゃかい じつげん し  
障害者による情報の取得利用・意思疎通に係る施策を総合的に推進し、共生社会の実現に資する

きほんりねん じょう  
基本理念(3条)

しょうがいしゃ しょうがいしゃきほんほうだいい じょうだいい ごう きてい しょうがいしゃ じょう  
※「障害者」：障害者基本法第2条第1号に規定する障害者(2条)

しょうがいしゃ じょうほう しゅとくりよう いしそつう かか しさく すいしん あ むね じこう  
障害者による情報の取得利用・意思疎通に係る施策の推進に当たり旨とすべき事項

- しょうがい しゅるい ていど おう しゅだん せんたく  
① 障害の種類・程度に応じた手段を選択できるようにする
- にちじょうせいかつ しゃかいせいかつ いとな ちいき ひと じょうほうしゅとくどう  
② 日常生活・社会生活を営んでいる地域にかかわらず等しく情報取得等ができるようにする
- しょうがいしゃ もの どういつないよう じょうほう どういつてん しゅとく  
③ 障害者でない者と同一内容の情報を同一時点において取得できるようにする
- こうじょうほうつうしん りよう じょうほうつうしんぎじゅつ かつよう つう おこな しゃかい  
④ 高度情報通信ネットワークの利用・情報通信技術の活用を通じて行う(デジタル社会)

かんけいしゃ せきむ れんけいきょうりよく いけん そんちょう じょう じょう  
関係者の責務・連携協力・意見の尊重(4条～8条)

- くに ちほうこうきょうだんたい せきむどう じょう しょうがいしゃ もの し くにんき しさく おこな  
・ 国・地方公共団体の責務等(4条) ※障害者でない者にも資することを認識しつつ施策を行う
- じぎょうしゃ せきむ じょう くにん せきむ じょう  
・ 事業者の責務(5条) ・ 国民の責務(6条)
- くに ちほうこうきょうだんたい じぎょうしゃどう そうご れんけいきょうりよく じょう しょうがいしゃどう いけん そんちょう じょう  
・ 国・地方公共団体・事業者等の相互の連携協力(7条) ・ 障害者等の意見の尊重(8条)

きほんてきしさく じょう じょう  
基本的施策(11条～16条)

- しょうがいしゃ じょうほうしゅとくどう し ききどう じょう  
(1) 障害者による情報取得等に資する機器等(11条)
  - きき サービスの かいほつていきよう じょせい きかく の  
① 機器・サービスの開発提供への助成、規格の  
びょうじゅんか しょうがいしゃ かいごしゃ じょうほうていきよう にゅうしゅしえん  
標準化、障害者・介助者への情報提供・入手支援
  - りようほうほうしゅうどく とりくみ きょたくしえん こうしゅうかい  
② 利用方法習得のための取組(居宅支援・講習会・  
そうだんたいおうどう どうがいとりくみ おこな もの しえん  
相談対応等)、当該取組を行う者への支援
  - かんけいしゃ きょうぎ ば せっち など  
③ 関係者による「協議の場」の設置 など
- ぼうさい ぼうはんおよ きんきゅう つうほう じょう  
(2) 防災・防犯及び緊急の通報(12条)
  - しょうがい しゅるい ていど おう じんそく かくじつ じょうほうしゅとく  
① 障害の種類・程度に応じた迅速・確実な情報取得の  
ための体制の整備充実、設備・機器の設置の推進
  - たよう しゅだん きんきゅう つうほう しく せいび  
② 多様な手段による緊急の通報の仕組みの整備の  
推進 など
- しょうがいしゃ じりつ にちじょうせいかつ しゃかいせいかつ いとな  
(3) 障害者が自立した日常生活・社会生活を営むため  
に必要な分野に係る施策(13条)
  - いしそつうしえんしゃ かくほ ようせい ししつ こうじょう  
① 意思疎通支援者の確保・養成・資質の向上
  - じぎょうしゃ とりくみ しえん など  
② 事業者の取組への支援 など
- しょうがいしゃ そうだん しょうがいしゃ ていきよう じょうほう じょう  
(4) 障害者からの相談・障害者に提供する情報(14条)

くに ちほうこうきょうだんたい

  - そうだんたいおう あ はいりょ  
① 相談対応に当たっての配慮
  - しょうがい しゅるい ていど おう じょうほう ていきよう はいりょ  
② 障害の種類・程度に応じて情報を提供するように配慮
- くにん かんしん りかい ぞうしん じょう  
(5) 国民の関心・理解の増進(15条)
  - ききどう ゆうようせい いしそつうしえんしゃ は やくわりどう  
○ 機器等の有用性・意思疎通支援者が果たす役割等、  
しょうがいしゃ じょうほうしゅとくどう じゅうようせい かん かんしん りかい  
障害者による情報取得等の重要性に関する関心・理解  
を深めるための広報・啓発活動の充実 など
- ちょうさけんきゅう すいしんどう じょう  
(6) 調査研究の推進等(16条)
  - しょうがいしゃ じょうほうしゅとくどう かん ちょうさけんきゅう すいしん  
○ 障害者による情報取得等に関する調査研究の推進・  
せいしか ふきゅう  
成果の普及

- しょうがいしゃきほんけいかくどう しょうがいしゃきほんほう ほんえい しょうがいしゃはくしょ じっしじょうきょう めいじ じょう  
○ 障害者基本計画等(障害者基本法)に反映・障害者白書に実施状況を明示(9条)
- しさく じっし ひつよう ほうせいじょう ざいせいじょう そちどう じょう  
○ 施策の実施に必要な法制上・財政上の措置等(10条)